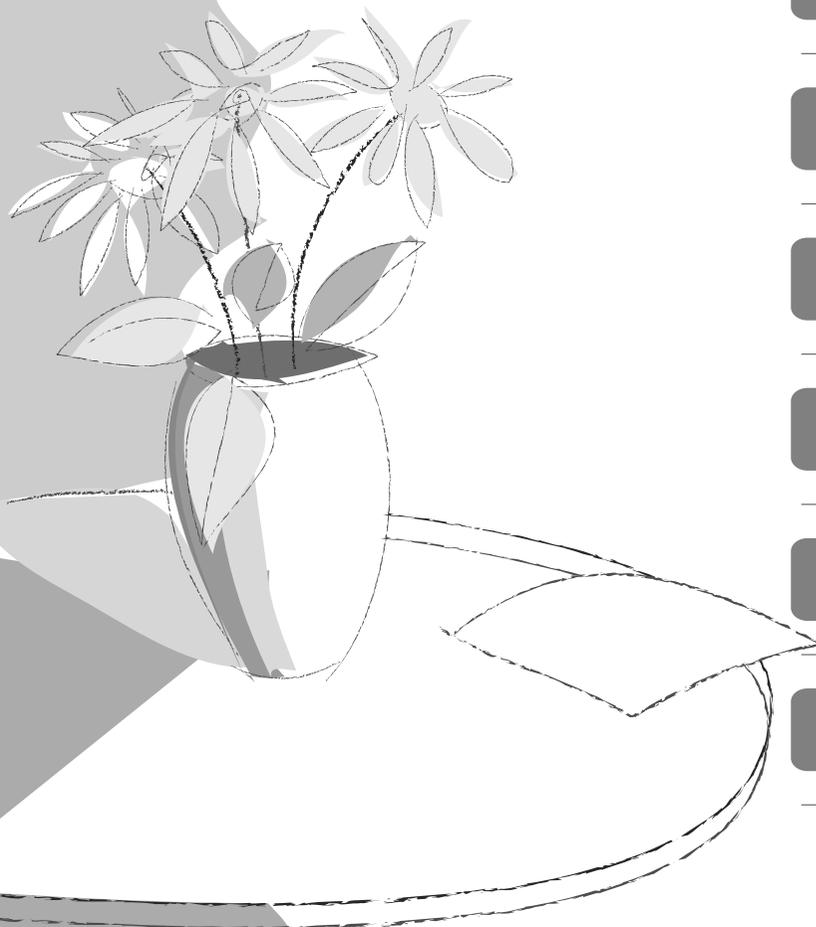


brother

ファクシミリ 取扱説明書

FAX-200CL

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。



1章 ご使用の前に

2章 電話をするには

3章 コピーをするには

4章 ファクスを送信するには

5章 ファクスを受信するには

6章 留守番機能を使うには

7章 レポートやリストをプリントするには

8章 こんなときには

9章 付録

お客様相談窓口 ☎ 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9:00~午後7:00

営業日 月曜日~土曜日(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。)

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取って試みることができるようにしてください。

目次

安全にお使いいただくために	i
1章 ご使用の前に	2
付属品を確かめる	2
各部の名称とはたらき	3
準備のながれ	7
本体（親機）の準備をする	8
子機の準備をする	15
ダイアル登録をする	17
音量を設定する	23
オプションサービスを利用される方は	26
2章 電話をするには	29
こんなことができます	29
親機で電話をかけるには	32
親機で電話を受けるには	34
子機で電話をかけるには	35
子機で電話を受けるには	37
ハンズフリーで電話を受けるには	38
内線通話をするには	40
オプションサービスを利用するには	44
3章 コピーをするには	63
こんなコピーができます	63
コピーをする前に	64
コピーするには	66
4章 ファクスを送信するには	68
こんな送信ができます	68
ファクスを送信する前に	70
ファクスを送信するには	72
その他の送信をする	73
送信の解除と割込をするには	81
5章 ファクスを受信するには	82
こんな受信ができます	82
ファクスを受信する前に	86
ファクスを受信するには	88
その他の受信をするには	91

6章 留守録機能を使うには	94
こんなことができます	94
留守番機能を使用する前に	95
留守番機能を使用するには	96
メッセージを確認するには	97
子機から留守番機能进行操作するには	98
外出中の便利な使い方	99
7章 レポートやリストをプリントするには	105
プリントするには	105
8章 こんなときには	107
お手入れのしかた	107
紙がつまったら	108
子機のバッテリーを交換するには	110
エラーメッセージが表示されたら	111
故障かな?と思ったら	112
付録	116
機能一覧	116
主な仕様	119
索引	121
消耗品などのご注文について	125

安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この「安全にお使いいただくために」では、お客さまや第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「フリーダイヤル 0120-161170」までご連絡ください。

お客さまや第三者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品は使用の誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたときや、故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

本製品の設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対にやめてください。

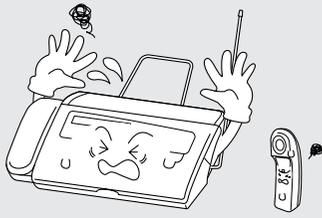
取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

設置場所について

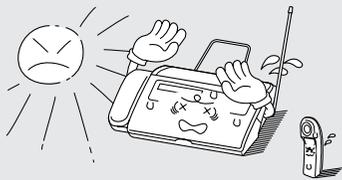
以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。



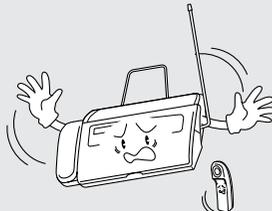
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所



直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所



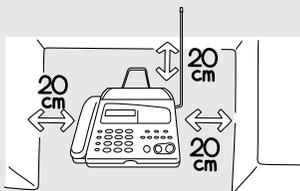
調理台のそばなど、油飛びや湯気のあたる場所



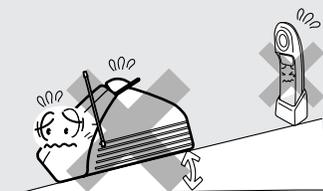


テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
いちじろしく低温な場所、急激に温度が変化する場所
クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
換気の悪い場所
揮発性可燃物やカーテンに近い場所

壁のそば
本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



本機をお使いいただける環境は次のとおりです。

温度：5 ~ 35
湿度：45 ~ 80%

電波障害時の対処

本機の近くに置いたラジオへ雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

本機をテレビから遠ざける。
本機、またはテレビなどの向きを変える。

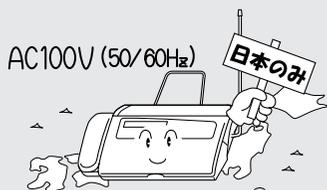
本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の規準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源について

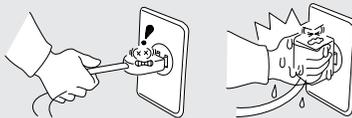
火災や感電、やけどの原因となります。



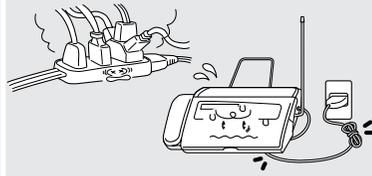
国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。
電源は AC100V・50Hz、または 60Hz でご使用ください。



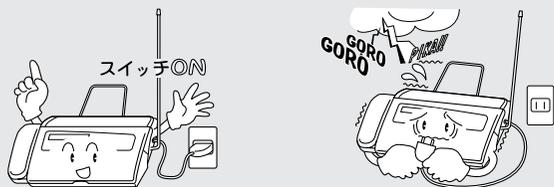
電源コードや AC アダプターを抜くときは、コードを引っばらずに本体（金属でない部分）を持って抜いてください。
ぬれた手で電源コードや AC アダプターを抜き差ししないでください。



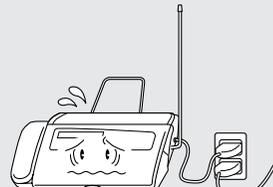
たこ足配線はしないでください。電源コードや AC アダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。



電源コードや AC アダプターはコンセントに確実に差し込んでください。（本機には電源スイッチが付いていません。）
雷がはげしいときは、電源コードや AC アダプターをコンセントから抜いてください。



電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。



バッテリーについて



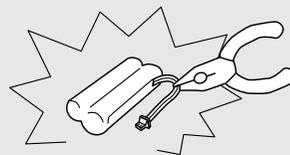
バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
専用の充電器を使用してください。



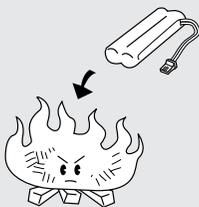
液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



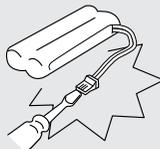
分解、改造しないでください。



バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



バッテリー端子をショートさせたり、被覆をはがしたりしないでください。
外装チューブをはがしたり、傷を付いたりしないでください。

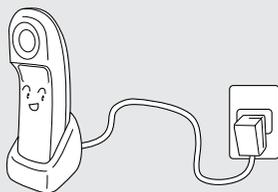


バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
温度の高いところでは充電しないでください。
金属製品と一緒に保管しないでください。
バッテリーの極性 (+ / -) を間違えないように入れてください。
電子レンジや高压容器に入れてください。

コードレス子機について



必ず充電してからお使いください。

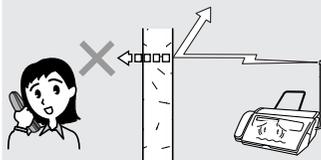


親機からの見通し距離が約 100m 以内のところでご使用ください。
ただし、以下のようなときは通話範囲内でも通話が切れたり、雑音が入ることがあります。

近くで別のコードレス電話を使用しているとき。
他の電波の影響を受けるような場所 (OA 機器、AV 機器、蛍光灯のそばなど) で使用しているとき。
親機と子機の間鉄筋コンクリート、金属板などの障害物があるとき。
移動しながら子機を使用しているとき。



マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や、金属製の家具の近くなどでは、電波の届く距離がかなり短くなる場合があります。



コードレス子機に雑音が入るときは次のような方法を試してください。

親機の近くで子機を使用する。
親機の向きを変える。
親機の置き場所を変える。
親機のアンテナの角度を前後、または右側に変える。
親機のアンテナの長さを変える。
親機のアンテナから AC アダプターのコードを遠ざける。(アンテナを巻き付けたり、引っ掛けたりしないでください。)

停電がおきたとき



停電時のデータについて

消去されないデータ

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、各種登録・設定内容、子機に登録した電話帳

数時間以上たつと消去されるデータ

着信記録、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ

停電後すぐ消去されるデータ

送信メモリー文書

半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。(P.12 ページ)



停電中は本体、子機ともに電話をかけることができません。

ファクシミリ・コピーも使用できません。停電時に備えて、停電中でも使える電話機を保管することをおすすめします。

記録紙について



記録紙は、当社推奨の感熱記録紙（サーマックスペーパー A4 判 長さ：30m ロール 横幅：216mm 芯：1 インチ紙管）を使用してください。（部品コード：UF2521-001）

サーマックスペーパーは、普通紙のような感熱紙です。鉛筆、ペンなどで書き込みができ、通常の感熱紙よりも長期保存に適しています。

これ以外の紙を使うと、記録紙づまり、かすれの原因となることがあります。

記録結果の保管について

- ・保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。
 - ・プラスチックや青焼紙などと重ねないでください。
 - ・粘着テープ、ボンドなどを使わないでください。
- 印刷消え、変色の原因となります。

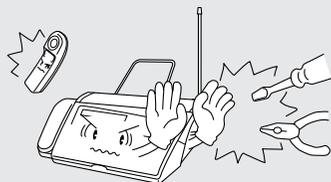
その他のご注意

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。

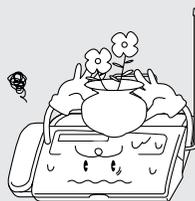


警告

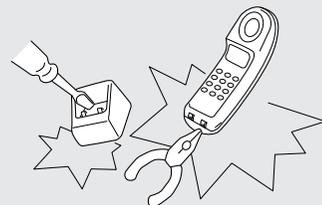
分解、改造しないでください。修理などは販売店にご相談ください。（法律で罰せられることがあります。）



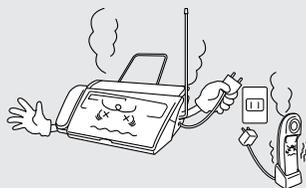
本機の上に水、薬品などを置かないでください。



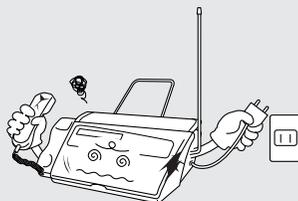
充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。



煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードや AC アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



本機を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



異物が入ったときは、電源コードやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。

専門サービスマンへ！

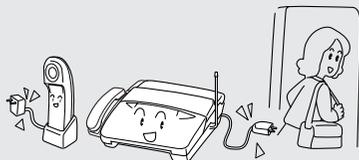


安全にお使いいただくために

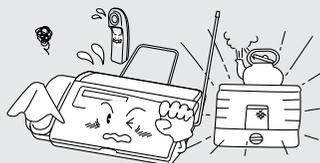


注意

長期間不在にするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



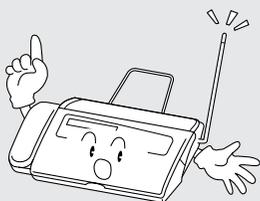
火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。



子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。



誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。

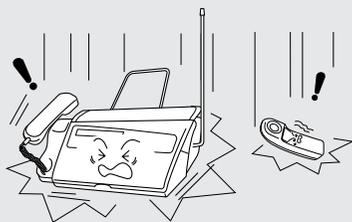


子機のベルがなる部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけないでください。突然ベルがなって、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。



お願い

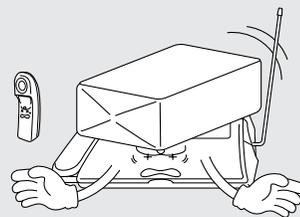
落下、衝撃を与えないでください。



動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



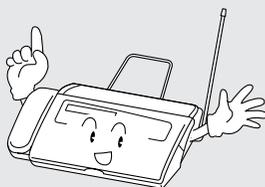
本機の上に重いものを置かないでください。



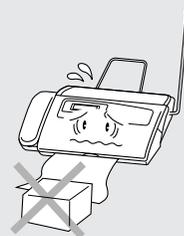
室内温度を急激に変えないでください。装置内部が結露するおそれがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。



原稿排出の妨げになりますので、本体前方にはものを置かないでください。



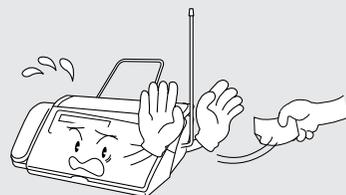
海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないことがあります。



NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店・営業所へご相談ください。（116番）



本機に貼られているラベル類ははがさないでください。



コピーについて

法律によりコピーが禁じられているものがあります。以下のようなものをコピーするときには注意してください。

法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券

外国で流通する紙幣、貨幣、証券類

未使用の郵便切手や官製はがき

政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

著作権のあるもの

著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

その他注意を要するもの

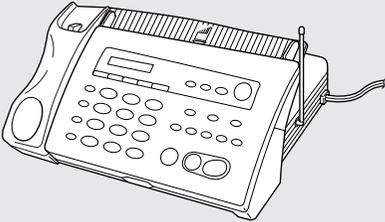
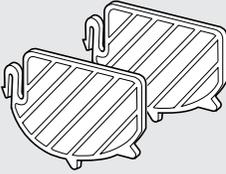
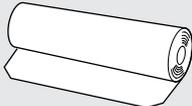
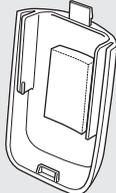
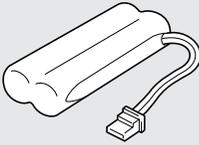
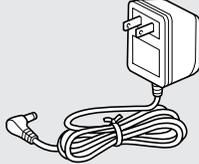
民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券

政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

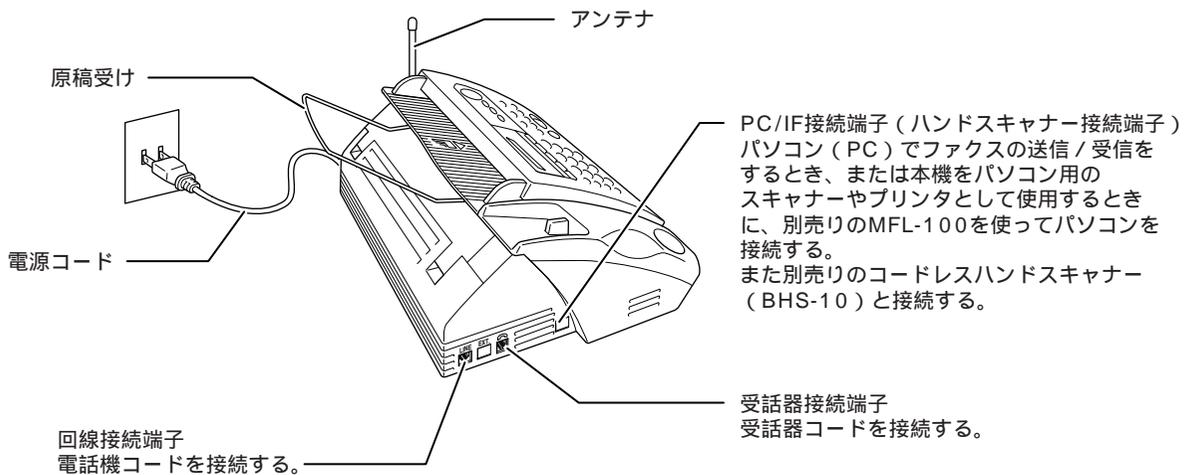
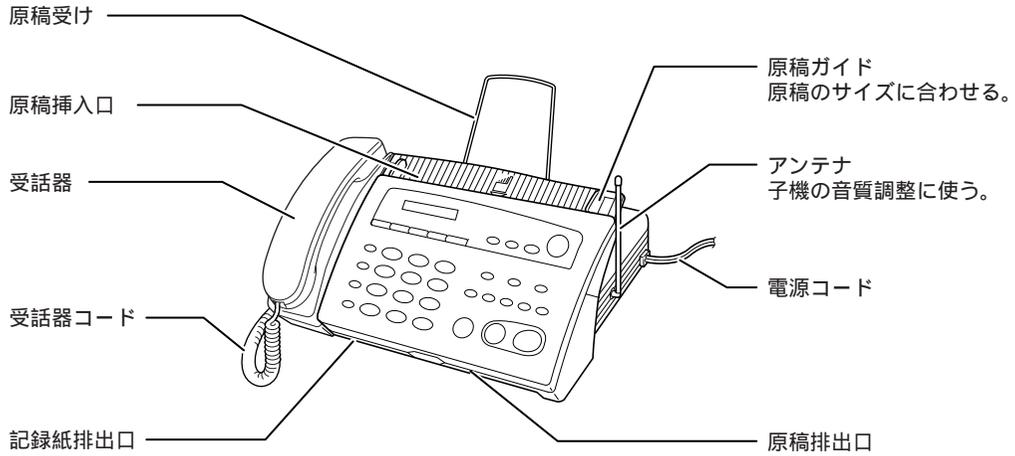
付属品を確かめる

梱包箱の中に以下のものがそろっているか、確かめてください。

万一不足しているものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、「フリーダイヤル0120 - 161170」にご連絡ください。

<p>本体 1 台</p> 	<p>受話器 1 台</p> 	<p>原稿受け 1 個</p> 	<p>受話器コード 1 本</p> 
<p>電話機コード 1 本 (回線接続用)</p> 	<p>A4 用記録紙ガイド 1 組 (210mm 幅をご使用の場合必要です)</p> 	<p>プレーンサーマックススターター記録紙 (216mm × 10m、芯：1 インチ紙管) 1 本</p> 	
<p>子機 1 台</p> 	<p>子機用バッテリーカバー 1 個</p> 	<p>子機用バッテリー 1 個</p> 	
<p>子機充電器 1 台</p> 		<p>子機専用 AC アダプター 1 個</p> 	
<p>壁掛け用木ネジ 2 本</p>			
<p>保証書 1 部 取扱説明書 1 冊 -ALPHA5 ご利用申込書 1 部</p>	<p>設置ガイド 1 部 ワンタッチシール (アテナラベル) 1 枚</p>	<p>操作ガイド 1 部 ご愛用者アンケート 1 枚</p>	

各部の名称とはたらき



親機



音量／原稿濃度ボタン
音量を調整するとき（ 23ページ）、
または濃度を調整するとき
（ 65, 71ページ）に押す。

矢印ボタン
カーソルを左右に動かすときに押す。



セットボタン
設定するときに押す。

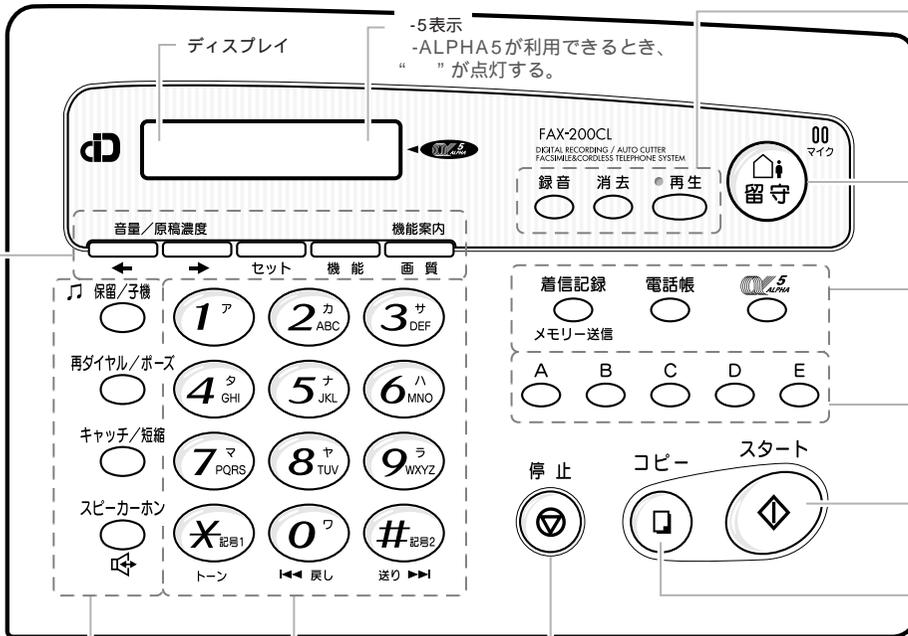


機能ボタン
機能を設定するときに押す。



機能案内ボタン
機能案内をプリントするときに
押す。（ 107ページ）

画質ボタン
画質を調整するときに押す。
（ 65, 71ページ）



停止ボタン
操作を途中で中止するときに押す。



保留／子機ボタン
保留にして相手にメロディを流すとき
（ 30ページ）、または
子機を呼び出すとき（ 41ページ）に押す。



再ダイヤル／ボースボタン
最後にかけた番号にかけ直すとき
（ 33ページ）、または
ダイヤル番号入力時にボースを入れる
ときに押す。



キャッチ／短縮ボタン
キャッチホンを受けるとき
（ 44ページ）、または
短縮ダイヤルを使用するとき
（ 32ページ）に押す。



スピーカーホンボタン
受話器を持たずに通話したいときに
押す。（ 33, 34ページ）

-  録音ボタン
録音するときに押す。(100ページ)
-  消去ボタン
メッセージなど録音内容を消去するときに押す。
(98ページ)
-  再生ボタン
音声 / ファクスメッセージを再生・出力する
ときに押す。(98ページ)

留守ボタン
留守セットするときに押して点灯させる。
(97ページ)

-  着信記録ボタン
着信記録を確認するときに押す。(48ページ)
-  メモリー送信ボタン
メモリー送信(78ページ)、順次同報送信
(79ページ)するときに押す。
-  電話帳ボタン
電話番号を検索するときに押す。(33ページ)
-  - ALPHA5ボタン
- ALPHA5を使用するときに押す。
(26ページ)

ワンタッチダイヤル
ワンタッチダイヤルを使用するときに押す。
(32ページ)

スタートボタン
送信 / 受信するときなどに押す。

コピーボタン
コピーするときに押す。(66ページ)

-  **ダイヤルボタン**
ダイヤルするとき (32, 69ページ)、または
文字を入力するとき (17ページ)に押す。
-  **トーンボタン**
一時的にプッシュホンサービスを利用する
ときに押す。(51ページ)
-  **戻しボタン**
録音された前のメッセージを聞くときに押す。
(98ページ)
-  **送りボタン**
録音された次のメッセージを聞くときに押す。
(98ページ)

ディスプレイについて

<ディスプレイの特徴>

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示
します。ディスプレイを見るだけで、次に何を
すればいいかが解るようになっています。



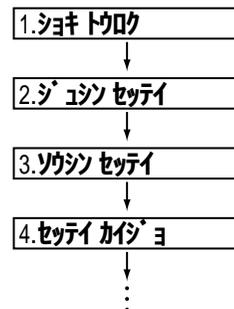
<ディスプレイの交互表示>

現在設定されている機能と、次の手順へ進む方
法についてのメッセージを約2秒間隔で交互に
表示します。下の例では、現在「親切受信」設
定が「ON」に設定されていることと、設定を
変更するためには ← → で選択するという方
法を表示しています。このようにメッセージに
従って簡単に設定・登録することができます。



<ディスプレイのスクロール>

 を押すと、ディスプレイに各機能が次々と
表示されます。

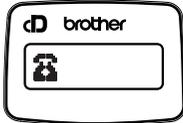


ディスプレイに設定したい機能が表示されたら
セットを押します。(または  -  で
その機能の番号を入力します。)

表示に従って入力することで、各種登録・設定
をすることができます。

子機

<ディスプレイの特徴>



現在の状態またはメッセージを表示します。

ディスプレイについて

<ディスプレイのスクロール>

キャッチ機能^⑧を押し、ジョグスイッチを上下操作するとディスプレイに各機能が順に表示されます。

ディスプレイに設定したい機能が表示されたときにジョグスイッチを押すと、表示された項目を選ぶことができます。

[メニュー]
デンワチョウ トウロク

[メニュー]
デンワチョウ ヘンコク

[メニュー]
チャクシンオン センタク

⋮ ⋮

④ 外線ボタン

電話をかけるとき、受けるとき、切るときに押す。

設定^① ~ ⑨ ダイヤルボタン
ダイヤルするときに押す。
(☞ 32ページ)

再生 停止 消去
① ② ③ ⑤ ⑥
留守録メモリーを再生、送り、戻し、停止、消去するときに押す。

優先
⑧
親機よりも先に着信ベルを鳴らすときに押す。(☞ 37ページ)

トーン
⑩
トーン信号に切り換えるときに押す。

設定^①・留守解除
① ⑧
留守モードに設定・解除するときに押す。(☞ 99ページ)

⑫ スピーカーホンボタン

受話器を持たずに通話したいときに押す。
(☞ 36, 37ページ)

ディスプレイ

⑨ 内線 保留 / 内線ボタン

保留するとき、または内線通話するとき(☞ 41ページ)に押す。

電話帳

電話帳ボタン
電話番号を検索するときに押す。
(☞ 35ページ)

再ダイヤル/P
再ダイヤル/Pボタン
最後にかけた番号にかけ直すとき(☞ 35ページ)または、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押す。

着信記録
着信記録ボタン
着信記録を確認するときに押す。
(☞ 49ページ)

キャッチ機能 / キャッチボタン

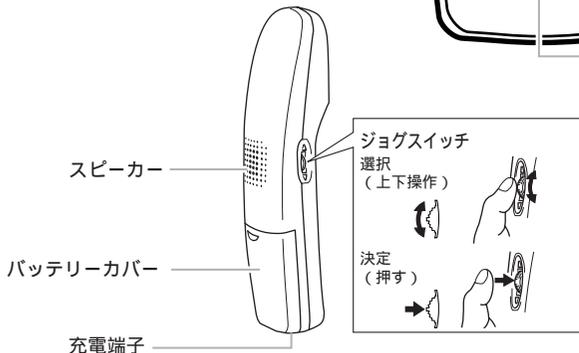
機能モードに入るとき、連続再ダイヤルするとき(☞ 36ページ)、またはキャッチホンを受取るとき(☞ 44ページ)に押す。

音量

音量ボタン
音量を調整するときに押す。
(☞ 24ページ)

子機充電機

充電ランプ



スピーカー

バッテリーカバー

充電端子

ジョグスイッチ
選択
(上下操作)

決定
(押す)

準備のながれ

本機をお使いいただくためには、次のような準備が必要です。

本体（親機）の準備をする

- 1 記録紙をセットする
- 2 本体（親機）を接続する
- 3 本体（親機）の初期設定をする

子機の準備をする

- 1 バッテリーを収納し、充電する
- 2 音質を調節する

ダイヤル登録をする

音量を設定する

- 1 親機の音量を設定する
- 2 子機の音量を設定する

オプションサービスを利用される方は、次の設定が必要です。

- ALPHA5機能の設定をする

ナンバーディスプレイサービスの設定をする

キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

ダイヤルインサービスの設定をする

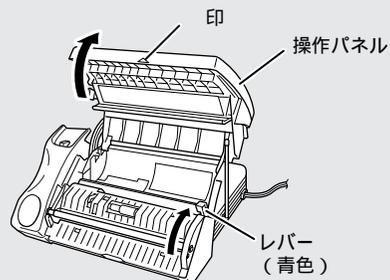
本体（親機）の準備をする

記録紙をセットする

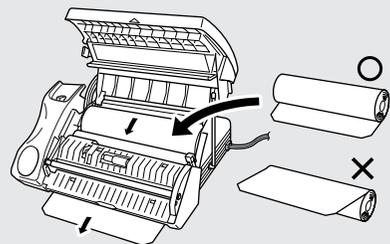
記録紙は、当社の推奨品（サーマックスペーパー（A4版 長さ：30m 幅：216mm 芯：1インチ紙管））をお使いください（部品コード：UF2521-001）。

サーマックスペーパーは普通紙のように鉛筆やペンで書き込みができ、長期保存にも適しています。

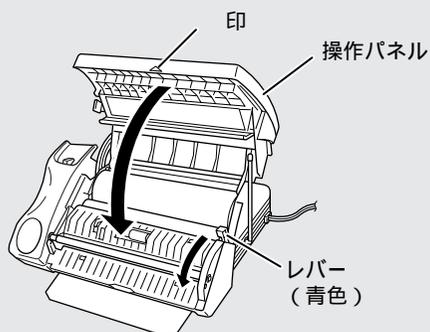
- 1 操作パネルを開き、青色のレバーを押し上げる。
操作パネル前側中央部の 印のところに指をかけ、「カチッ」と音がするところまで持ち上げます。



- 2 本体に記録紙を入れ、セットする。
右図のように、紙の先端が下側から出る向きに入れてください。
記録紙の先端を図のように本体の中へ通し、記録紙の先端が 10cm くらい出るまで引き出してください。



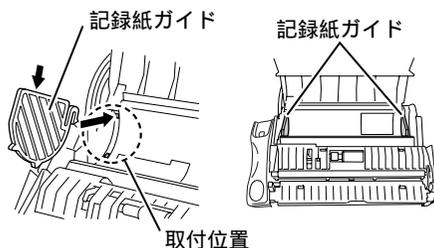
- 3 青色のレバーを戻し、操作パネルを閉じる。
操作パネル前側中央部の 部のところに指をかけ、しっかり閉じます。



MEMO

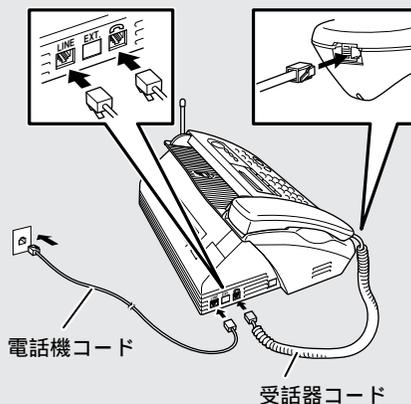
記録紙が残り少なくなると、記録紙の裏側に赤い帯が出てきます。新しい記録紙を用意してください。
記録紙サイズを 216mm 幅から A4 サイズの 210mm 幅に変更するときは、付属の A4 用記録紙ガイドを右図の取付位置に取り付けてから、記録紙を入れてセットしてください。

記録紙をセットし操作パネルを閉じた後、本機に電源が入っていると、自動的に記録紙が送りだされカットされます（オートカット機能）。

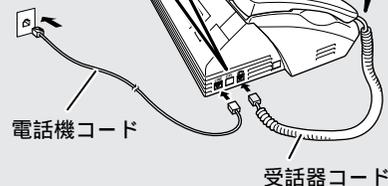


本体（親機）を接続し、回線種別の自動設定をする

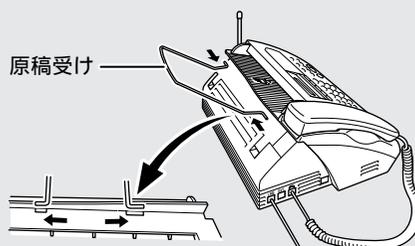
- 1 本体と受話器に受話器コードを差し込む。
本体と受話器の接続端子に「カチッ」と音がするまで差し込みます。
受話器は、本体の受話器受けに置きます。



- 2 本体と電話機コンセントに電話機コードを差し込む。
本体の回線接続端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

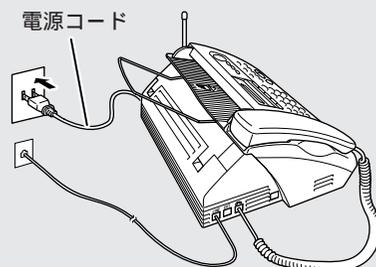


- 3 原稿受けを取り付ける。
原稿をスムーズに送るために、必ず原稿受けを取り付けてください。



- 4 電源コンセント（AC100V）に電源コードを差し込む。
電源コードを接続すると、本機が回線種別の自動設定を始めます。

- 5 本機が回線種別を自動的に設定する。
回線種別の自動設定が終了すると
PB が付く（ブッシュ回線に設定されたとき）
と表示され、設定が終了します。



MEMO

電話回線にはブッシュ（PB または トーン）回線とダイヤル（DP または パルス）回線の 2 種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。

電話機コンセントのタイプについて

- 直接配線の場合（ローゼット/プレート）：最寄りの NTT 窓口（116 番）にご相談ください。
- 3 ピンプラグ式コンセントの場合：市販のモジュラー付電話キャップをお買い求めください。

オートカット機能について

電源の入切や操作パネルの開閉を行うと、記録紙のたるみをとるため、自動的に記録紙が送り出されカットされます。

本体（親機）の準備をする

「**テノキユドヲ**」 ⇄ 「**セツクシテガヤ**」 と表示されたときは

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別は「20PPS」に設定されます。

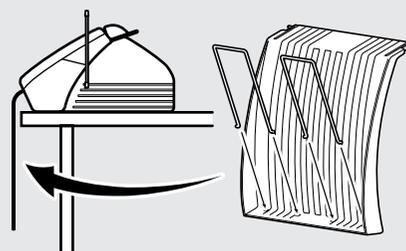
「**セツイテキセシタ**」 と表示されたときは

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話回線に何らかの問題があります。自動的に回線種別を設定することができませんので、手動で設定する必要があります。☞ 11 ページ

MEMO

いったん自動で回線種別を設定すると、電源コードを差し込み直しても再度自動で回線種別設定は行われません。設定し直したいときは手動で設定してください。☞ 11 ページ
構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。

本機を机の端などに置くときは、オプションの用紙受けトレイ（CT-70 部品コード：UF8732-001）をご使用ください。



手動で回線種別を設定するには

電話回線に何らかの問題があり自動で回線種別を設定できなかったとき、または設定し直したいときは手動で回線種別を設定します。

回線の種別がわからないときは、下記の「利用中の回線種別の調べかた」を参照して、回線の種類を調べてから設定してください。

1

機能 (1) (1) を押す。

回線種別を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → でご利用の回線を選び、セット を押す。

シム 音:PB : プッシュ回線 のとき。

シム 音:10 PPS : ダイヤル回線 の 10PPS のとき。

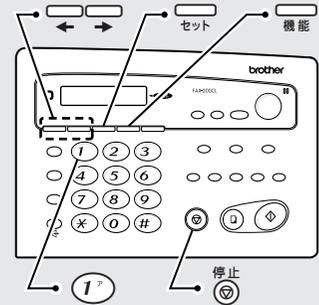
シム 音:20 PPS : ダイヤル回線 の 20PPS のとき。

シム 音:自動設定 : 自動設定を行うとき。

3

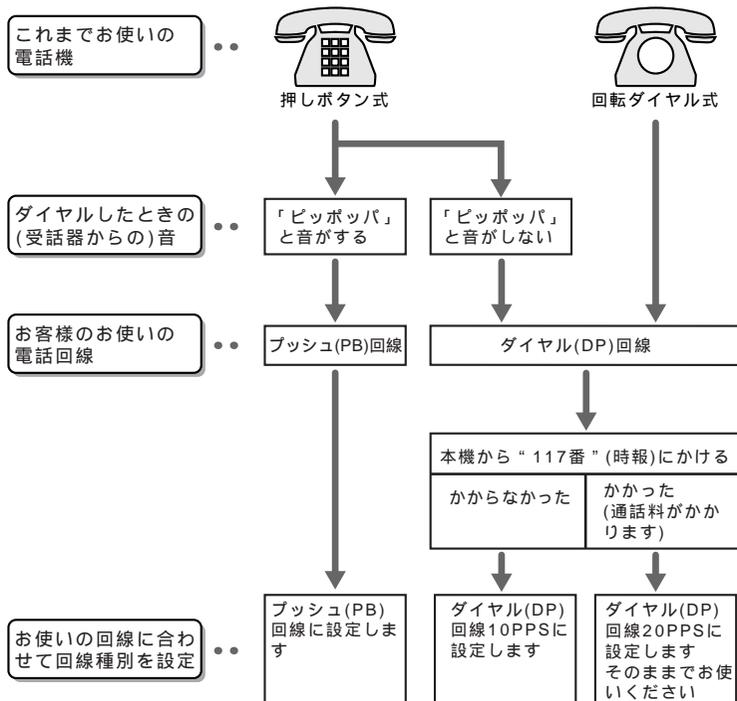
停止 (停止) を押す。

設定を完了します。



利用中の回線種別の調べかた

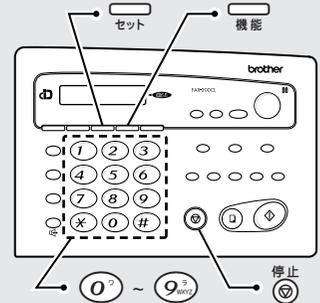
回線の種類は次の手順で調べることができます。もしわからないときは、最寄りの NTT の支店・営業所または NTT 窓口 (116: 無料) にお問い合わせください。



日付と時刻を合わせる（時計セット）

現在の日付と時刻を設定します。設定した日付と時刻はディスプレイに表示されるとともに、ファクスを送信したときに、相手側の記録紙に印字されます。

- 1 機能 (1) (2) を押す。
年を入力するディスプレイが表示されます。
- 2 (0) ~ (9) で西暦の下2桁を入力し、セット を押す。
月を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 (0) ~ (9) で月を2桁で入力し、セット を押す。
日を入力するディスプレイが表示されます。
- 4 (0) ~ (9) で日を2桁で入力し、セット を押す。
時刻を入力するディスプレイが表示されます。
- 5 (0) ~ (9) で時刻を24時間制で入力し、セット を押す。
- 6 停止 (⊙) を押す。
ディスプレイに登録した日付と時刻が表示されます。



例)

99 01/15 15:25
1999年 1月15日 午後3時25分

お願い

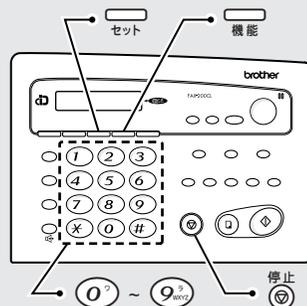
- ALPHA5 をご利用の場合、表示時刻がずれると 時刻を確認してください。
 - ALPHA5 が正常に機能しないことがありますので定期的に
- 数字を入れ間違えた時は 停止 (⊙) を押して最初から入力直すか、← / → を押して間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。

名前と電話番号を登録する（発信元登録）

あなたの名前と電話番号・ファクス番号を登録します。登録しておく、ファクスを送信したときに、相手側の記録紙にあなたの名前とファクス番号が印字されます。

登録する

- 1 機能 (1) (3) を押す。
ファクス番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 2 (0) ~ (9) でファクス番号を入力し、セット を押す。
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 (0) ~ (9) で電話番号を入力し、セット を押す。
名前を入力するディスプレイが表示されます。
ファクス番号と同じ場合、再度同じ番号を入力してください。
- 4 (0) ~ (9) で名前を入力し、セット を押す。
文字入力のみ：17 ページ
- 5 停止 (⊙) を押す。
登録を完了します。



変更する / 消去する

- 1 機能 (1) (3) を押す
1. 2. 3. が表示されます。
- 2 (1) を押す。
「登録する」の手順 1 で、ファクス番号が入力された状態のディスプレイが表示されます。
- 3 停止 (⊙) を押して登録内容を消去する。
- 4 変更するときは、「登録する」の手順 2 以降の設定を行う。
消去するときは、セット を押す。

MEMO

登録について

- 文字入力のみは 17 ページを参照してください。
- 名前は 20 文字まで登録できます。
- ファクス番号・電話番号は 20 桁まで登録できます。
- ファクス番号・電話番号の中に、「-」ハイフンや「()」カッコ、「*」の入りはできません。

原稿の濃度を設定する

ファクスを送信したりコピーするときの原稿の濃度を設定します。いったん設定すると次に設定を変更するまで同じ濃度で原稿を読み取ります。

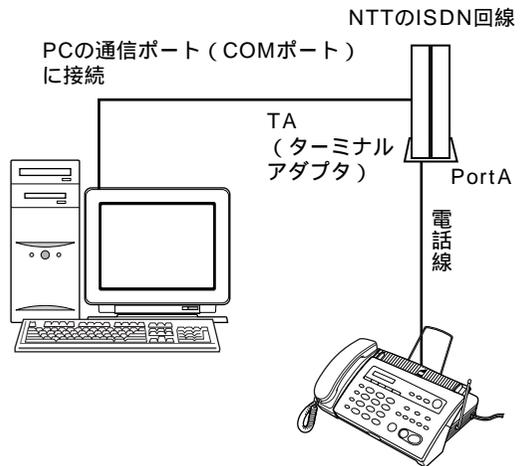
<p>1</p> <p>機能 3 3 を押す。</p> <p>濃度を設定するディスプレイが表示されます。</p>	<p>2</p> <p>← / → で濃度を選び、セット を押す。</p> <table border="1"> <tr> <td>ゲノウノド・フツ</td> <td>: 普通の文字の原稿が多いとき。</td> </tr> <tr> <td>ゲノウノド・コ</td> <td>: 薄い文字が多いとき。</td> </tr> <tr> <td>ゲノウノド・カス</td> <td>: 濃い文字が多いとき。</td> </tr> </table>	ゲノウノド・フツ	: 普通の文字の原稿が多いとき。	ゲノウノド・コ	: 薄い文字が多いとき。	ゲノウノド・カス	: 濃い文字が多いとき。	<p>3</p> <p>2 を押す。</p> <p>設定を終了します。</p>
ゲノウノド・フツ	: 普通の文字の原稿が多いとき。							
ゲノウノド・コ	: 薄い文字が多いとき。							
ゲノウノド・カス	: 濃い文字が多いとき。							

ISDN を使用する場合は

本機を ISDN 回線の TA（ターミナルアダプタ）に接続する場合、次のことを確認してください。

- 本機：回線種別を「PB」に設定してください。
- TA：本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。

万一、本機が使用できないときは、TA の設定を確認してください。TA の設定の詳細は、TA の取扱説明書をご覧ください。どうか、製造メーカーにお問い合わせください。



○お願い

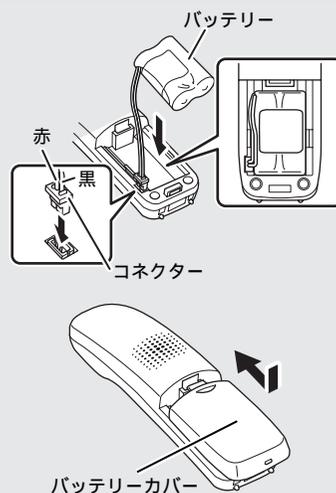
ナンバーディスプレイサービス契約時は本機と TA 両方の設定を「アリ」(ON) にしてください。

子機の準備をする

子機を使用するための準備をします。本機には 1 台の子機が付属されていますが、あと 3 台増設することができます。(子機は 4 台まで接続可能です。)子機を増設したいときはお近くの販売店にご相談ください。(増設できる子機は、型名「BCL-300」のみですのでご注意ください。)

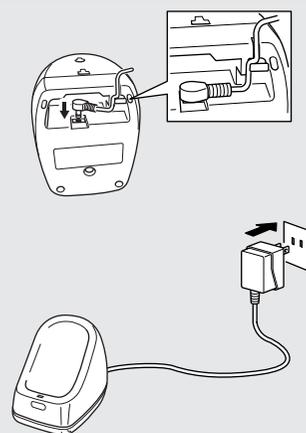
バッテリーを収納する

- 1 バッテリーのコンネクターを差し込む。
赤いコードを上側にして差し込みます。
- 2 バッテリーを子機に納める。
- 3 バッテリーカバーを閉める。
上を押さえながら「カチッ」と音がするまで閉めます。



充電器を接続する

- 1 子機用 AC アダプターのプラグを、充電器の AC アダプターコード差込口に差し込む。
- 2 子機用 AC アダプターのコードが抜けないように、溝に固定する。
- 3 子機用 AC アダプターを電源コンセント (AC100V) に差し込む。

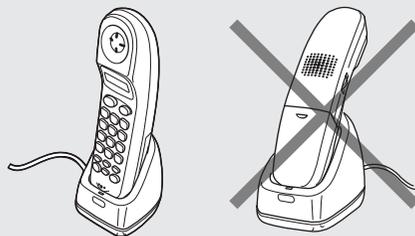


バッテリーを充電する

子機は充電器に置いて充電します。はじめてご使用になるときは、必ず 15 時間以上充電してください。

子機のダイヤル面を前に向け、充電器にのせる。

充電中は充電ランプが赤色に点灯します。(充電が終わってもランプは消えません。)



MEMO

バッテリーの残量が少なくなると、通話中に約 3 秒間隔で「ピッ ... ピッ ...」という音が鳴り、子機ディスプレイに「**電池切れ**」と表示され、約 20 秒後に電話が切れます。切れる前に **内線(保留)** を押し、充電器に置いて親機の受話器で通話を続けてください。

お願い

充電端子が汚れていると、充電ランプが点灯せず充電できないことがありますので、充電端子の汚れはこまめに拭き取ってください。

子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったらバッテリーを交換してください。交換時期の目安は約 1 年です。交換バッテリー (型名: BCL-BT) は本機または子機をお買い上げの販売店でお求めください。

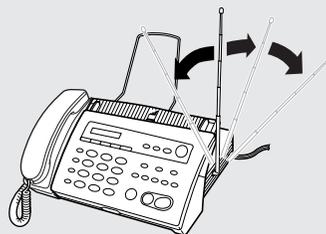
子機を使用していないときは、必ず充電器に置いてください。長時間放置しておくと、バッテリーが消耗して使用できなくなります。

子機の音質を調整する

本体に子機を接続したら、子機の音質をアンテナで調節します。

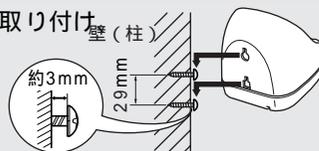
内線通話 (親子間通話) で確認しながら、アンテナの角度・長さを前後 / 右側に調節する。(内線通話 40 ページ)

子機に雑音が入るときは、アンテナの角度・長さを変えると解消することがあります。



充電器を壁に掛けて使用する

付属の壁掛け用木ネジ (2 本) を壁 (柱) に取り付け、充電器を引っ掛ける。



29mm

ダイヤル登録をする

本機では、「ワンタッチダイヤル(親機)」、「短縮ダイヤル(親機)」、「電話帳(子機)」などに電話番号や相手の名前を登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。

緊急時の連絡先やよく電話をかけるお友達の番号などを登録しておく便利です。

また、ナンバーディスプレイサービスをご利用いただいている場合、かけてきた相手が本機に登録されていると、電話番号だけでなく、名前を表示することができます。

文字入力のしかた

ダイヤル登録をするときは、**0** ~ **9**、*****、**#** を使って文字(相手の名前)を入力します。
(発信元の名前を登録するときや、送付書のコメントなどを作成するときも、同様の手順で文字を入力します。)

文字入力表

ダイヤルボタンには、押す回数に応じて次のような文字(カタカナ、アルファベット、数字)が割り振られています。

ダイヤルボタン		押す回数															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
親機	子機																
1	1	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	1					
2	2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
3	3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
4	4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ	G	H	I	4						
5	5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
6	6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
7	7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
8	8	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ	T	U	V	8						
9	9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	Z	9						
0	0	ワ	ヲ	ン	°	°	-	0									
*	*	スペース	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
#	#	:	;	<	=	>	?	@	[]	^	_						

MEMO

「文字入力表」は親機の機能案内リストにも記載されています。📖 106 ページ

基本的な文字入力のしかた

操作	親機の場合	子機の場合
文字入力のしかた		
• 文字入力	該当する 0 ² ~ 9 ² を押す。	該当する 0 ² ~ 9 ² を押す。
• 文字と文字の間に空白を入れるには	X ² を1回押す。または → を2回押す。	X ² を1回押す。または ⏪ を2回下げる。
• 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは	→ を1回押してカーソルを移動する。(移動しない場合は文字が重ね書きされる。)	⏪ を1回下げる。(移動しない場合は文字が重ね書きされる。)
• 文字を修正するには	← / → で修正したい位置までカーソルを移動させ、入力しなおす。	⏪ で修正したい位置までカーソルを移動させ、入力しなおす。
• カーソル位置以降の文字を消去するには	停止 ⊗ を押す。	音量 ⊖ を押す。

 MEMO

文字の挿入はできません。

文字の入力例

「発信元名称」や「電話帳登録」を行う場合の名前の入力を例に、基本的な文字入力のしかたを説明します。例として、「スズキ ケイコ」を入力します。

名前入力ディスプレイ	親機の場合	子機の場合
入力する文字	スズキケイコ	スズキケイコ
ス	3 ² を3回押す。	
(次の文字に移動する)	→ を1回押す。	⏪ を1回下げる。
ズ	3 ² を3回押し、 0 ² を4回押す。	
キ	2 ² を2回押す。	
(空白)	X ² を1回押す。または → を2回押す。	X ² を1回押す。または ⏪ を2回下げる。
ケ	2 ² を4回押す。	
イ	1 ² を2回押す。	
コ	2 ² を5回押す。	
(入力した文字の確定)	セット を押す。	→ を押す。

ワンタッチダイヤルに登録する（親機のみ）

ワンタッチダイヤル $\overset{A}{\text{○}}$ ~ $\overset{E}{\text{○}}$ には、次の項目を登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（15文字まで）
- 登録内容の転送（子機の「電話帳」に登録する／しない）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ: 列」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、迷惑電話の着信音を消したり、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ: 列」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ: 行」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベルを鳴らす電話機（ｽﾌﾟｰ / ｷｯ / ｺｯ / ﾏｲﾌﾟ ﾏｲﾌﾟ）
- 着信ベル音（ﾌｯ / ﾀｰﾝ1 / ﾀｰﾝ2 / ﾀｰﾝ3 / ﾓﾃﾞｰ1 / ﾓﾃﾞｰ2 / …… / ﾓﾃﾞｰ15）
（ﾓﾃﾞｰ1 ~ 15はダウンロード曲があるときのみ選択できます。）

登録する

1

を押す。

ワンタッチダイヤルに登録するディスプレイが表示されます。

2

登録したい $\overset{A}{\text{○}}$ ~ $\overset{E}{\text{○}}$ を押す。

電話番号を入力するディスプレイが表示されます。

3

登録したい電話番号を入力し、 を押す。

名前を入力するディスプレイが表示されます。

4

相手の名前を入力し、 を押す。

☞ ナンバーディスプレイが設定されているときは手順5へ。
ナンバーディスプレイが設定されていないときは手順7へ。

5

/ で着信先を選び、 を押す。

: 親機、子機とも着信ベルを鳴らすとき。
 : 親機のみ着信ベルを鳴らすとき。
 : 子機のみ着信ベルを鳴らすときは手順7へ。
 : 親機、子機とも着信ベルを鳴らさないときは手順7へ。

6

/ で着信ベル音を選び、 を押す。

着信ベルは音を聞きながら選択します。

7

/ で子機の[電話帳]への登録(「行」または「列1」)を選び、 を押す。

☞ 続けて登録をするときは手順2へ。

8

を押す。

登録を終了します。

変更する / 消去する

1

を押す。

ワンタッチダイヤルに登録するディスプレイが表示されます。

2

変更したい $\overset{A}{\text{○}}$ ~ $\overset{E}{\text{○}}$ を押す。

登録されている名前と が表示されます。

3

を押す。

「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。

4

変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。
消去するときは、 を押す。

操作を中止するには

を2回押します。

短縮ダイヤルに登録する（親機のみ）

短縮ダイヤル（01～80）には、次の項目を登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（15文字まで）
- 登録内容の転送（子機の「電話帳」に登録する／しない）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ: あり」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、迷惑電話の着信音を消したり、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ: あり」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ: なし」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベルを鳴らす電話機（ステレオ / 片側 / 両側 / メイクアップ）
- 着信ベル音（パターン1 / パターン2 / パターン3 / メロディ1 / メロディ2 / …… / メロディ15）
（メロディ1～15はダウンロード曲があるときのみ選択できます。）

登録する

<p>1</p> <p> を押す。</p> <p>短縮ダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。</p>	<p>2</p> <p>登録したい短縮番号(01～80)を入力し、 を押す。</p> <p>電話番号を入力するディスプレイが表示されます。</p>	<p>3</p> <p>登録したい電話番号を入力し、 を押す。</p> <p>名前を入力するディスプレイが表示されます。</p>
<p>4</p> <p>相手の名前を入力し、 を押す。</p> <p>☞ ナンバーディスプレイが設定されているときは手順5へ。ナンバーディスプレイが設定されていないときは手順7へ。</p>	<p>5</p> <p> / で着信先を選び、 を押す。</p> <p> : 親機、子機とも着信ベルを鳴らすとき。 : 親機のみ着信ベルを鳴らすとき。 : 子機のみ着信ベルを鳴らすときは手順7へ。 : 親機、子機とも着信ベルを鳴らさないときは手順7へ。</p>	<p>6</p> <p> / で着信ベル音を選び、 を押す。</p> <p>着信ベルは音を聞きながら選択します。</p>
<p>7</p> <p> / で子機の[電話帳]への登録(「ナシ」または「両側1」)を選び、 を押す。</p> <p>☞ 続けて登録をするときは手順2へ。</p>		<p>8</p> <p> を押す。</p> <p>登録を終了します。</p>

変更する / 消去する

<p>1</p> <p> を押す。</p> <p>短縮ダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。</p>	<p>2</p> <p>変更したい短縮番号を入力し、 を押す。</p> <p>登録されている名前と が表示されます。</p>	<p>3</p> <p> を押す。</p> <p>「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。</p>	<p>4</p> <p>変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。</p> <p>消去するときは、 を押す。</p>
---	--	--	--

操作を中止するには

を2回押します。

グループダイヤルに登録する（親機のみ）

「ワンタッチダイヤル」と「短縮ダイヤル」に登録された番号から複数の宛先を選択し、「グループダイヤル」としてワンタッチボタン A ~ E に登録することができます。

このグループダイヤルは、順次同報送信をするときに使用します。

グループダイヤルには、次の項目に登録することができます。

- グループ番号（1～5の任意の番号）
- 宛先（「ワンタッチダイヤル」と「短縮ダイヤル」から最大84箇所まで）
- グループ名称（15文字まで）

登録する

1 機能 6 3 を押す。 グループダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。	2 登録したい A ~ E を押す。 グループダイヤルGO が表示されます。	3 グループ番号（1～5）を入力し、 セット を押す。 宛先を入力するディスプレイが表示されます。 すでに登録されている番号を入力すると、 予約ダイヤル と表示されます。このときは未登録の番号を入力しなおしてください。
4 宛先を入力し、 セット を押す。 例)ワンタッチダイヤル B と短縮ダイヤル 05、06 を登録するときは、 B キヤッチ/短縮 0 キヤッチ/短縮 5 キヤッチ/短縮 0 6 を押します。 予約 と表示されます。	5 グループ名を入力し、 セット を押す。 ウケツマシ が表示されます。	6 停止 ㊄ を押す。 登録を終了します。

変更する / 消去する

1 機能 6 3 を押す。 グループダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。	2 変更したいグループ番号が登録されている A ~ E を押す。 登録されているグループ名と 予約1.2.3.4 が表示されます。	3 1 を押す。 「登録する」の手順4で、宛先が入力された状態になります。	4 変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。 消去するときは、 停止 ㊄ を2回押し、 セット を押す。
--	---	---	---

操作を中止するには

停止 ㊄ を2回押します。

MEMO

1つの A ~ E には「ワンタッチダイヤル」か「グループダイヤル」のどちらか一方しか登録できません。

電話帳に登録する（子機のみ）

電話帳（100件まで）には、次の項目に登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（12文字まで）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ: あり」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、迷惑電話の着信音を消したり、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ: あり」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ: なし」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベル音（7ツク / Mディ1 / Mディ2 / Mディ3 / MディA / MディB）
（MディA、MディBは、子機に着信メロディを登録したときのみ選択できます。）

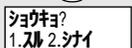
登録する

- 子機を充電器からとり、**外線**を押す。（**外線**を消灯させる。）
充電器からはずしているときはそのままです。
- キャッチ機能**を押し、**左**で「デフォルト」を選び、**右**を押す。
残りの登録可能件数と電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 登録したい電話番号を入力し、**右**を押す。
名前を入力するディスプレイが表示されます。
- 相手の名前を入力し、**右**を押す。
着信音を選択するディスプレイが表示されます。
- 左**で着信ベル音を選び、**右**を押す。
着信ベルは音を聞きながら選択します。
残りの登録可能件数が表示されます。
- キャッチ機能**を押す。
設定を終了します。

変更する

- 子機を充電器からとり、**外線**を押す。（**外線**を消灯させる。）
充電器からはずしているときはそのままです。
- キャッチ機能**を押し、**左**で「デフォルト」を選び、**右**を押す。
検索する名前の頭文字を入力するディスプレイが表示されます。
右 相手の名前で検索するときは手順3へ。
最初から1件ずつ検索するときは何も入力せず手順4へ。
- 相手の名前の頭文字を入力する。
- 左**で変更したい相手先を選び、**右**を押す。
「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。
- 「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。

消去する

- 「変更する」の手順4で変更したい相手先を選んだあと、**消去**を押す。
が表示されます。
- 1**を押す。
選択した相手先が消去され、残りの登録可能件数が表示されます。

操作を中止するには

- **キャッチ機能**を押します。

音量を設定する

親機の音量を設定する

キータッチ音を設定する

ダイヤルボタンなどを押したときに鳴る「ピッ」という音や、間違った操作をしたとき、紙づまりなど本機に異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に鳴る「ピーッ」という音の音量を調整することができます。お買い上げ時の音量は、「ショウ」に設定されています。

1

機能 **1** **4** を押す。

音量を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → で音量を選び、**セット** を押す。

キータッチ **ボリューム:OFF** : 音がしない (エラーのときは音が鳴ります。)
キータッチ **ボリューム:ショウ** : 音が小さい
キータッチ **ボリューム:ダイ** : 音が大きい

3

停止 **Ⓢ** を押す。

設定を終了します。

ベル音量・スピーカー音量・受話音量を設定する

ベル音量 (着信ベル音量、呼出ベル音量)・スピーカー音量・受話音量を調節します。

調整する音量	調整できるとき	調整のしかた	調整段階	ディスプレイ表示
ベル音量 (着信ベル音量、呼出ベル音量)	原稿がセットされていないで電話をかけていないとき (待ち受け状態のとき)	← : 音量小 → : 音量大	OFF ~ 4 段階	OFF ショウ ダイ 1 段階 ショウ ダイ 2 段階 ショウ ダイ 3 段階 ショウ ダイ 4 段階 ショウ ダイ
スピーカー音量	• スピーカー を押し、スピーカーから「ツ」音が聞こえているとき • スピーカーホンで相手と話しているとき	← : 音量小 → : 音量大	OFF ~ 4 段階	1 段階 ショウ ダイ 2 段階 ショウ ダイ 3 段階 ショウ ダイ 4 段階 ショウ ダイ
受話音量	受話器で相手と話しているとき	← : 音量小 → : 音量大	1 段階 ↔ 2 段階	1 段階 ショウ ダイ 2 段階 ショウ ダイ

MEMO

親機のベル音量を OFF に (鳴らないように) 設定しても、下記の場合は最小の音量で鳴ります。

- 呼出ベル
- [電話予約] 時のベル
- 内線や取り次ぎの呼出ベル (呼出ベル **☎** 86 ページ、[電話予約] **☎** 73 ページ)

着信ベル音を設定する

着信ベル音の鳴りかたを設定します。着信ベル音は、普通の鳴りかた以外に 3 つのパターンの中から選択することができます。また、メロディ機能 (**☎** 60 ページ) によって本機にメロディを登録したときは、登録したメロディ (最大 15 曲) から選択することもできます。お買い上げ時の着信ベル音は「ツ」に設定されています。

1

機能 **2** **1** を押す。

着信ベル音を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → で着信ベル音を選び、**セット** を押す。

着信ベル音が「ツ」/ パターン 1 / パターン 2 / パターン 3、または登録したメロディ「メロディ 1 / ... / メロディ 15」から選択します。

3

停止 **Ⓢ** を押す。

設定を終了します。

子機の音量を設定する

ベル音量・スピーカー音量・受話音量を設定する

ベル音量（着信ベル音量、呼出ベル音量）・スピーカー音量・受話音量を調節します。

音量	調整できるとき	調整のしかた	調整段階	ディスプレイ表示
ベル音量 (着信ベル音量、呼出ベル音量)	充電器に置いているとき、または(外線)が消灯しているとき	音量 を押し続けると、順に音量が切り換わるので、設定したい音量のとき、音量 を離す。	OFF ~ 2 段階	OFF <input type="text" value="ベル音:OFF"/> 1 段階 <input type="text" value="ベル音:ショウ"/> 2 段階 <input type="text" value="ベル音:ダイ"/>
スピーカー音量	スピーカーホンで相手と話しているとき	音量 を押すたびに切り換わる	1 段階 ↔ 2 段階	1 段階 <input type="text" value="ベル音:ダイ"/> 2 段階 <input type="text" value="ベル音:フツ"/>
受話音量	相手と話しているとき	音量 を押すたびに切り換わる	1 段階 ↔ 2 段階	

MEMO

子機はベル音量を OFF に（鳴らないように）設定すると、ディスプレイに「ベルOFF」と表示されます。内線や取り次ぎの呼出ベルは「ショウ」で鳴ります。子機のキータッチ音量は調整することはできません。

着信ベル音を設定する

着信ベル音の鳴りかたを設定します。着信ベル音は、普通の鳴りかた以外に3（5）つのメロディの中から選択することができます。お買い上げ時の着信ベル音は「フツ」に設定されています。

- 1 **キャッチ機能** を押し、 を 2 回下げる。
着信音を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 を押し、 で着信ベル音を選ぶ。
 : 通常のベル音
 : 主よ、人の望みの喜びよ（パッパ）
 : 鱒（シューベルト）
 : ユーモレスク（ドヴォルザーク）
 : (ダウンロード曲があるときのみ)
 : (ダウンロード曲があるときのみ)
- 3 を押す。
設定を終了します。

MEMO

手順 2 でジョグスイッチを上下操作させるごとにそれぞれのメロディが鳴りますので、聞きながら選択することができます。ハンズフリー着信を設定すると、着信音は通常のベル音で鳴ります。（ハンズフリー着信が可能な間のみ）呼出ベル音は鳴りかたを設定することはできません。（ベル音が鳴ります。）

保留音を変更する

保留のときの保留音を変更することができます。保留音は固定保留音「グリーンスリーブス」の他に、メロディ機能 (60 ページ) によって本機にメロディを登録したときは、登録したメロディから選択することができます。お買い上げ時の保留音は固定保留音「グリーンスリーブス」に設定されています。

-  を押す。
現在の保留音がディスプレイに表示され、メロディが再生されます。
-  /  で保留音を選び、 を押す。
保留音は「グリーンスリーブス」、または登録したメロディ「メロディ1/.../メロディ15」から選択します。
-  を押す。
設定を終了します。

MEMO

メロディを登録していないときは、保留音は変更できません。

保留音として設定されているメロディが上書き (更新) されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書き (更新) されたメロディが設定されます。

保留音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに固定保留音「グリーンスリーブス」が設定されます。

オプションサービスを利用される方は

-ALPHA5 (アルファ・ファイブ) 機能の設定をする

DDI (第二電電株式会社) が提供する「-ALPHA5 機能」(P.52 ページ) をご利用いただくためには、下記のような準備が必要です。

- (1) DDI へのご利用申し込み (登録料・基本料は無料)
(「-FAX サービス」をご利用いただくためには、DDI エンジニアリング株式会社へのご利用申し込みも合わせて行う必要があります。)
 - (2) 電話回線を通じて、自分の電話番号と郵便番号を DDI に通知する (スタート)
 - (3) DDI から電話回線を通じて、「-ALPHA5 機能」を利用するために必要なデータを受け取る (オンライン通信)
- (1) ~ (3) の準備は、次のような手順で行います。

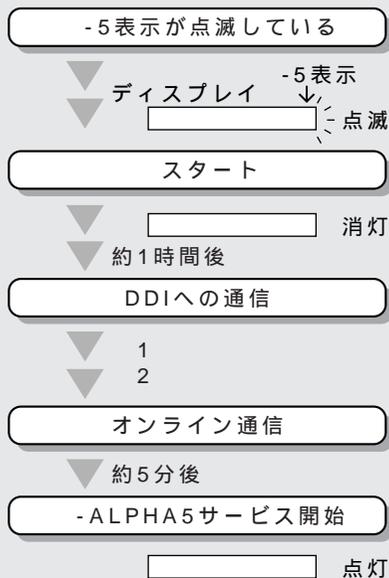
- 1 を押し、 を押し。[スタート]
郵便番号を変更するディスプレイが表示されます。
- 2 を押し。
郵便番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 ~ で郵便番号を入力し、 を押し。
-5 表示が消灯します。
- 4 約 1 時間後、本機が自動的に DDI に電話をかけ、自分の電話番号と郵便番号を通知します。(通信料無料)
- 5 その後、自動的に DDI から電話回線を通じて必要なデータが送られます。[オンライン通信] (通信料無料)
 が表示されます。
- 6 約 5 分後、-5 表示が点灯したら、「-ALPHA5 機能」がご利用いただけます。
- 7 付属の「-ALPHA5 ご利用申込書」に必要事項を記入し、ファクス送信する。

FAX 送信先: DDI 中央事務センター

フリーコール 0077 - 2322 - 9555 (無料) 24 時間受付中

当ご利用申込書にて、「割引サービス」、「-FAX サービス」に同時にお申し込みいただけます。
店頭で申し込み済みの場合、FAX での申し込みは不要です。

NTT のダイヤルインサービス、二重番号サービスをご利用の場合、主番号 (電話を取りつけたとき NTT と契約した番号) を DDI に登録してください。



●お願い

- 1: 「スタート」を行った場合、NTT の発信者番号表示サービスによりお客様のご利用されている電話番号が DDI に通知されます。「通常非通知 (回線ごと非通知)」で NTT と契約されているお客様の電話番号も「186」が付加され、DDI へ通知されますのでご了承ください。
- 2: 電話番号登録後、DDI から確認の連絡が入ることがあります。

✎ MEMO

手順 1 で を押したあと、 を押しと [スタート] が中止されます。

[スタート] は、DDI に利用申し込みの電話番号を登録していないとき行う操作です。(このときは -5 表示が点滅しています。)

移転などで電話番号が変更した場合や [スタート] を行っても正しく動作しない場合 (-5 表示が消灯、または点滅している場合は、「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」(P.54 ページ) を行ってください。

オンライン通信について

お客様が スタートを行った後に、DDI から自動的に電話回線を通じておトクな市外回線を選択するために必要な通話料金・地域内容のデータが本機に送られてくることをオンライン通信といいます。(通信料無料)送られてきたデータは本機にメモリーされます。

-ALPHA5ご利用申込書

DDI 中央事務センター行
第二電電株式会社
DDIオンラインサービス株式会社 御中

FAX送信方向
この欄を記入して
こちら側から送信
願います。

はつきりと楷書にてご記入ください。

5 ALPHA 2nd だんせとーくご利用申込書
DDI電話サービス申込書兼用

お申込日	年	月	日
フリガナ	サイン		
お名前			
			郵便 局番

MEMO

オンライン通信中には電話をかけることができません。
西暦・日付・時刻を合わせていなくてもオンライン通信が終了すると、DDI 標準時刻に書き換えられます。

ナンバーディスプレイサービスの設定をする

ナンバーディスプレイサービス(☎ 46 ページ)を利用しないとき、利用を一時的に停止するときなどは、次の手順で本機の設定をします。

お買い上げ時は「リ」に設定されています。NTT とナンバーディスプレイサービスの契約をしていないときは、「ナ」に設定してください。

注意

本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「ナンバーディスプレイサービス」をご利用いただくためには、NTT との契約が必要です。(有料)

1

機能 **0** **2** を押す。

ナンバーディスプレイサービスを設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → でナンバーディスプレイの設定(「リ」または「ナ」)を選び、**セット** を押す。

3

停止 **⊙** を押す。
設定を終了します。

MEMO

ナンバーディスプレイサービスを利用されるときは、着信ベル回数(☎ 86 ページ)を3回以上に設定してください。2回以下に設定している場合、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示されないことがあります。ダイヤルイン(モデムダイヤルインを除く)、転送電話など、同時に利用できないサービスがあります。ISDN 回線をご利用のときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターが必要になります。

キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

キャッチホンディスプレイサービスとは

キャッチホンディスプレイサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、外線通話中の着信相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。

注意

本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン、またはキャッチホン II」と「ナンバーディスプレイサービス」を契約した上で、別途NTTとの契約が必要です。(有料)

キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

キャッチホンディスプレイサービスを利用されるときは、次の手順で本機の設定をします。お買い上げ時は「ON」に設定されています。

- 1 を押す。
キャッチホンディスプレイサービスを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 / で「キャッチディスプレイ:ON」を選び、 を押す。
- 3 を押す。
設定を終了します。

ダイヤルインサービスの設定をする

ダイヤルインサービス (☎ 50 ページ) を利用されるときは、次の手順で本機の設定をします。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

注意

「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
「ダイヤルインサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないことがあります。

- 1 を押す。
ダイヤルインサービスを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 / で「ON」を選び、 を押す。
 : ダイヤルインサービスを利用するとき。
 : ダイヤルインサービスを利用しないとき。
- 3 / でモードを選び、 を押す。
 : 電話とファクスを別々の番号で使用します。
 : 親機と子機を別々の番号で使用します。
- 4 ~ で主番号(下4桁)を入力し、 を押す。
- 5 ~ で副番号(下4桁)を入力し、 を押す。
☎ 手順3で を選択したときは手順6へ。
手順3で を選択したときは手順7へ。
- 6 / でファクスベル回数を選び、 を押す。
ファクスベル回数は「0 ~ 7回」の中から選びます。
- 7 を押す。
設定を終了します。

MEMO

お買い上げ時は「ファクスベル回数」(手順6)は「0回」に設定されています。ベルが鳴らずにファクスを受信します。登録しなおすときは、手順2で一度「OFF」を設定し、もう一度、手順1から設定しなおしてください。

こんなことができます

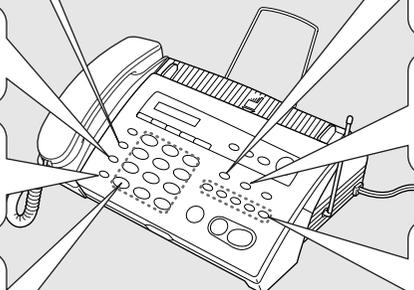
親機で電話をかけるには

最後に電話した相手にかける
 [再ダイヤル]
 (☎ 33ページ)

よく電話する相手にかける
 [短縮ダイヤル]
 (☎ 32ページ)

受話器を持たずにかける
 [スピーカーホン]
 (☎ 33ページ)

ダイヤルボタンでかける
 (☎ 32ページ)



最近かかってきた相手にかける
 [着信履歴] (☎ 48ページ)
 ナンバーディスプレイ
 契約時のみ

登録した番号から探してかける
 [電話帳]
 (☎ 33ページ)

よく電話する相手にすばやく
 かける
 [ワンタッチダイヤル]
 (☎ 32ページ)

親機で電話を受けるには



受話器をとって受ける
 (☎ 34ページ)

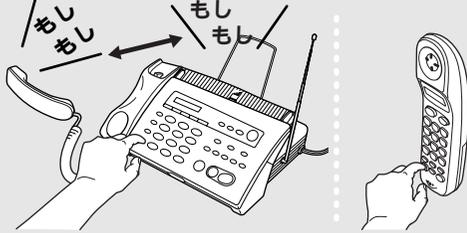


受話器を持たずに受ける
 [スピーカーホン]
 (☎ 34ページ)



「ハイ」で受ける
 [ハンズフリー着信]
 (☎ 38ページ)

通話のときは



スピーカーホン
録音
で通話のしかたを切り換えることができます。
みんなで通話の相手と話をするときなど、スピーカーホンを使うと便利です。
(最初からスピーカーホンで通話することもできます。)

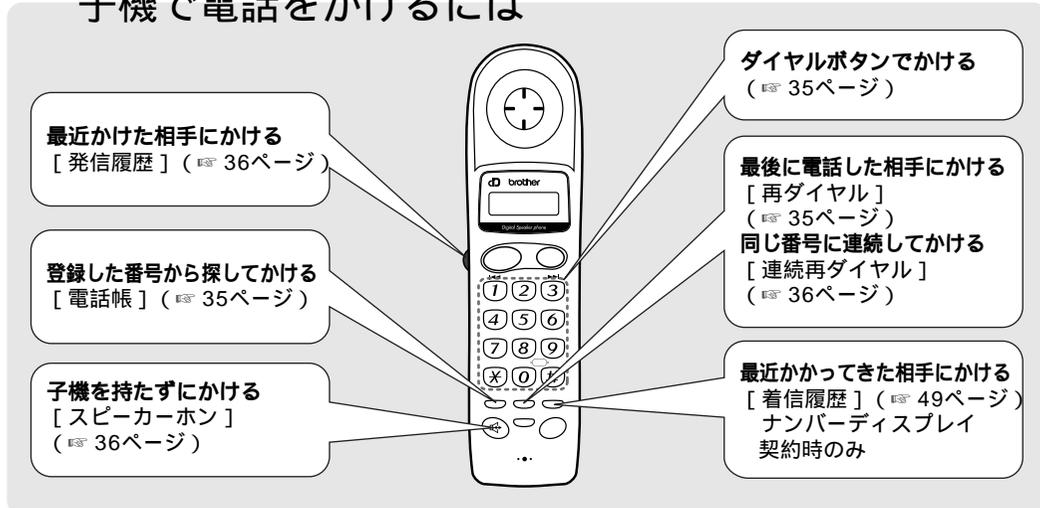


ちょっと待つて欲しいとき、^{録音/子機}○(子機は^{内線}保留)で電話を保留することができます。
保留音(グリーンスリープス)はメロディに変更することができます。(P.25ページ)



親機で通話しているとき、^{録音}○で通話を録音することができます。(P.100ページ)

子機で電話をかけるには



子機で電話を受けるには



内線通話をするには

親機と子機で通話する / 親機から子機へ呼びかける / 電話を取り次ぐ (40ページ)

MEMO

バッテリーの残量が少なくなると

通話中にバッテリーの残量が少なくなると「ピッ...ピッ...」(約 3 秒間隔) という音が鳴り、子機ディスプレイに「デンチノリカ」と表示された後、約 20 秒後に電話が切れます。切れる前に  を押して充電器に置き、親機の手話器をとって通話を続けてください。

通話圏外警告音

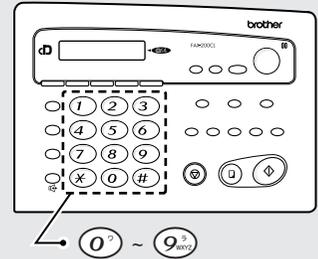
コードレス子機の使用圏内(見通し距離で親機より約 100m 以内)を超えて使用すると、子機ディスプレイに「ウツカガイ」と表示され、15 秒間「ピッ...ピッ...」(約 1 秒間隔) というアラーム音が鳴ったあと、電話が切れます。15 秒以内に使用圏内に戻ればアラーム音が鳴りやみ通話が継続できます。

親機で電話をかけるには

ダイヤルボタンでかける

ダイヤルボタンで相手の電話番号を押して電話をかけます。

- 1 受話器をとり、**0** ~ **9** で相手の電話番号を押す。
- 2 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。

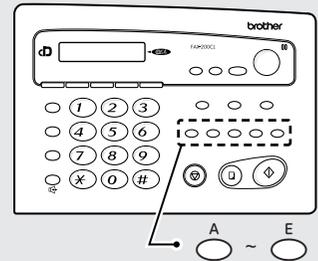


ワンタッチダイヤルでかける

A ~ **E** に登録した電話番号に電話をかけます。

(電話番号はあらかじめ **A** ~ **E** に登録しておきます。 19 ページ)

- 1 受話器をとり、**A** ~ **E** を押す。
- 2 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。

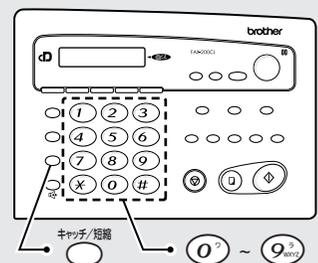


短縮ダイヤルでかける

短縮番号 (01 ~ 80) に登録した電話番号に電話をかけます。

(電話番号はあらかじめ「短縮ダイヤル」として登録しておきます。 20 ページ)

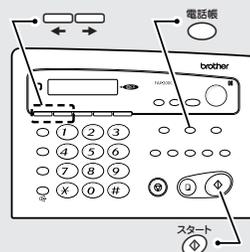
- 1 受話器をとり **キャッチ/短縮** を押し、**0** ~ **9** で短縮番号 (01 ~ 80) を押す。
- 2 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



電話帳から探してかける

「ワンタッチダイヤル」や「短縮ダイヤル」に登録してある電話番号を、「名前の頭文字」で呼び出して電話をかけます。(名前の頭文字を入力しない場合は、『カナ(五十音順) アルファベット 数字 記号 名前未登録の電話番号』の順に電話番号を呼び出すことができます。)

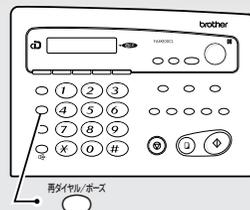
- 1 受話器をとり、^{電話帳} を押す。
- 2 相手の名前の頭文字を入力する。
☎ 文字入力のしかた : 17 ページ
名前の頭文字を入力しない場合は手順 3 へ。
- 3 ^{スタート} を押して相手の名前を表示させ、^{スタート} を押す。
- 4 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



再ダイヤルでかける

親機で最後にかけた電話番号に電話をかけます。

- 1 受話器をとり、^{再ダイヤル/ホース} を押す。
- 2 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



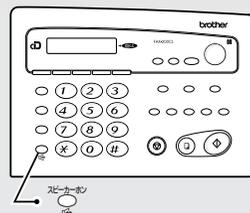
MEMO

子機で最後にかけた電話番号に、親機から「再ダイヤル」で電話をかけることはできません。(本機は、親機と子機で別々に電話番号を記憶しています。)

スピーカーホンでかける

受話器を置いたまま電話をかけ、本体のマイク(スピーカーホン)を使って相手と通話します。

- 1 ^{スピーカー} を押し、相手の電話番号をダイヤルする。
☎ ダイヤルのしかた : 69 ページ
- 2 相手が電話に出たらマイクに向かって通話をし、通話が終わったら ^{スピーカー} を押す。



MEMO

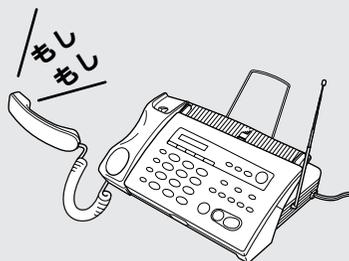
まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは受話器を持って通話してください。
操作を中止するときやかけ直すときは、もう一度、受話器を置いてください。(スピーカーホンで通話しているときは、^{スピーカー} を押してください。)

親機で電話を受けるには

受話器をとって受ける

着信ベルが鳴ります。

- 1 受話器をとる。
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら受話器を戻す。



受話器を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する）

受話器を置いたまま電話を受け、本体のマイクを使って相手と通話します。

着信ベルが鳴ります。

- 1 スピーカーホン
 を押す。
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら スピーカーホン
 を押す。



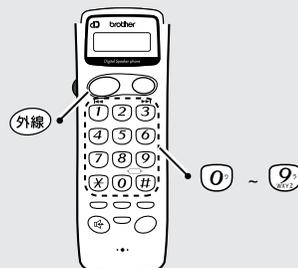
MEMO

まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは受話器を持って通話してください。

子機で電話をかけるには

ダイヤルボタンでかける

- 1 充電器から子機をとる。(外線)を点灯させる。
充電器から外しているときは(外線)を押します。
- 2 (0) ~ (9)で相手の電話番号を押す。
- 3 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。



MEMO

(外線)が点灯した後、約15秒間(0) ~ (9)を押さなかった場合、「ピピッ・・・ピピッ・・・」という音が鳴ります。このときは、ダイヤルするか、一度、子機を充電器に戻してください。

電話帳から探してかける(ジョグスイッチでかける)

子機の「電話帳」に登録してある電話番号を「名前の頭文字」で呼び出して電話をかけます。(名前の頭文字を入力しない場合は、『数字 アルファベット カナ(五十音順) 記号 名前未登録の電話番号』の順に呼び出すことができます。)

- 1 充電器から子機をとり、(外線)を押す。(外線)を消灯させる。
充電器から外しているときはそのままです。
- 2 電話帳 を押し、続けて相手の名前の頭文字を入力する。
文字入力のみかた：17ページ
名前の頭文字を入力しないときは手順3へ。
- 3 で相手の名前を表示させ、
 または(外線)を押す。
- 4 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。

MEMO

操作を中止するときは、電話帳 を押します。

再ダイヤルでかける

子機で最後にかけた電話番号に電話をかけます。

- 1 充電器から子機をとる。(外線)を点灯させる。
充電器から外しているときは(外線)を押します。
- 2 再ダイヤル を押す。
- 3 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。

連続再ダイヤルでかける

連続 15 回まで、自動的に「再ダイヤル」します。チケットを予約する時など、相手につながるまで何度も再ダイヤルしたいときに便利です。

- 1 充電器から子機をとる。
(**外線**) を点灯させる。
充電器から外しているときは (**外線**) を押します。
- 2 キャッチ機能 **再ダイヤルP** を押す。
相手が電話に出ると自動的にスピーカーホン状態になります。
- 3 相手が電話に出たら、そのままスピーカーホンで通話するか、(**📞**) を押し、子機を持って通話する。
- 4 通話が終わったら (**外線**) を押す。

MEMO

操作を中止するときは、(**外線**) を押します。(**外線**) を消灯させます。
まわりの騒音などによって連続再ダイヤルができないときがあります。そのときは最初からやり直してください。

発信記録からかける

以前かけた電話番号に、簡単な操作で電話をかけます。(子機は以前かけた電話番号を新しい順に 10 件まで記憶しています。)

- 1 充電器から子機をとり、(**外線**) を押す。
(**外線**) を消灯させる。
充電器から外しているときはそのままです。
- 2 **再ダイヤルP** を押し、**📞** でかけたい電話番号を選び、**📞** または (**外線**) を押す。
- 3 相手が電話に出たら通話し、通話が終わったら (**外線**) を押す。

発信記録を 1 件ずつ消去するには

消去したい番号を表示し、消去 (**6**) (消去) を押します。

発信記録をすべて消去するには

キャッチ機能 **📞** で「ハンズフリー クリア」を選び、**📞** を押し、(**1**) を押します。

スピーカーホンでかける

子機を置いたまま電話をかけ、子機のマイクを使って相手と通話します。

- 1 (**📞**) を押し、相手の電話番号をダイヤルする。
- 2 相手が電話に出たらマイクに向かって通話をする。
- 3 通話が終わったら (**外線**) を押す。
充電器に置いたまま操作したときは (**📞**) を押します。

MEMO

まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは (**📞**) を押し、子機を持って通話してください。

子機で電話を受けるには

子機をとって受ける

着信ベルが鳴り、**外線** が点滅します。

- 1 子機を充電器からとる。
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら **外線** を押す。



子機を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する）

子機を置いたまま電話を受け、子機のマイクを使って相手と通話します。

着信ベルが鳴り、**外線** が点滅します。

- 1 **📞** を押す。
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら **外線** を押す。
充電器に置いたまま通話していたときは **📞** でも電話を切ることができます。



子機を優先して電話を受ける [子機優先呼出]

折り返しの電話を受けるときや深夜の電話などを受けるとき、特定の子機の着信ベルを、親機や他の子機より 5 回先に鳴らすことができます。

[子機優先呼出] は設定後の 1 回の着信のみ有効です。

- 1 充電器から子機をとり、**外線** を押す。
(**外線** を消灯させる。)
充電器から外しているときはそのままです。

- 2 **優先**
8 を 1 秒以上押す。
📞 優先 が表示されます。

次に電話がかかってくると、親機や他の子機より先に呼出音が鳴ります。子機優先呼出が行われると、自動的設定は解除されます。

子機優先呼出の設定を解除するには

もう一度、**優先**
8 を 1 秒以上押します。(**📞 カイジョ** が表示されます。)

MEMO

他の子機がすでに優先設定をしているときは、**📞 優先** と表示されます。このときは他の子機の設定が解除されるまで優先設定はできません。
親機で機能設定やコピー、リストプリントなどの操作を行っているときは、子機の優先設定を行っていても、親機の操作が終了するまで着信ベルは鳴りません。

ハンズフリーで電話を受けるには

「ハンズフリー着信」を設定しておく、電話の着信があったとき、「ハーイ」と返事をするだけで、電話を受けることができます。(このときは、スピーカーホン通話となります。)

「ハンズフリー着信」の設定は親機で行います。子機にハンズフリー着信を設定するときは、音声の確認作業で子機のマイクを使用します。子機はあらかじめ充電器からとり、**外線** を押して **外線** を消灯させておいてください。

「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。

ハンズフリーで受ける

1

着信ベルが鳴ります。

2

マイクに向かって、「ハーイ」と言う。
「ピピッ」と鳴り、電話につながります。
返事はマイクの正面1メートル以内から、ベルとベルの間
に言います。

3

マイクに向かって通話を
し、通話が終わったら
 を押す。

MEMO

相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器を取ってお話してください。
内線電話のときや留守モードのときはハンズフリー着信で受けることはできません。
親機のそばを離れるときや外出するときは誤作動しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。
ハンズフリー着信後のスピーカーホンでの通話は1時間で自動的に回線が切れます。1時間以上通話するときは受話器(子機)を取って通話してください。
着信音が「呼出ベル」に変わった後はハンズフリー着信で受けることはできません。(電話呼出ベル  121 ページ)
ハンズフリー着信を親機に設定すると、親機の着信音をメロディに設定していても普通の着信ベル音で鳴ります。また、ハンズフリー着信を子機に設定すると、親機も子機も着信ベル音の設定にかかわらず普通の着信ベル音で鳴ります。

ハンズフリー着信の設定をする

1

 を押す。

ハンズフリー着信を設定する
ディスプレイが表示されます。

2

 /  でハンズフリー着信の設定先を選び、 を押す。

- ハンズフリー着信: オン** : 親機に設定するとき。
(親機のディスプレイに **ハンズフリー着信** と表示されます。)
- ハンズフリー着信: 子** : 子機に設定するとき。
(子機のディスプレイに **ハンズフリー着信** と表示されます。)
- ハンズフリー着信: OFF** : ハンズフリー着信を設定しないとき。

3

選択した設定先(親機または子機)のマイクに向かって「ハーイ」と
言って、「ピピッ」という音が鳴るか確認する。

本機が反応しているときは「ピピッ」という音が鳴り  が点滅します。

「ハーイ」と言っても本機が反応しないときは  を押してマイクの感度
を上げてください。

まわりの音に反応して「ピピッ」という音が鳴るときは  を押してマイ
クの感度を下げてください。

カド: - + : 感度は4段階あります。

4

 を押す。

5

 を押す。
設定を終了します。

ハンズフリー着信の設定を解除するには

手順 2 で「OFF」を選択し、 を押します。

MEMO

設定の途中で電話がかかってくると着信ベルが鳴り、設定が中止されます。通話終了後、もう一度設定をやり直してください。

[着信ベル回数] を 0 または 1 回に設定しているとき、または [着信ベル音量] を OFF に設定しているときはハンズフリー着信で受けることができません。

「ハイ」と言う返事が小さいときや短いときは本機が反応しないことがあります。また、声の高さによっては「ハイ」がうまく検出できないこともあります。そのときはなるべく低い声で発声してください。また、「ハイ」以外の返事のしかた（例えば「おーい」）でうまく反応することもあります。

「ハイ」の検出可能距離はマイク正面の約 1メートル以内です。

子機を増設したときは、子機でハンズフリー着信することはできません。

手順 4 で  を押しても子機のディスプレイが  に戻らないときは、いったん子機のバッテリーをはずしてバッテリーコネクタを抜きます。そのあと、再度バッテリーを接続・収納してハンズフリー着信の設定をし直します。

内線通話をするには

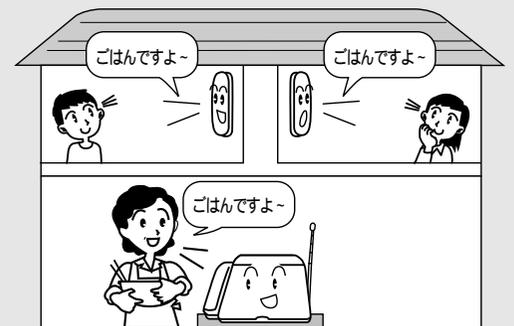
親機と子機で通話する

親機から子機、または子機から親機へ電話をかけ、通話します。



親機から子機へ呼びかける

親機からすべての子機、または特定の子機にスピーカーを使って呼びかけます。



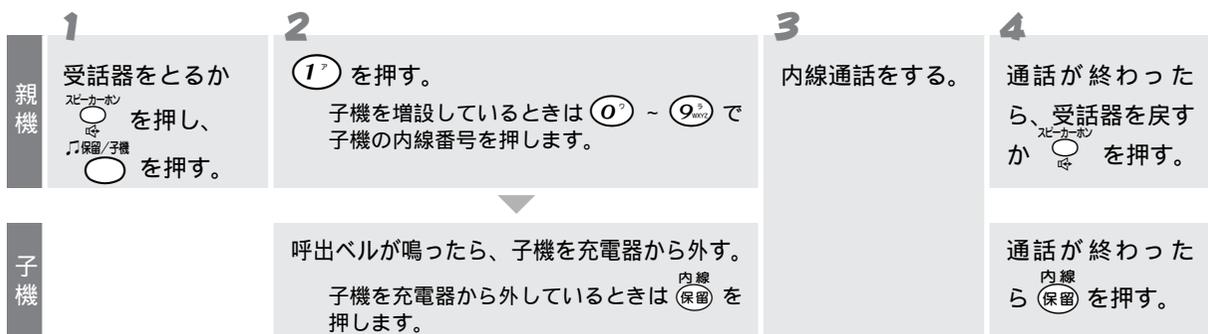
電話を取り次ぐ

外からかかってきた電話を親機から子機、または子機から親機に取り次ぎます。

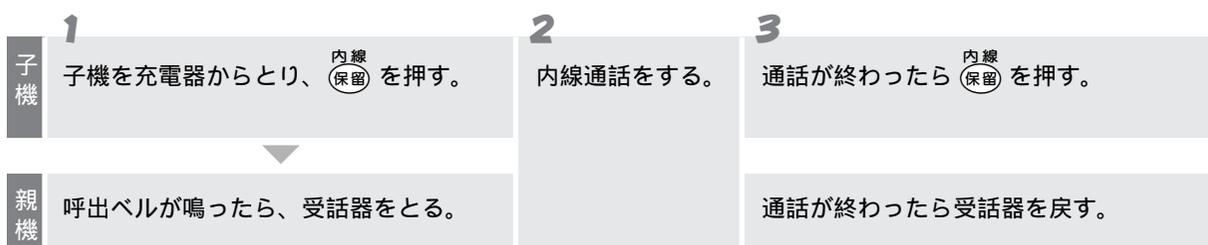


親機と子機で内線通話をする

親機から子機を呼び出して通話する



子機から親機を呼び出して通話する



MEMO

内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信ベルが鳴ります。親機を受話器を戻して内線通話を終了し、再び受話器を取ると外線につながります。

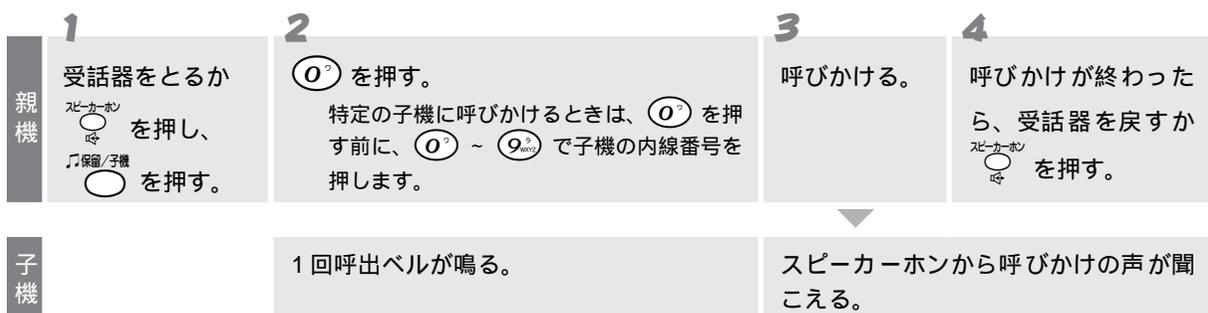
(ナンバーディスプレイサービスの設定をしているとき、または -NEWSメニューからメロディをダウンロードしているときは、着信ベルは鳴りません。)

親機からはスピーカーホンでも内線通話することができます。(子機ではスピーカーホンによる内線通話はできません。)

親機がスピーカーホンで内線通話をしているときは、親機と子機は近づけないでください。

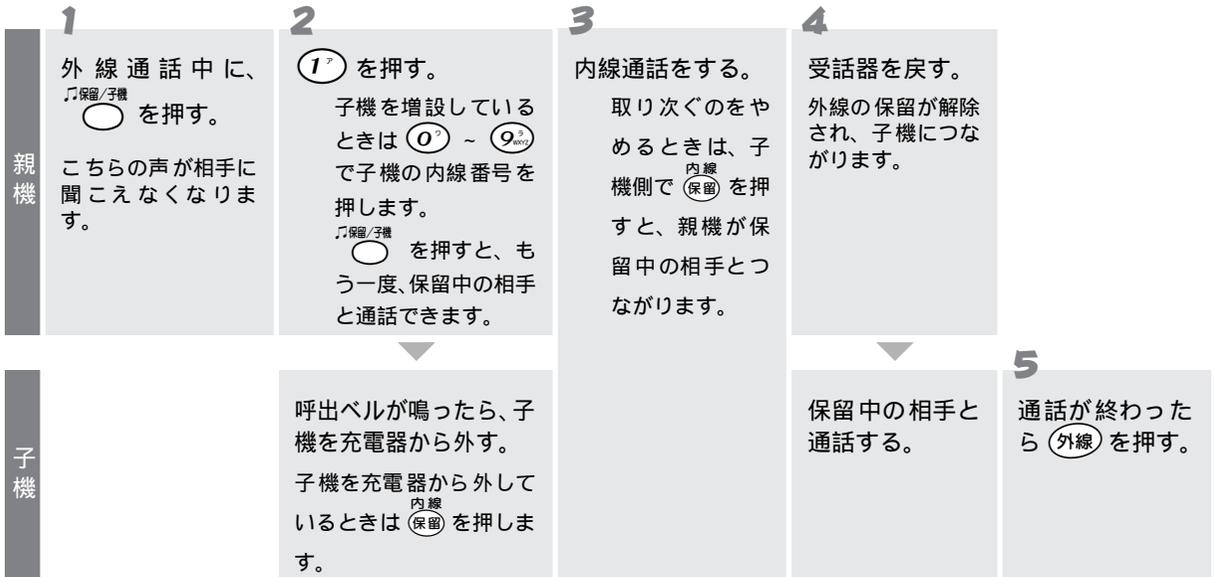
親機のすぐそばに子機を近づけると「キーン」という音(ハウリング)が発生することがあります。

親機から子機へ内線で呼びかける

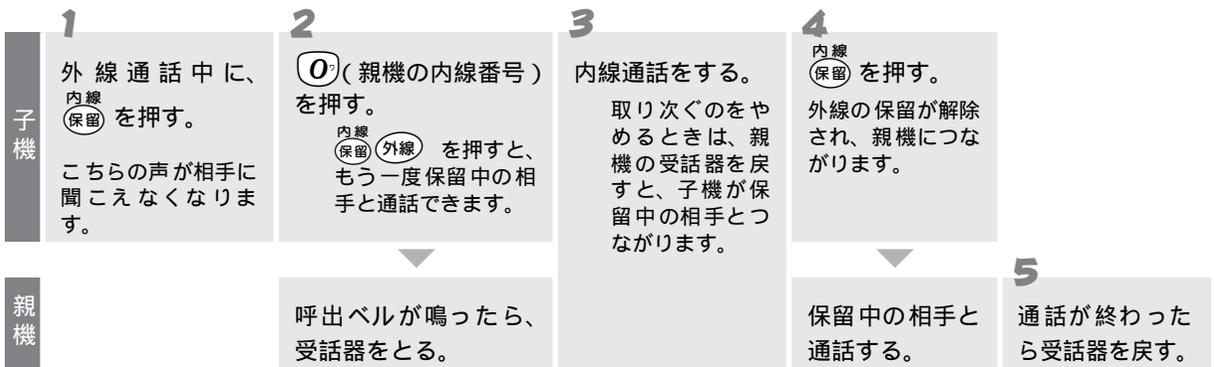


電話を取り次ぐ

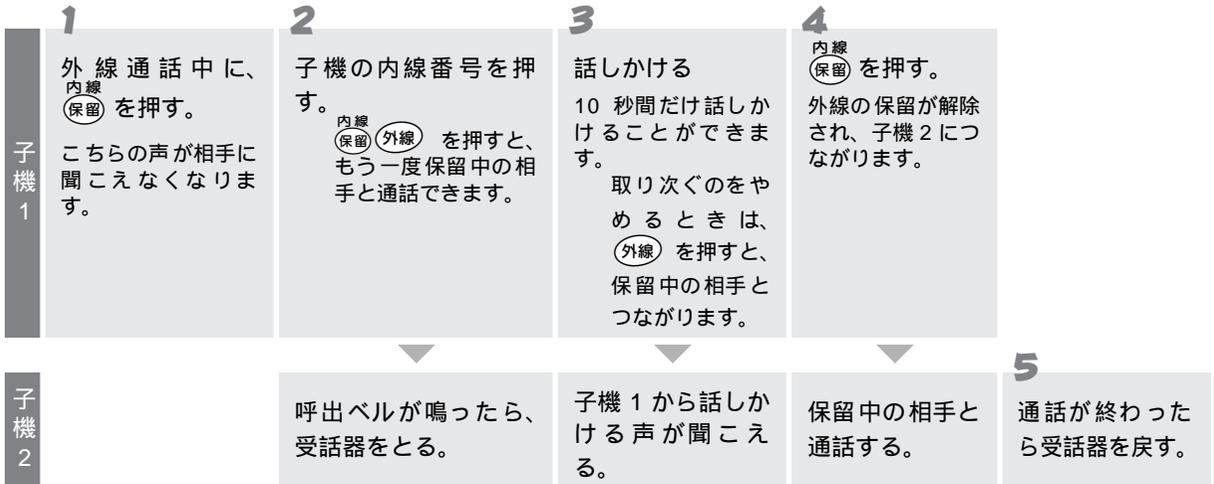
親機から子機に電話を取り次ぐ



子機から親機に電話を取り次ぐ



子機から子機に電話を取り次ぐ（子機を増設した場合）



MEMO

子機はスピーカーホンで取り次ぐことはできません。

親機と子機での取り次ぎ中に子機が通話圏外に出ると、親機が外線につながります。

取り次ぎ先の子機（例：子機 2）を約 60 秒呼び出しても応答がないときは、自動的に呼び出しを中止し、最初に外線を受けた子機（例：子機 1）が保留に戻ります。

子機から子機への取り次ぎ中に子機が通話圏外に出ると、保留中の外線は切断されます。

オプションサービスを利用するには

NTT や DDI (第二電電) と契約することにより、いろいろなサービスを受けることができます。

キャッチホンを利用する

キャッチホンとは

「キャッチホン / キャッチホン II」は、NTT が行っているサービスの 1 つで、外線通話中の着信を受けるためのサービスです。サービスの詳細については NTT (116 番) にお問い合わせください。

注意

「キャッチホン / キャッチホン II」をご利用いただくためには、NTT との契約が必要です。(有料)
「ダイヤルインサービス」と同時に契約することはできません。

キャッチホンを受ける

キャッチホン (外線通話中の電話) がかかってくると、通話中に「プップ」 という音が聞こえます。

親機の場合	1	2	3
	外線通話中に、「プップ」という音が聞こえる。 <small>キャッチ/短縮</small> ○ を押す。 通話中の相手に保留メロディが流れ、新しくかかってきた相手に電話がつながります。 新しくかかってきた相手がファクスのときは、「ポーポー」という音が聞こえます。	新しくかかってきた相手と通話する。	最初の相手に戻るときは、もう一度 <small>キャッチ/短縮</small> ○ を押す。 <small>キャッチ/短縮</small> ○ を押すごとに、通話の相手が切り換わります。
子機の場合	1	2	3
	外線通話中に、「プップ」という音が聞こえる。 <small>キャッチ機能</small> ○ を押す。 通話中の相手に保留メロディが流れ、新しくかかってきた相手に電話がつながります。	新しくかかってきた相手と通話する。	最初の相手に戻るときは、もう一度 <small>キャッチ機能</small> ○ を押す。 <small>キャッチ機能</small> ○ を押すごとに、通話の相手が切り換わります。

キャッチホンディスプレイサービスを契約しているときは

キャッチホン (外線通話中の電話) がかかってくると、通話中に「プップ」 という音が聞こえ、その後約 1 秒間無音になり、ディスプレイに相手先の電話番号 (登録されているときは名前) が表示されます。表示された電話番号は、ナンバーディスプレイサービスと同様、着信履歴として活用することができます。

注意

本機の設定 (☞ 28 ページ) だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン、またはキャッチホン II」(☞ 44 ページ) と「ナンバーディスプレイサービス」(☞ 46 ページ) を契約した上で、別途 NTT との契約が必要です。(有料)

○お願い

NTT と「キャッチホンディスプレイサービス」の契約をされているときは、必ず「キャッチディスプレイ」に設定してください。着信時の状況によっては、相手先の電話番号が表示されないことがあります。キャッチホンディスプレイサービスをご利用になるときは、受話器を使って通話することをおすすめします。

キャッチホンでファクスが入ってきたときは

外線通話中にファクスの着信があったときも、通話中に「プップツ」という音が聞こえます。

	1	2
キャッチホンを受けたら「ポーポー」という音が聞こえる。 最初の相手には保留メロディが流れています。	親機：受話器を上げたまま スタート ま  を押す。 子機：約7秒待つ。 ファクスを受信します。	ファクスを受信し終わったら 親機：受話器を上げたまま、 キャッチ/短縮  を押す。 子機：親機の受話器を上げ、親機 の  を押す。 最初の相手に電話がつながります。
最初の相手との通話が終わった後、ファクスを受信する	親機：受話器を上げたまま キャッチ/短縮 ま  を押す。 子機：  押す。 最初の相手に電話がつながります。	最初の相手との通話が終わったら 親機：受話器を上げたまま、 キャッチ/短縮 スタート   を押す。 子機：  を押し、約7秒待つ。 ファクスを受信します。
ファクスを受信しない	受話器を上げたまま、親機の   を押す。 最初の相手に電話がつながります。	

MEMO

キャッチホンを受けなかったとき、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンのとき以外に、通話中に  (親機) や  (子機) を押すと、通話が切れることがあります。ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になるようでしたら、「キャッチホンII」のご利用をおすすめします。

キャッチホンでファクス受信すると、ファクスを何枚も受信し時間がかかる場合がありますので、通話を終えてからファクス受信することをおすすめします。

ナンバーディスプレイサービスを利用する

ナンバーディスプレイサービスとは

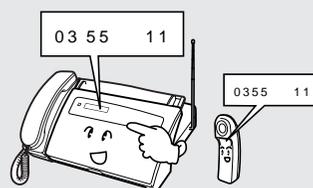
ナンバーディスプレイサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、電話がかかってきたときに相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。

注意

本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「ナンバーディスプレイサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)

電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



名前表示機能

親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、登録した相手の名前がディスプレイに表示されます。

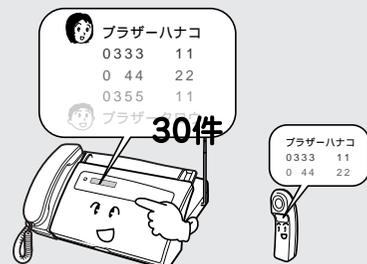


着信記録機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。記録した電話番号は下記のように活用できます。

- ディスプレイに表示する。
- 「着信記録」としてプリントする。
- 親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルへ登録する。
- 子機の電話帳に登録する。
- 記録した電話番号に電話をかける。

着信履歴は、新しい順に30件まで記録し、31件以上になった場合は順次古いものを消去します。



迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話は、着信ベルが鳴らないようにすることができます。

受けたくない電話番号を、親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルにチャクシンメイワクシテイとして登録します。



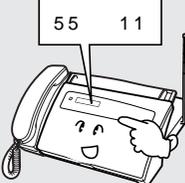
着信ベル音指定機能

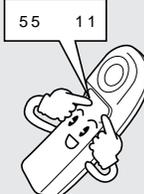
電話番号ごとに、着信ベル音を指定することができます。親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に電話番号を登録するときに、着信ベル音を指定して登録します。着信ベル音はあらかじめ本機に記憶されている着信ベル音(4種類)の他に、「えらんでメロディ」(60ページ)でダウンロードした曲を指定することができます。(親機:15曲、子機:2曲)



電話がかかってくると...

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときは、登録した相手の名前がディスプレイに表示されます。

親機の場合	1	<p>着信ベルが鳴り、ディスプレイに相手の名前や電話番号が表示される。</p> <p>ｽｽﾞｷ ｹｲｺ : 名前が登録してあるとき。 052811 33 : 名前が登録していないとき。</p>		2	<p>電話を受ける。 ☎ 34 ページ 電話につながります。</p>
-------	----------	---	---	----------	--

子機の場合	1	<p>着信ベルが鳴り、ディスプレイに相手の名前や電話番号が表示される。</p> <p>ｽｽﾞｷ ｹｲｺ 052811 33 : 名前が登録してあるとき。 052811 33 : 名前が登録していないとき。</p>		2	<p>電話を受ける。 ☎ 37 ページ 電話につながり、ディスプレイに通話時間(めやす)が表示されます。</p>
-------	----------	---	---	----------	--

その他のディスプレイ表示について

ナンバーディスプレイサービスでは、電話番号が表示できないときは、次のような表示を行います。

ディスプレイ表示	説明
ヒツヂ	<ul style="list-style-type: none"> 相手が電話番号を表示しない契約をしているとき。 電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき。
ｺﾝｼﾞｬｸ ﾏﾞ ﾏ	<ul style="list-style-type: none"> 相手が公衆電話から電話をかけてきたとき。
ｷｮｸ ﾏﾞ ﾏ ﾏ ﾏ ﾏ ﾏ	<ul style="list-style-type: none"> 相手がナンバーディスプレイサービス対象地域外から電話をかけてきたとき。 サービス未実施の携帯電話やPHSなどから電話をかけてきたとき。

着信記録を利用する（親機）

確認・消去する電話をかける

記録をプリントする

1 着信記録
メモリー送信
を押す。

着信記録が表示されます。
着信がないときは、拒否音が鳴り、**チャクソカ アリマセン** が2秒間表示されます。

2 ◀ / ▶ で確認したい着信履歴を選び、**セット** を押す。

ディスプレイに名前 電話番号 日時が2秒ずつ表示されます。

30)スズキケイコ
30)052811 33
30)08/05 10:00

消去
を押すと、表示していた履歴が消去されます。

3 確認が終わったら、**停止** を押す。

受話器をとり、**スタート** を押す。
ダイヤルを始めます。
ファクスを送信するときは、原稿を**スタート** セットし、**スタート** を押します。

スタート を押す。
プリントを始めます。

チャクソカ 記録					
シケキ	ジコ	カバ-ディスプレイ	アワサキメウヨ	コソト	
01	03/01	11:10	052824	スズキケイコ	RX
02	03/01	11:12	052 2554	ヒゲタミ	TX
03	03/05	13:30	052824 56	ミナミキミ	RX
04	03/07	08:00	03547 86	コノマコ	
05	03/10	03:11	ヒゲタ	ヒゲタミ	RX
06	03/11	20:11	0528242	ヒゲタミ	
07	03/11	21:11	03 1234	ヒゲタ	
08	03/12	09:32	03 1234	ヒゲタ	
09	03/14	13:10	03 1234	ヒゲタ	
10	03/15	14:20	ヒゲタミ		TEL
11	03/20	15:20	ヒゲタミ		TEL

RX：ファクス受信した。
TX：ポーリング送信した。
メッセージロクオン：留守録メモリーにメッセージを受信した。
TEL：電話に出て相手と話をした。
RX TEL：電話に出た後でファクスを手動受信した。
TX TEL：電話に出た後でファクスを手動送信した。
コメント欄が空欄：電話に出ていない。

1 ヤワルンに登録するダイヤルに短縮登録するダイヤルを押す、◀ / ▶ で登録したい着信履歴を表示させる。

2 A ~ E を押す。
名前を入力するディスプレイが表示されず。
すでに登録されている電話番号のときは **トウケサレマス** が表示されます。

キヤチ/短縮
を押す、短縮番号、**セット** を押す。
名前を入力するディスプレイが表示されず。
すでに登録されている電話番号のときは **トウケサレマス** が表示されます。

3 19 ページ「ワンタッチダイヤルに登録する」の手順4へ以降は「ワンタッチダイヤルに登録する」と同様の設定をします。

20 ページ「短縮ダイヤルに登録する」の手順4へ以降は「短縮ダイヤルに登録する」と同様の設定をします。

操作を中止するには

停止 を押します。

着信記録を利用する（子機）

確認・消去する

電話をかける

1

充電器から子機を外し、**外線**を押す。（**外線**を消灯させる。）
充電器から外しているときはそのままです。

2

着信記録を押す。
ディスプレイに最新の着信履歴が表示されます。
着信がないときは、拒否音が鳴り、**チャクシクク**が2秒間表示されます。

3

で確認したい着信履歴を表示させる。
消去 **6**（消去）を押すと、表示していた履歴が消去されます。

4

確認が終わったら、**着信記録**を押す。

→ または **外線** を押す。
ダイヤルを始めます。

電話帳に登録する

1

充電器から子機を外し、**外線**を押す。（**外線**を消灯させる。）
充電器から外しているときはそのままです。

2

着信記録を押す。
ディスプレイに最新の着信履歴が表示されます。
着信がないときは、拒否音が鳴り、**チャクシクク**が2秒間表示されます。

3

で確認したい着信履歴を表示させる。
消去 **6**（消去）を押すと、表示していた履歴が消去されます。

4

電話帳を押す。
ナリ?が表示されます。

5

22 ページ「電話帳に登録する」の手順 4 以降は「電話帳に登録する」と同様の設定をします。

操作を中止するには

キャッチ機能を押します。

すべての着信記録を消去するには

1

子機を充電器からとり、**外線**を押す。（**外線**を消灯させる。）
充電器からはずしているときはそのままです。

2

キャッチ機能を押し、で「**チャクシクク クリア**」を選び、→ を押す。
スベテシヨクキヨ?
1. 2. ナリが表示されます。

3

1'を押す。
すべての着信記録が表示されます。

MEMO

回線ごと「通知」の契約をしている場合で、電話番号を相手に通知したくないときは、「電話をかける」の手順 4 の前に **キャッチ機能** を押し、**[ヒツク]** **052826xxxx** を表示させてから → または **外線** を押します。

回線ごと「非通知」の契約をしている場合で、電話番号を相手に通知したいときは、「電話をかける」の手順 4 の前に **キャッチ機能** を 2 回押し、**[ツク]** **052824xxxx** を表示させてから、→ または **外線** を押します。

子機の着信記録はプリントできません。

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスとは

ダイヤルインサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、1本の電話回線で、いくつかの電話番号を持つことができるサービスです。本機では2つの電話番号を扱うことができ、「ダイヤルインサービス」の契約を行うと、「ダイヤルインサービス」用の番号を追加指定されます。(以下、最初にNTTと契約した番号を「主番号」、追加された番号を「副番号」と呼びます。)サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。(設定方法 28 ページ)

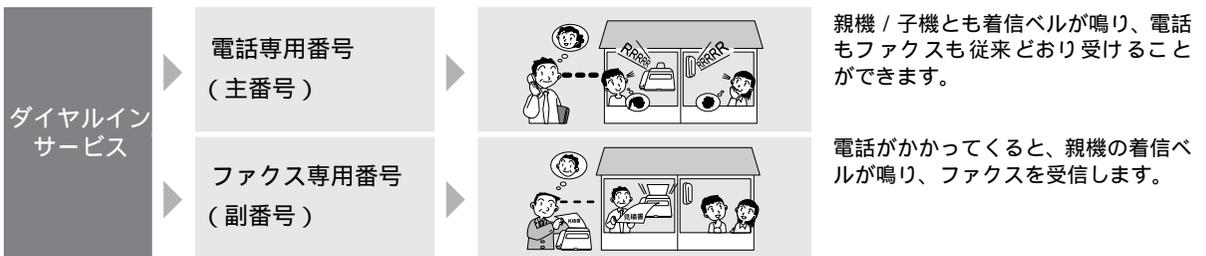
注意

「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
 「ダイヤルインサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。
 サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないときがあります。

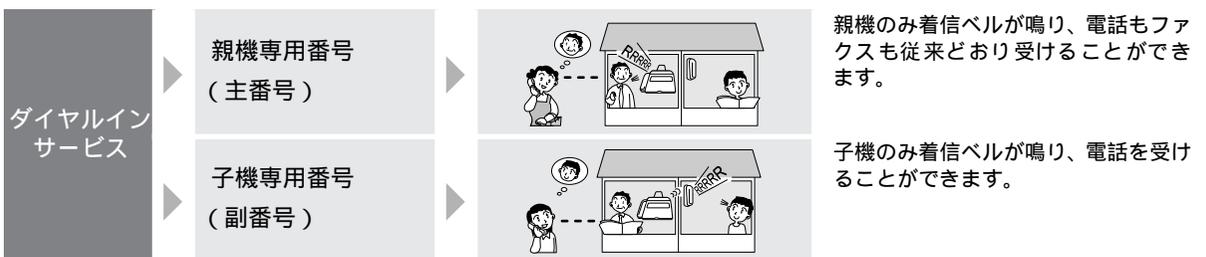
ダイヤルインサービスの使いかた

本機では、この2つの電話番号を下記の設定で使用することができます。

電話とファクスで別々の番号を使う **モード: デフォルト**



親機と子機で別々の番号を使う **モード: 別々**



MEMO

ダイヤルインサービスは1本の電話回線を使用していますので、一方の電話番号が使われている時はもう一方の電話番号を同時に使うことはできません。
 ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは、以下に示すサービスを同時にご利用いただくことはできません。(キャッチホン / 三者通話 / 転送電話 / 電話会議 / トーク案内 / 二重番号) 詳しくは、NTTにお問い合わせください。
 契約の際、PB方式を選択した場合、電話番号(副番号)は、4桁を指定してください。
 受信モードが在宅モードのベル回数「ムセイゲン」に設定されているとき、着信ベルは25回鳴ります。また相手が通話する前に電話を切ったときでもこちら側が受話器を取るまでは25回ベルが鳴り続けます(PB方式のダイヤルインサービスのみ)。
 ISDN回線に接続しているときは、使用されるターミナルアダプターの機能により本機のダイヤルインサービスは利用できない場合があります。
 ダイヤルイン番号にかけるときは、相手につながるまでに多少の時間がかかります。(呼出音が鳴るまでに無音状態が約8~10秒続きます。)

ダイヤルインサービスを利用しないときは

機能 **0** **4** を押し、**←** / **→** で「OFF」を選び、**停止** **セット** **Ⓢ** を押します。

トーン信号によるサービスを利用する

トーン信号によるサービスとは

本機では、トーン（P B）信号による各種サービス（銀行 ANSER・クレジット通話サービス・ポケットベルサービス・照会案内サービス・ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール・留守番電話におけるリモート操作など）を利用することができます。

具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

トーン信号によるサービスを利用するには

プッシュ 回線の場合	1	各種サービスの電話番号をダイヤルする。	2	サービスの指示に従って 0 ~ 9 、 * 、 # を押す。
	1	各種サービスの電話番号をダイヤルする。	2	* トーン を押す。
ダイヤル 回線の場合	1	各種サービスの電話番号をダイヤルする。	3	サービスの指示に従って 0 ~ 9 、 * 、 # を押す。 電話を切るとダイヤル回線に戻ります。

-ALPHA5 機能を利用する [-ALPHA5 機能]

-ALPHA5 とは

-ALPHA5(アルファ・ファイブ)とは、DDI(第二電電)の電話回線を使って提供する機能です。おトクな市外電話回線を自動で選ぶ機能の他に、料金表示、文字メッセージの送受信、簡単な操作による生活情報入手、そして海外へのおトクなインターネット FAX ができる通信機能です。利用できる機能は以下の 6 つです。

-ALPHA5 アルファ・ファイブ
DDI 市外電話自動選択機能
<p>電話をかけたとき、相手の場所・曜日・時間帯を判定して DDI と NTT の通常料金を比較して、おトクな市外回線を自動的に選びます。電話をかけるときに DDI につなぐ番号(0077)を押す必要がなく、NTT の電話回線を使ってかけるときと同じ操作でご利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DDI と NTT の通話料金が同じ場合は DDI を選びます。 • 通常料金とは電話会社(DDI・NTT)の割引サービス適用前の料金です。 • NTT 回線で市外電話をかける場合、最初に「0000」をダイヤルしておかけください。
料金表示機能
<p>おトクな市外回線を自動で選んで通話したときや、DDI 国際電話(0078)をご利用されたときの通話料金が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 通話料金はおよその目安です。 • ISDN 回線に接続した場合、ご使用になるターミナルアダプタによりご利用できないときがあります。 • かかってきた電話の通話料金は表示されません。 • キャッチホンやトリオホンサービスをご利用の場合、正確に表示されないことがあります。 • 一般の料金体系とは異なる以下のような電話番号を利用するときは、料金表示はされません。 (例)フリーダイヤル(0120)、ダイヤル Q2(0990)、携帯電話・PHS 番号、ナビダイヤル(0570)、1 から始まる 3 桁の番号(104 など)、その他ラインライン(0190)・テレドーム(0180)などの特殊電話サービス、-NEWS、-FAX サービス料金、DDI テレホンサービス料金
-DIAL (アルファダイヤル) 機能
<p>DDI のテレホンサービス「Talkin' ダイヤル」の電話番号、およびお客様の地域の公共施設の電話番号が自動的に登録され、その番号に簡単にアクセスすることができます。電話番号はそれぞれ最大 10 件まで登録されます。 (公共施設自動登録サービスを受けるためには、-ALPHA5 の設定を行うときに、郵便番号を登録する必要があります。☎ 54 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Talkin' ダイヤル: 利用した時間に相当する通話料だけで 24 時間ご利用できる DDI テレホンサービスです。(東京(03)までの DDI 通話料がかかります。)音楽ダイヤル・占いダイヤル等があり、一部のダイヤルではファクスによる情報取り出しもできます。なおダイヤル内容は予告なく変更・終了することがあります。 • 公共施設自動登録: 登録された 7 桁の郵便番号に基づき、その地域の都道府県・水道局・電気の窓口等の公共施設の電話番号が自動的に登録されます。自動登録された内容は予告なく変更される場合があります。
-MAIL (アルファメール) 機能
<p>本機から -ALPHA5 対応の電話機(ファクス機)にアルファベット・数字・カタカナによる文字メッセージを最大 60 文字まで送受信することができます。PB 信号を発信できる携帯電話・PHS・公衆電話からはメッセージの受信のみすることができます。ただし -MAIL は回線の状況により正しく送受信できないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • -ALPHA5 に対応していないくても、携帯電話や公衆電話等トーン信号が出せる機種から本機や他の -ALPHA5 対応機種へメッセージを送ることができます。
-NEWS (アルファニュース) / えらんでメロディ機能
<p>インターネットなどを利用した各種の情報サービスや、本機にダウンロードするメロディなどを、簡単な操作で受信することができます。メニューの内容によってはファクスで取り出すこともできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メニューの内容によっては、途中で操作を中止した場合でも通話料が発生することがあります。 • メニューの内容は予告なく変更される場合があります。 • 料金表示機能は適用されません。 • ご利用には東京国分寺(042)までの DDI 通話料がかかります。
-FAX (アルファファクス) サービス
<p>インターネット網などを利用して、おトクな料金で海外へファクス送信できます。(このサービスは DDI エンジニアリング株式会社(DDIE)が提供するサービスです。)</p> <ul style="list-style-type: none"> • -FAX は DDI エンジニアリング株式会社(以下 DDIE)が提供するサービスです。 • -FAX のご利用については DDIE および DDI へのお申し込みが必要です。(登録料・基本料は無料) • -FAX の契約は添付の「-FAX サービス契約約款」によります。約款の内容は予告なく変更されることがあります。 • すでに DDI にご加入されているお客様は「-ALPHA5・-FAX サービスご利用申込書」と スタート(または「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」)によって -FAX 利用申し込みが登録されます。

○お願い

「-ALPHA5 機能」をご利用いただくには、DDI への -ALPHA5 機能ご利用申し込みが必要です。また、「-FAX サービス」をご利用いただくには、DDI および DDIE (DDIE エンジニアリング株式会社) への -FAX サービスご利用申し込みが必要です。(いずれも、登録料・基本料は無料です。)

以下のような場合には DDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。

- NTT を除く他の電話会社とご契約されている場合
- NTT や他の電話会社の料金割引サービスをご契約されている場合
- 既に DDI をご利用されている場合
- -5 表示が点灯した後、何らかの理由により消灯または点滅した場合
- 移転等により住所、電話番号に変更があった場合
- ダイヤルイン子番号に本機を設置した場合
- 本機を他機種と取り替えた場合
- 通話料金・サービス等に関するお問い合わせ

ご利用いただくための「スタート」(P.26 ページ) または「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」(P.54 ページ) を行った場合、NTT の発信者番号表示サービスによりお客様のご利用されている電話番号が DDI に通知されます。「通常非通知(回線ごと非通知)」で NTT と契約されているお客様の電話番号も「186」が付加され、DDI へ通知されますのでご了承ください。

移転などにより本機にすでに登録されている電話番号を変更する際に、「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」(P.54 ページ) を行っていただけない場合、-ALPHA5 機能が正しく動作しないことがあります。移転などに伴い電話番号の変更が生じる場合は、「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」を行った後、DDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

通話料金請求のため、DDI では必要に応じてお客様の電話番号・住所・氏名等について NTT より情報の提供を受けることがあります。

以下のようなときには -ALPHA5 機能をご利用することができません。

- 本機をホームテレホンや構内交換機に接続したとき (-ALPHA5 機能を解除してください。)
- 本機と並列に接続した電話機から電話をかけたとき
- ピンク電話・共同電話・着信専用電話

-NEWS 機能をご利用する際は、以下の点にご注意ください。

- ご利用には東京国分寺(042)までの DDI 通話料がかかります。
- メニュー内容によっては途中で操作を中断した場合でも通話料が発生することがあります。
- メニュー内容は予告なく変更される場合があります。
- 料金表示機能は適用されません。

ご利用料金の請求および支払いについて

- 窓口振込み(コンビニなどを含む)か、口座振替にてお支払い頂けます。口座振替はお手続きが必要となりますので、DDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。
- -FAX サービスのご利用料金の請求は、DDI が DDI エンジニアリングより債権譲渡を受け、請求させていただきます。
- 利用料金は利用した電話会社よりそれぞれ請求されます。なお、料金に対する異議が生じた場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

DDI : お問い合わせ先

DDI カスタマサービスセンター



0077-772 (無料)

受付時間 9:00 ~ 21:00
(土・日・祝も受付中)

自宅の電話番号と郵便番号を登録する

移転などで本機にすでに登録されている電話番号を変更するとき、スタート(☎ 26 ページ)を行っても正しく動作しなかったとき(-5 表示が消灯、または点滅しているとき)は、電話番号を登録する必要があります。また、電話番号登録後に郵便番号を登録すると、その地域内の「公共施設」の電話番号を自動的に登録することができます。登録後は DDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。

- 1**

機能 (0) (1) を押す。
-ALPHA5 機能を設定するディスプレイが表示されます。
- 2**

← / → で「アルファ セッテイ」を選び、セット を押す。
- 3**

← / → で「ON」を選び、セット を押す。
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
TEL:052123XXXX ↔ ハコウ:1.スル 2.ジイ
- 4**

(1) を押し、(0) ~ (9) で電話番号を入力し、セット を押す。
郵便番号を入力するディスプレイが表示されます。
コウビ:467XXXX ↔ ハコウ:1.スル 2.ジイ
- 5**

(1) を押し、(0) ~ (9) で郵便番号を入力する。
☎ 郵便番号を入力しないときは (2) を押し、手順 7 へ。
- 6**

セット を押す。
オナライ通信 と表示されます。表示が消えるまで、本機の操作はできません。
- 7**

停止 (⊙) を押す。
- 8**

DDI カスタマサービスセンターへ連絡してください。
0077-772 (無料)



○お願い

- 1: 「自宅の電話番号と郵便番号を登録する」を行った場合、NTT の発信者番号表示サービスによりお客様のご利用されている電話番号が DDI に通知されます。「通常非通知(回線ごと非通知)」で NTT と契約されているお客様の電話番号も「186」が付加され、DDI へ通知されますのでご了承ください。
- 2: 電話番号を登録後、DDI から確認の連絡が入ることがあります。
携帯電話、PHS の電話番号は登録しないでください。
電話番号は必ず本機が接続されている電話回線の電話番号を入れてください。
-5 表示が点灯しないときは、DDI カスタマサービスセンターへご連絡ください。

MEMO

オンライン通信について

オンライン通信とは、お客様がご利用いただくための料金・地域データなどが、DDI から電話回線を通じて本機に送られてくることをいいます。(通信料無料)

オンライン通信の電話がかかってきたとき、本機で電話を受けると"ピポパ"音の後に、「こちらは DDI です。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました。」と聞こえます。

留守番電話に設定されていなくても、呼出音が約 100 秒鳴り自動的につながり、オンライン通信が行われます。

オンライン通信中は電話をかけることはできません。電話を切ってしばらくお待ちください。

同じ回線につないでいる他の電話機(並列接続など)でオンライン通信の電話を受けたときは"ピポパ..."音を繰り返し電話が切れます。DDI カスタマーサービスセンターへご連絡ください。

西暦、日付、時刻を合わせていなくてもオンライン通信が終了すると、DDI 標準時刻に書き換えられます。

料金改定などに際し、必要に応じて DDI より自動的にオンライン通信を行う場合があります。

郵便番号について

郵便番号をご登録いただく場合は必ず 7 桁にて入力してください。

大口事業所等個別郵便番号は入力できません。

郵便番号がご不明などで入力されない場合、「公共施設」の電話番号は自動登録されません。ただし、お申込書をご提出いただいている場合は、お客様のお申込み住所の郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号を本機に登録いたします。

郵便番号を登録されない場合も、その他の機能(DDI 市外電話自動選択機能など)はご利用いただけます。

郵便番号を変更すると、以前に登録された -DIAL の「公共施設」の電話番号が新しいものに入れ替わります。

自分の住んでいる地域以外の郵便番号を入れると、その郵便番号の地域の「公共施設」の電話番号が電話帳に登録されます。他の地域の「公共施設」の電話番号を調べるときにご活用ください。

-ALPHA5 機能の利用を中止するには

-ALPHA5 の利用を一時的に止めたり、途中で利用しなくなったとき、または本機をホームテレホンや構内交換機に接続し直したときは、以下の操作を行い DDI カスタマーサービスセンターにご連絡ください。

1

   を押す。

-ALPHA5 機能を設定するディスプレイが表示されます。

2

 /  で「アルファ セティ」を選び、 を押す。

3

 /  で「OFF」を選び、 を押す。

 が表示されます。

4

 を押す。
設定を終了します。

5

DDI カスタマーサービスセンターへ連絡してください。

オプションサービスを利用するには

-DIAL (アルファダイヤル) 機能を利用するには

Talkin' ダイヤルを利用する

- 1 受話器をとる。(またはスピーカホン⁵を押す。)
- 2  を押す。
- 3  /  で「トークダイヤル」を選び、 を押す。項目が表示されます。
- 4  /  で利用したい項目を選ぶ。
- 5 スタート  を押す。

自動登録された公共施設に電話をかける

- 1 受話器をとる。(またはスピーカホン⁵を押す。)
- 2  を押す。
- 3  /  で「コキョウセツ」を選び、 を押す。
- 4  /  で電話をかけたい相手先を選ぶ。
- 5 スタート  を押す。
- 6 相手が電話に出たら通話をする。
- 7 通話が終わったら受話器を戻す。(またはスピーカホン⁵を押す。)

-MAIL (アルファメール) 機能を利用するには

本機からメッセージを送信する

- 1  を押す。
- 2  /  で「アルファメール」を選び、 を押す。
- 3  /  で「メッセージフォル」を選び、 を押す。メッセージを入力するディスプレイが表示されます。
- 4 メッセージを入力し  を押す。相手先の BOX を選択するディスプレイが表示されます。(BOX については下記を参照してください。)
 文字コード表・定型文一覧を参照してください。
- 5  ~ 、 で相手先の BOX 番号を押し、 を押す。
- 6 相手先の電話番号をダイヤルする。
- 7 スタート  を押す。送信を中止したいときは  を押してください。

MEMO

BOX について

BOX (ボックス) とは、文字メッセージを受信して記憶するためのボックスのことです。本機は共通の BOX1 個と個人用の BOX9 個の合計 10 個 BOX を持っています。受信したメッセージを他人に見られたくないときは BOX 番号を選択し、パスワード (P.59 ページ) を設定してください。受信したメッセージを誰でも見ることができるようにするときは共通 BOX にメッセージを送ってもらいます。

本機へメッセージを送信する

1

相手先の電話番号をダイヤルする。

2

相手が出たら 4 秒以内に (X_{BOX}) (#_{BOX}) (X_{BOX})、相手の BOX 番号を押す。

ダイヤル回線のときは、最初に (X_{BOX}) を押し、トーン信号に切り換えます。トーン信号に切り換える操作 (X_{BOX}) は機種によって変わることがあります。

共通 BOX に送信するときは、BOX 番号の代わりに (0^o) を押ししてください。

3

「ピポッ」音が聞こえたら 10 秒以内にメッセージを入力する。

1 桁入力してから 10 秒以内に次の 1 桁を入力しないと電話が切れます。

入力を間違えたとき (X_{BOX}) を 2 回押し、「ピポッ」音が聞こえたら、最初から入力し直してください。

4

メッセージを入力し終わったら (#_{BOX}) を 2 回押す。

5

「ポピッ」音が聞こえたら電話を切る。
メッセージ送信が完了しました。

文字コード表

次表の文字の番号をダイヤルボタンで入力してください。

例) ユ (8^o) (3^o) を押す。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ア/ア 11	イ/イ 12	ウ/ウ 13	エ/エ 14	オ/オ 15	A/a 16	B/b 17	C/c 18	D/d 19	E/e 10
2	カ 21	キ 22	ク 23	ケ 24	コ 25	F/f 26	G/g 27	H/h 28	I/i 29	J/j 20
3	サ 31	シ 32	ス 33	セ 34	ソ 35	K/k 36	L/l 37	M/m 38	N/n 39	O/o 30
4	タ 41	チ 42	ツ/ッ 43	テ 44	ト 45	P/p 46	Q/q 47	R/r 48	S/s 49	T/t 40
5	ナ 51	ニ 52	ヌ 53	ネ 54	ノ 55	U/u 56	V/v 57	W/w 58	X/x 59	Y/y 50
6	ハ 61	ヒ 62	フ 63	ヘ 64	ホ 65	Z/z 66	? 67	! 68	- 69	/ 60
7	マ 71	ミ 72	ム 73	メ 74	モ 75	¥ 76	& 77	/	/	/
8	ヤ/ヤ 81	(82	ユ/ユ 83) 84	ヨ/ヨ 85	* 86	# 87	スペース 88	/	/
9	ラ 91	リ 92	ル 93	レ 94	ロ 95	1 96	2 97	3 98	4 99	5 90
0	ワ 01	ヲ 02	ン 03	” 04	。 05	6 06	7 07	8 08	9 09	0 00

定型文一覧

	番号	メッセージ
基本定型文	#01	TEL シタダ サイ
	#02	FAX シタダ サイ
	#03	ケタ仁 TEL シタダ サイ
	#04	サキニキマス
	#05	サキニツタダ サイ
	#06	スガニキマス
	#07	オレマス
	#08	アリガトウ!
	#09	チュウニナリマシタ
	#10	リョウカイマシタ

文字コード表、定型文一覧は本機からプリント出力できます。外出時にご使用ください。
106 ページ

小文字を入力するときは、(8^o) (0^o) を押し、文字の番号を入力します。

MEMO

メッセージが送信できなかったときの自動再送信は行いません。

オプションサービスを利用するには

文字コード表 / 定型文一覧をプリントする

-MAIL 用の「文字コード表」と「定型文一覧」は、本機の「機能案内リスト」に記載されています。外出するときなど、プリントしてご利用ください。☎ 106 ページ

メッセージを受信する

メッセージが送られてくると着信ベルが鳴りますが、自動的にメッセージを受信します。このとき電話に出ると「ピポパポ」音（メッセージを送る合図）が聞こえますので、受話器を戻してください。

メッセージを受信すると、未読メッセージが入っている BOX の番号が表示されます。（例：）

MEMO

子機で電話に出たときに、親機を受話器を他の人がとったときは、受話器を戻すように伝えてください。着信ベル、呼出ベルの回数を 0 回に設定しているときはメッセージの受信はできませんのでご注意ください。

 を使って電話をとったときはメッセージの受信はできませんのでご注意ください。

メッセージを見る

-  を押す。
-  /  で「アルファメール」を選び、 を押す。
-  /  で「メッセージ ヲミル」を選び、 を押す。
- BOX 番号を入力し、 を押す。
個別 BOX を見るときは  ~  を押します。
☎ 共通 BOX を見るときは  を押し、手順 6 へ。
- パスワード 4 桁を入力し、 を押す。
☎ パスワードの設定：59 ページ
パスワードを設定していないときは手順 6 へ。
 が表示されます。
-  を押す。
メッセージの受信日時が表示されます。
例)
「*」は未読マークです。
-  /  で見たいメッセージを選び、 を押す。
メッセージがディスプレイに表示しきれないときは、右端に「」が表示されます。このときは  でメッセージを送り、続きを読むことができます。
- 見終わったら  を押す。
 が表示されます。
- 、 で消去「スク」または「ソイ」を選ぶ。
-  を押す。

MEMO

受信したメッセージが 10 件を超えると、新しいメッセージが受信できなくなります。不要になったメッセージは消去してください。

メッセージをプリントする

メッセージをプリントするには、「メッセージを見る」の手順 6 で、 の代わりに  を押します。プリントすると BOX 内のメッセージはすべて消去されます。

パスワードを設定する

機密を守るためにパスワードを設定することができます。パスワードを設定した BOX のメッセージは、パスワードを入力しないと見ることができません。

1 [Alpha5] を押す。	2 [←] / [→] で「アルファメール」を選び、[セット] を押す。	3 [←] / [→] で「パスワード セッテ」を選び、[セット] を押す。	
4 BOX 番号(1 ~ 9)を入力し、[セット] を押す。	5 パスワード(4桁)を入力し、[セット] を押す。 「#」や「*」は入力できません。 「0000」は入力できません。	6 (確認のため)もう一度パスワードを入力し、[セット] を押す。	7 [停止] を押す。

パスワードを変更する

パスワードは次の手順で変更することができます。

1 [Alpha5] を押す。	2 [←] / [→] で「アルファメール」を選び、[セット] を押す。	3 [←] / [→] で「パスワード セッテ」を選び、[セット] を押す。	4 BOX 番号(1 ~ 9)を入力し、[セット] を押す。
5 現在使っているパスワード(4桁)を入力し、[セット] を押す。	6 新しいパスワード(4桁)を入力し、[セット] を押す。 「#」や「*」は入力できません。 「0000」は入力できません。	7 (確認のため)もう一度、新しいパスワード(4桁)を入力し、[セット] を押す。	8 [停止] を押す。

パスワードを初期化する

パスワードを忘れたときに記憶されている内容をすべて消去できます。すべての BOX のパスワードやメッセージも同時に消去されますので、他の BOX のメッセージをすべて確認してから消去してください。

1 [機能] [0] [1] を押す。 -ALPHA5 機能を設定するディスプレイが表示されます。	2 [←] / [→] で「アルファメール ショック」を選び、[セット] を押す。 [アルファメールショック] [→] [1. 2. シナイ] が表示されます。	3 [1] を押す。 パスワードとメッセージが消去されます。	4 [停止] を押す。
--	---	---	-----------------------

オプションサービスを利用するには

-NEWS (アルファニュース) 機能を利用するには

- 1  を押す。
- 2  /  で「アルファニュース」を選び、 を押す。
- 3  /  で見たい項目を探し、 ~  で選び、 を押す。
ここから通話料がかかります。
- 4 ディスプレイの表示に従い操作する。
操作を途中で中止したいときは  を押してください。

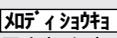
メロディ (えらんでメロディ) を登録するには (親機)

本機は、-NEWS (アルファニュース) メニューからメロディを読み込み (ダウンロードし)、着信ベル音や保留音として 15 曲まで登録することができます。[メロディ機能]
登録は 1 曲ずつ行います。

- 1  を押す。
- 2  /  で「アルファニュース」を選び、 を押す。
ニュースメニューがダウンロードされます。
- 3  /  で「エラんでメロディ」を探し、 ~  で選び、 を押す。
曲名がダウンロードされます。
- 4  /  でダウンロードしたいメロディを確認し、メロディ番号、 を押す。
メロディがダウンロードされると、自動的に再生され、ディスプレイに曲名が表示されます。(再生中のメロディの音量は変更できません。また、曲名は 16 文字まで表示されます。曲名がないときはダウンロード日が表示されます。)
メロディの再生を中止するときは、 を押します。
- 5  /  で「1. トゥウ スル」を確認し、  を押す。
 ダウンロードしたメロディを登録しないときは、 (「2. トゥウ ヲイ」)  を押し手順 4 へ。
「ドエ トゥウ スル?」と表示されたときは手順 6 へ。
- 6  /  で、すでに登録されているメロディの中から上書きするメロディを選び、メロディ番号、 を押す。
ダウンロードしたメロディが既存のメロディに上書きされます。
- 7 ディスプレイの表示に従い、登録を終了する。

メロディをすべて消去するには (親機)

メロディをすべて消去したいときは、次の手順で消去することができます。

- 1    を押す。
-ALPHA5 機能を設定するディスプレイが表示されます。
- 2  /  で「メロディ消去」を選び、 を押す。
   が表示されます。
- 3  を押す。
メロディが消去されます。
- 4   を押す。

MEMO

メロディは着信ベル音と保留音に設定することができます。着信ベル音にダウンロードしたメロディを設定した場合でも、呼出ベルに切り換わると通常の呼出ベル音に戻ります。

「トコトウメロディ?」と表示されたときは、本機に空きメモリーがないことを示しています。このとき新しいメロディを登録するには、すでに登録されているメロディに上書きする必要があります。

着信ベル音として設定されているメロディが上書き（更新）されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書き（更新）されたメロディが設定されます。

登録したメロディはメモリーに保存され、メモリー使用状況リストにプリントされます。

未入力状態が約60秒以上続いたときは、自動的に設定を終了します。このときはダウンロードしたメロディは保存されません。すでに登録されているメロディの曲名は、12文字まで表示されます。12文字を越えた文字は表示されません。

通信状況などにより、ダウンロード開始からメロディ取り込みまでの間に時間がかかるときは、自動的に設定が終了することがあります。

メロディを登録するには（子機）

親機に登録したメロディを、2曲まで、子機の着信ベル音（「メロディA」または「メロディB」）として登録することができます。登録は1曲ずつ行います。

- 1  を押す。
- 2  で「メロディヨミミ」を選び、 を押す。
ディスプレイに  が表示され、親機に登録されているメロディ1が再生されます。
- 3  で登録したいメロディを選び、 を押す。
メロディの再生を中止し、読み込み先を選択するディスプレイが表示されます。
- 4  でメロディの読み込み先（「メロディA」または「メロディB」）を選び、 を押す。
メロディデータの読み込みを開始し、ディスプレイに  が表示されます。メロディデータの読み込みが終了すると確定音が鳴り、読み込んだメロディが再生されます。
- 5  を押す。
設定を終了します。

MEMO

着信ベル音として設定されているメロディが上書き（更新）されたときは、設定されていたメロディの代わりに上書き（更新）されたメロディが設定されます。

メロディを消去するには（子機）

子機の着信ベル音（「メロディA」または「メロディB」）として登録したメロディは次の手順で消去することができます。消去は1曲ずつ行います。

- 1  を押す。
メニューが表示されます。
- 2  で「チャクソウ センタ」を選び、 を押す。
着信ベル音を選択するディスプレイが表示されます。
- 3  で消去したいメロディ（「メロディA」または「メロディB」）を選び、 を押す。
 が表示されます。
- 4  を押す。
メロディが消去されます。

MEMO

着信ベル音として設定されているメロディが消去されたときは、消去されたメロディの代わりに着信ベル音「フウ」が設定されます。

親機から読み込んだメロディ（「メロディA」または「メロディB」）以外の着信ベル音は消去できません。

消去されたメロディなど、子機に登録されていないメロディは着信ベル音の選択メニューに表示されません。

オプションサービスを利用するには

-FAX (アルファファクス) サービスを利用するには

ご利用になる前に

- 本サービスは下図のように、FAX サーバーを経由して相手先にファクス送信をします。



1. 本機と FAX サーバーまでの の間において何らかの理由でファクス送信ができなかったときは、エラー音が鳴ります。このときは、もう一度送信してください。
2. FAX サーバーと相手先ファクスまでの の間において何らかの理由でファクス送信できなかったときは、FAX サーバー側で間隔を置き 4 回自動的にかけなおします。また、この結果ファクス通信できなかったときは、不達レポートが本機に送信されます。詳しくは DDI カスタマサービスセンターへお問い合わせください。
3. 上記 1. 2. の結果、ファクス送信できなかったときの通話料金は発生しません。

○お願い

-FAX は DDI 側の申込書処理後、約 24 時間後にご利用開始となります。
以下のときは必ず DDI カスタマサービスセンターにご連絡ください。

- 本機を譲渡・貸与・処分するとき
- 本機を移転などにより取り外すとき
- 本機を紛失、または盗難にあったとき

(DDI に登録されたのデータを消去、または変更する必要があります。ご連絡のない場合、本機を他の回線に接続し利用された料金が、ご登録されているお客様に請求されることがあります。)

-FAX のご利用料金は、DDI が DDIE より債権を譲り受け、DDI にご登録いただいたお客様にご請求いたします。

-FAX のご利用料金は、DDI 市外電話サービスのご利用料金と合算して請求いたしますが、お支払方法などによっては合算請求にならない場合もあります。(ご利用料金請求書と DDI 市外通話明細書が別送となる場合があります。)

-FAX の料金に関しては、添付されている「-FAX サービス約款」の料金表をご覧ください。

毎月の料金計算の締め切り日は、当 -FAX と DDI 市外電話サービスとで異なる場合があります。

料金、ご利用可能地域は変更される場合があります。詳しくは DDI カスタマサービスセンターへお問い合わせ頂くか、

-NEWS の「DDI トピックス」内の料金表をご覧ください。

料金表示機能は適用されません。

通話明細書は発行されません。

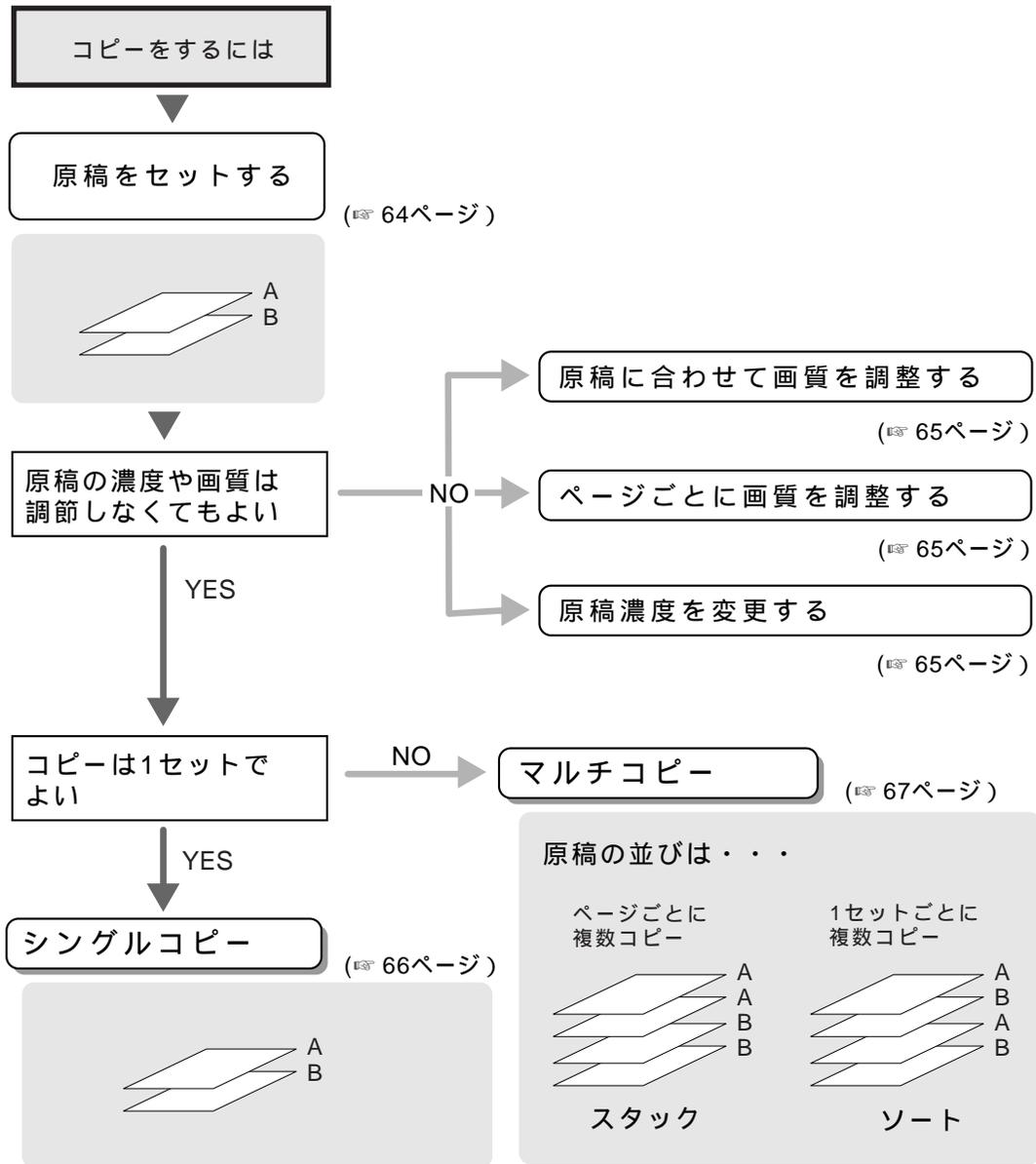
料金に対する異議が生じた場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

-FAX を使って海外へファクスを送る

- 1 原稿をセットする。
- 2  を押す。
- 3  /  で「アルファファクス」を選び、 を押す。
- 4 相手先の国番号・電話番号をダイヤルする。
国番号と電話番号は合わせて 16 桁まで入力できます。
- 5  を押す。

こんなコピーができます

本機では、次のような流れで「シングルコピー」、「マルチコピー」をすることができます。



コピーをする前に

原稿をセットする

コピーするときは、次の手順で原稿をセットします。原稿のサイズや読み取り範囲については120ページを参照してください。

1

原稿をセットする。

原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

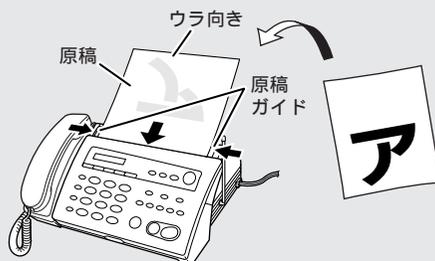
ダイヤルシテタガイ ⇄ コピーおテタガイ

原稿の先端をそろえ、原稿ガイドにそって裏向きにセットします。

原稿が静電気でくっついていないか確認します。

一度に10枚までセットできます。

原稿をきれいにそろえ、原稿の先が軽くあたるまで差し込みます。



セットした原稿を取り出すには

- コピー開始前：そのまま原稿を上方向に取り除いてください。
- コピー中：^{停止}⊙を押すと、コピーが中断されます。送られていない原稿を上方向に取り除いてください。
ダイヤルシテタガイ ^{停止}⊙が表示されたら、もう一度^{停止}⊙を押してください。原稿が排出されます。

○お願い

原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。

キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り換えください。

インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取りはずしてください。

異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。

原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

原稿に合わせて画質を調整する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質を設定します。画質 を押すごとに、“標準”、“ファイン”、“スーパーファイン (S. ファイン)”、“写真”の4つのモードに切り換わります。

原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていないと、機能案内リストがプリントされます。

1
画質 でモードを選ぶ。

ヒョウクモード	: 大きくはっきり見える文字のとき。
ファインモード	: 小さな文字のとき。
S.ファインモード	: 新聞のような細かい文字のとき。
シャシモード	: 写真やカラー原稿のとき。

画質 を押すごとにモードが切り換わります。

ページごとに画質を調整する

1ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときに、ページごとに画質モードを設定してコピーすることができます。

原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていないと「ゲンコク アリセ」 と表示され、画質を調整することができません。

1
機能 3 を押す。
1 ページ目の画質を設定するディスプレイが表示されます。

2
← / → で1ページ目の画質を選び、セット を押す。

2 ページ目の画質を選ぶディスプレイが表示されます。同様の手順で最終ページまで画質を設定します。
最後の原稿のときは手順3へ。

3
← / → で最終ページの画質を選び、停止 セット を押す。
「お/セッテイ?」 ← 「1.スル 2.シタイ」 が表示されます。

4
2 を押す。
設定を終了します。

原稿濃度を変更する

← / → で一時的に濃度を変えてコピーすることができます。コピー終了後は元の設定に戻ります。

原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていない状態で ← / → を押すと、着信ベル音量の設定になり、濃度変更の設定ができません。

1
← / → で濃度を選ぶ。

ウスク コク	: 原稿の濃度が濃いとき。
ウスク コク	: 原稿の濃度が普通するとき。
ウスク コク	: 原稿の濃度が薄いとき。

コピーをするには

1 部だけコピーをする（シングルコピー）

一度に 10 枚までの原稿をコピーすることができます（シングルコピー）。
コピーするときは受話器を置いたままで操作してください。

- 1 原稿をセットする。 ☎ 64 ページ
☎ 必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
: 65 ページ
- 2 コピー
⓪ を押す。
コピーできる状態になります。
- 3 コピー
⓪ を押す。
コピーを始めます。
コピー
⓪ を押さずにそのまま 5 秒間経過すると、自動
的にシングルコピーを開始します。



コピーを中止するには

停止
⓪ を押します。コピーが中断されたら、送られていない原稿を上方向に取り除いてください。
「**フイリョオチカガサイ**」が表示されたら、もう一度 停止
⓪ を押してください。原稿が排出されます。

MEMO

コピー中でも親機で電話を受けることができます。（親機・子機から電話をかけることはできません。）
コピー中は送信および受信に関わる動作はできません。また、通信中はコピーできません。

！注意

法律によりコピーが禁じられているものがあります。以下のようなものをコピーするときはご注意ください。

法律で禁じられているもの（絶対にコピーしないでください。）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手や官製ハガキ
- 政府発行の印紙および酒税法や物品法で規定されている証券類

著作権のあるもの

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。

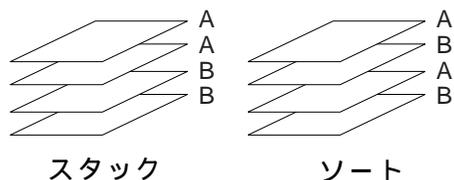
その他注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

複数部のコピーをする（マルチコピー）

同じ原稿を複数部コピーすることができます（マルチコピー）。マルチコピーには「スタック」と「ソート」の2通りのコピーのしかたがあります。

- スタック : ページごとに必要部数をコピーする。
- ソート : ページの順番に1部ずつコピーする。



1

原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。

2

コピー
⓪ を押す。

3

⓪⁰ ~ ⓪⁹⁹ でコピー部数を入力し、コピー
⓪ を押す。

コピー部数は 99 部まで設定できます。

部数を入力せずにそのまま 5 秒間経過すると、自動的にシングルコピーを開始します。

4

← / → でコピーのしかた（「スタック」または「ソート」）を選び、コピー
⓪ を押す。

コピーを始めます。

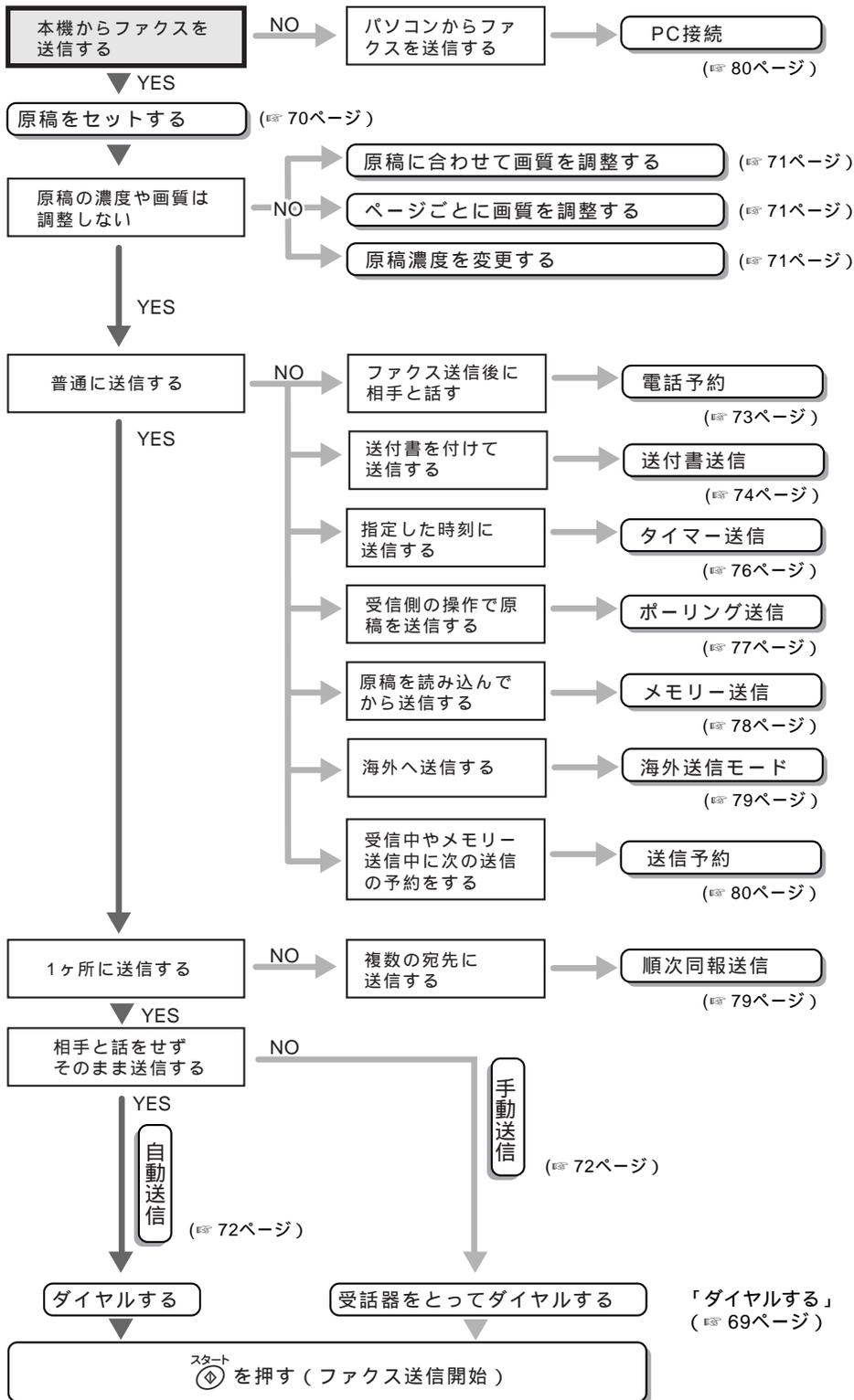
MEMO

1 枚の原稿でメモリーがいっぱいになると、マルチコピーはできません。シングルコピーを繰り返してください。

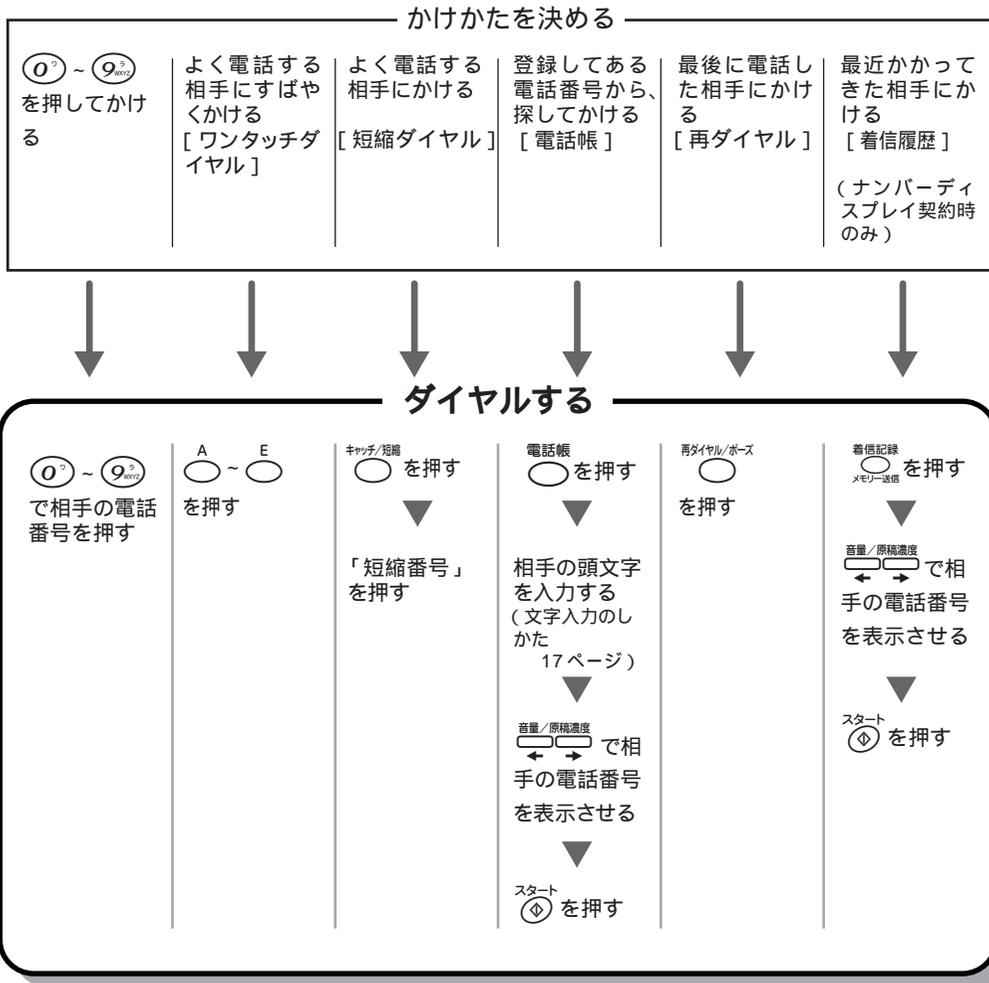
原稿を読み込んでいる途中でメモリーがいっぱいになったら、コピー
⓪ を一回押してください。読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。

こんな送信ができます

本機では、次のような流れで必要に応じたファクス送信をすることができます。



ファクスを送るときも、電話をするときと同じようにいくつかの方法でダイヤルすることができます。



ファクスを送信する前に

原稿をセットする

ファクスを送信するときは、次の手順で原稿をセットします。原稿のサイズや読み取り範囲については120ページを参照してください。

1

原稿をセットする。

原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

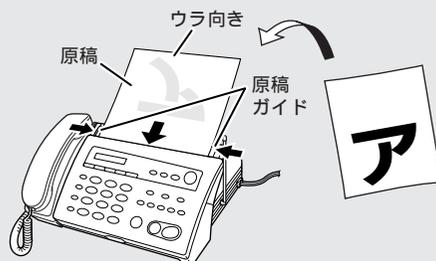
ダイヤルシフトガイド ⇄ **レポートシフトガイド**

原稿の先端をそろえ、原稿ガイド裏向きにセットします。

原稿が静電気でくっついていないか確認します。

一度に10枚までセットできます。

原稿をきれいにそろえ、原稿の先が軽くあたるまで差し込みます。



セットした原稿を取り出すには

- 送信開始前: そのまま原稿を上方向に取り除いてください。
- 送信中 : ^{停止}⏹ を押すと、ファクス送信が中断されます。送られていない原稿を上方向に取り除いてください。 **ダイヤルシフトガイド** が表示されたら、もう一度 ^{停止}⏹ を押してください。原稿が排出されます。

○お願い

原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。

キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り換えください。

インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取りはずしてください。

異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。

原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。

原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

ファクスを送信するときは、記録紙がセットされていることを確認してください。原稿が正常に送信できなかったとき、自動的に送信レポートがプリントされます。

原稿に合わせて画質を調整する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質を設定します。画質 を押すごとに、“標準”、“ファイン”、“スーパーファイン (S. ファイン)”、“写真”の4つのモードに切り換わります。

1 原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていないと、機能案内リストがプリントされます。

1 画質 でモードを選ぶ。

ヒョウシ ユニモード	: 大きくはっきり見える文字のとき。
ファインモード	: 小さな文字のとき。
S.ファインモード	: 新聞のような細かい文字のとき。
写真モード	: 写真やカラー原稿のとき。

画質 を押すごとにモードが切り換わります。

ページごとに画質を調整する

1 ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときに、ページごとに画質モードを設定してファクスを送信することができます。

1 原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていないと「**ゲンコガ アリマセ**」と表示され、画質を調整することができません。

1 機能 3 を押す。

1 ページ目の画質を設定するディスプレイが表示されます。

2 画質 を押す。

2 ページ目の画質を選ぶディスプレイが表示されます。同様の手順で最終ページまで画質を設定します。
最後の原稿のときは手順3へ。

3 画質 を押す。

1. ス 2. ヨイ が表示されます。

2 を押す。

設定を終了します。
他の送信設定をするときは、1 を押し、設定を続けます。

原稿濃度を変更する

画質 を押すごとに一時的に濃度を変えてファクスすることができます。ファクス送信後は元の設定に戻ります。

1 原稿をセットした状態で設定します。

原稿がセットされていない状態で画質 を押すと、着信ベル音量の設定になり、濃度変更の設定ができません。

1 画質 で濃度を選ぶ。

ウツク ヨク	: 原稿の濃度が濃いとき。
ウツク ヨク	: 原稿の濃度が普通るとき。
ウツク ヨク	: 原稿の濃度が薄いとき。

ファクスを送信するには

ファクスだけをすぐに送信する [自動送信]

- 1 原稿をセットする。 ☎ 70 ページ
☎ 必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。 :71 ページ
- 2 受話器をおいたまま、相手先の電話番号をダイヤルする。
☎ ダイヤルする : 69 ページ
- 3 スタート  を押す。
ファクス送信を開始します。
送信後は「ピー」という音がします。



自動送信を中止するには

停止  を押します。すでに原稿が繰り込まれているときは、もう一度  を押すと原稿が排出されます。

相手と話をしてから送信する [手動送信]

- | | | |
|--|--|---|
| 1 原稿をセットする。
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。 | 2 受話器をとる。
(または  を押す。) | 3 相手先の電話番号をダイヤルする。
☎ ダイヤルする : 69 ページ |
| 4 相手が出たらファクスを送ることを伝え、相手側のファクスの「スタートボタン」を押してもらおう。
相手のファクスが受信できる状態になると「ピー」という音が聞こえます。
手順 2 で  を押したときは、受話器をとります。
☎ 相手が電話に出ず「ピー」という音がしたときは、そのまま手順 5 へ。 | 5 スタート  を押す。
ファクス送信を開始します。 | 6 受話器を戻す。
送信後は「ピー」という音がします。 |

手動送信を中止するには

受話器を戻します (または  を押します)。すでに  を押したときは、 を押します。もう一度  を押すと原稿が排出されます。

送信できなかったときは

- [自動送信]でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に 8 回まで「再ダイヤル」を行います。それでも送信できなかったときは、送信レポートがプリントされます。
- [手動送信]でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは  を押します。

ECM 通信について

ECM (Error Correction Mode の略称) とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。

- 送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
- ECM 通信中に雑音などで影響を受けたときは、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
- ECM 通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。

その他の送信をする

ファクス送信後に相手と話をする [電話予約]

[電話予約] を設定すると、ファクス送信後に自動的に相手先の呼出音を鳴らします。相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴り、受話器を取って通話することができます。

また、相手が電話に出なかったときに「オデンワ クダサイ」という伝言メッセージを送信することができます。([伝言メッセージ機能])

設定は、1 回のみ有効です。(送信後は [電話予約] の設定は解除されます。)

注意

「伝言メッセージ」を設定するときは、事前に発信元データを登録してください。(発信元データを登録していないときは、「伝言メッセージ」を設定することができません。☞ 発信元記録：13 ページ)

1

原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。

2

機能   を押す。
電話予約を設定するディスプレイが表示されず。

3

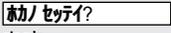
 /  で「ON」を選び、 を押す。

デノヨク:OFF	: 電話予約を設定しないとき。
デノヨク:ON	: 電話予約を設定するとき。
プリントサブル	: 伝言メッセージのサンプルをプリントするとき。

4

 /  で伝言メッセージの「ON」/「OFF」を選び、 を押す。

デノヨクメッセージ:ON	: 伝言メッセージを付けるとき。
デノヨクメッセージ:OFF	: 伝言メッセージを付けないとき。

   が表示されます。

5

 を押す。
他の送信設定をするときは  を押して、設定を続けませう。

6

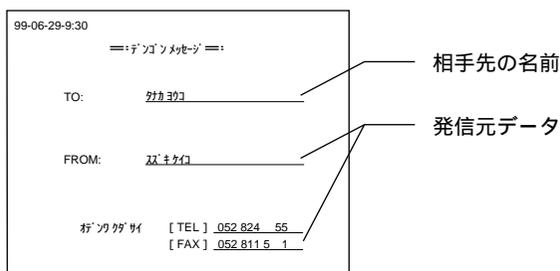
相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。

ファクス送信を開始します。
送信終了後、自動的に相手の呼出音を鳴らします。
相手が電話に出ると、自動的に本機の呼出音を鳴らします。

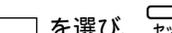
7

本機の呼出音が鳴ったら、受話器を取って通話する。

相手が電話に出られず、伝言メッセージを「ON」に設定しているときは、相手に「伝言メッセージ」を送信します。



伝言メッセージのサンプルをプリントするには

手順 3 で、 を選び、 を押します。

MEMO

相手のファクシミリに電話予約機能がないときは、[電話予約] はできません。

[タイマー送信]、[ポーリング送信]、[順次同報送信] のときは、[電話予約] はできません。

送付書を付けて送信する [送付書送信]

本機では、ファクスを送信するとき、自動的に「送付書」を作成し、送信することができます。「送付書」の書式には下記の内容が記載されます。

注意

[送付書送信] を設定するときは、事前に発信元データを登録してください。(発信元データを登録していないときは、[送付書送信] を設定することができません。☎ 発信元記録：13 ページ)

送付書のコメントを登録する [送付書コメント]

送付書に記載するコメントとして、2種類のオリジナルコメントを登録することができます。

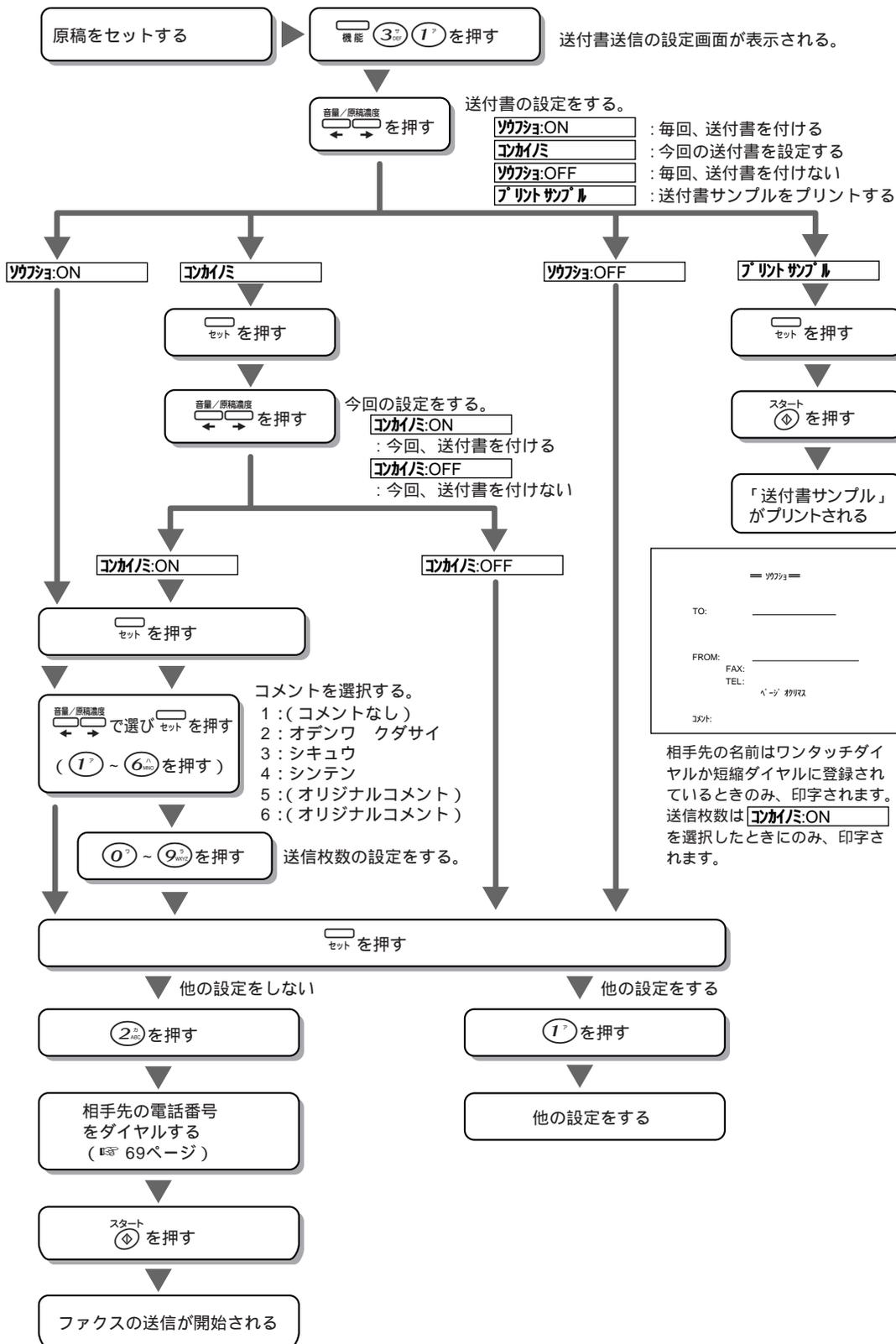
- 機能 (3) (2) を押す。
送付書コメントを設定するディスプレイが表示されます。
- ← / → でオリジナルコメントの登録先(「5.」または「6.」)を選び、 を押す。
- オリジナルコメントを入力し、 を押す。
コメントは 27 文字まで入力できます。
 ← が表示されます。
- (2) を押す。
設定を終了します。
他の送信設定をするときは、(1) を押して、設定を続けます。

送付書を付けて送信する [送付書送信]

[送付書送信] は次の手順で設定します。

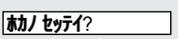
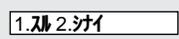
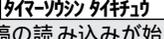
- 原稿をセットする。
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
- 機能 (3) (1) を押す。
送付書送信を設定するディスプレイが表示されます。
- ← / → で送付書の設定を選び、 を押す。
☎ : 毎回、送付書を付けるときは手順 5 へ。
 : 今回の送付書を設定するときは手順 4 へ。
 : 毎回、送付書を付けないときは手順 7 へ。
 : 送付書サンプルをプリントするときは を押します。
- ← / → で今回の設定を選び、 を押す。
☎ : 今回だけ送付書を付けるときは手順 5 へ。
 : 今回だけ送付書を付けないときは手順 7 へ。
- ← / → でコメントを選び、 を押す。(または (1) ~ (6) を押す。)
1. コメント
2. お/ツク/サイ
3. ショウ
4. シテン
5. (お/ツク/コメント)
6. (お/ツク/コメント)
☎ のときは手順 6 へ。
 のときは手順 7 へ。
- (0) ~ (9) で送信枚数を押し、 を押す。
枚数は 2 桁で指定します。
 ← が表示されます。
- 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。
ファクスの送信が開始されます。

参考



指定した時刻に送信する [タイマー送信]

[タイマー送信] を設定すると、指定した時刻に自動的に原稿を送信することができます。(時刻指定は 24 時間以内です。) 設定は 1 回のみ有効です。送信後は [タイマー送信] の設定は解除されます。

<p>1</p> <p>原稿をセットする。</p> <p>必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。</p> <p>[メモリー送信] をするときには  を押します。</p>	<p>2</p> <p>   を押す。</p> <p>タイマー送信を設定するディスプレイが表示されます。</p> <p>このときディスプレイには現在の時刻が表示されています。</p>	<p>3</p> <p> ~  で送信時刻を入力し、 を押す。</p> <p>送信時刻は 24 時間制で入力します。</p> <p> ⇄  が表示されます。</p>
<p>4</p> <p> を押す。</p> <p>他の送信設定をするときは  を押して、設定を続けます。</p>	<p>5</p> <p>相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。</p> <p>タイマー送信待機中になります。</p> <p>[メモリー送信] のときは原稿の読み込みが始まり、原稿の読み込みを終了するとタイマー送信待機中になります。</p> <p>送信時刻になると自動的に送信します。</p> <p>相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に 8 回まで「再ダイヤル」を行います。</p>	<p>6</p> <p>送信終了後、「タイマー通 信レポート」がプリントされる。</p>

○お願い

ディスプレイに  と表示されているときは、セットしてある原稿を取らないでください。(タイマー送信がセットされています。)

原稿を取り除くと、1 分後にタイマー送信予約が無効になります。

タイマー送信待機中に電話をかけるには

そのまま電話できます。セットしてある原稿を取らずに電話をかけてください。

タイマー送信待機中に別の原稿を送信するには

「送信の解除と割込をするには」(81 ページ) を参照してください。

タイマー送信待機中に電話がかかってきたり、ファクスを受信したときは

そのまま電話にでてください。自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

タイマー送信予約を解除するには

「送信の解除と割込をするには」(81 ページ) を参照してください。

タイマー送信レポートのプリント例

タイマー送信レポート		シリアル : 98-01-15-15:25
日時	01-15 15:24	
実行時メモ	タイマー	
送信時間	00:00:53	
ページ	01	
状態	OK	
モード	エコモード	
	ECM	

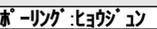
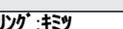
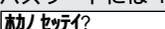
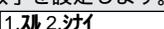
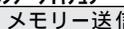
受信側の操作で送信する [ポーリング送信]

受信側のファクシミリの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を送信させることができます。(「ポーリング通信」といいます。) 本機が送信側のときの通信を「ポーリング送信」といいます。設定は、1 回のみ有効です。送信後は [ポーリング送信] の設定は解除されます。

ポーリング送信 / 機密ポーリング送信

ポーリング送信には、通常のポーリング送信と、パスワード (4 桁) を使用しないと原稿を受け取ることができない機密ポーリング送信があります。

ポーリング送信 / 機密ポーリング送信の設定をする

- 1 原稿をセットする。
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
[メモリー送信] をするときは  を押します。
- 2    を押す。
ポーリング送信を設定するディスプレイが表示されます。
- 3  /  でポーリングモードを選び、 を押す。
  : パスワードを使用しないときは手順 5 へ。
  : パスワードを使用するときは手順 4 へ。
- 4  ~  でパスワードを入力し、 を押す。
パスワードには 4 桁の数字を設定します。
   が表示されます。
- 5  を押す。
他の送信設定をするときは  を押して、設定を続けます。
- 6   を押す。
ポーリング送信待機中になります。
  [メモリー送信] のときは原稿の読み込みが始まり、原稿の読み込みを終了するとポーリング送信待機中になります。
- 7 送信終了後、「ポーリングレポート」がプリントされる。

! 注意

ディスプレイに   と表示されているときは、セットしてある原稿を取らないでください。(ポーリング送信がセットされています。)

原稿を取り除くと、受信側が「ポーリング通信」の操作を行ったときエラーになります。

受信側のファクシミリによっては (ポーリング機能がないときなど) この機能を利用できないことがあります。

MEMO

ポーリング送信とメモリー送信を同時に設定したときは、「メモリーポーリング送信」となり、本機に読み込んだ原稿を、相手側の操作によって随時送信します。この場合は、設定は 1 回の送信では解除されません。(複数の相手が、本機から原稿を取り出すことができます。)

「メモリーポーリング送信」を解除する場合は、「送信設定を解除する」( 81 ページ) を参照してください。

原稿を読み込んでから送信する [メモリー送信]

[メモリー送信]を設定すると、原稿をいったん本機のメモリーに読み込んでから自動的に送信することができます。

あまり見られたくない原稿や機密書類を送るとき、原稿を他の用途ですぐ使いたいときなどに適した送信方法です。(送信が終わるのをその場で待つ必要はありません。)

設定は、1回のみ有効です。送信後は[メモリー送信]の設定は解除されます。

1	2	3
<p>原稿をセットする。</p> <p>必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。</p>	<p>着信記録 メモリー送信</p> <p>を押す。</p> <p>使用可能なメモリー量が表示されます。</p> <p>メモリー 100%</p>	<p>相手先の電話番号をダイヤルし ^{スタート} を押す。</p> <p>原稿の読み込みが始まります。</p> <p>原稿の読み込みを終了すると ソケット P01 ファク と表示され、送信を開始します。</p> <p>相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に8回まで「再ダイヤル」を行います。</p>

メモリー送信を中止するには

次の手順で送信を中止します。(メモリー送信中のタイミングによって中止のしかたが違います。)

原稿読み込み中	原稿読み込み終了後～ダイヤル中	ダイヤル終了後～送信中
<p>停止</p> <p>を押す2回。</p> <p>原稿の読み込みが中止され、原稿が排出されます。</p> <p>メモリー送信は中止され、メモリー内容はクリアされます。</p>	<p>停止</p> <p>を押す。</p> <p>メモリー送信は中止され、メモリー内容はクリアされます。</p>	<p>停止</p> <p>を押す。</p> <p>メモリー送信は中断され、メモリー内容はクリアされます。</p>

メモリーゲージ と表示されたときは

送信用メモリーに空きがなくなったことを示しています。このときは次のように対処してください。

表示されたとき	対処
1ページ目を読み込み中に メモリーゲージ が表示されたとき	<p>停止</p> <p>を押してメモリー送信を中止し、[自動送信]もしくは[手動送信]で原稿を送信します。(このときは[メモリー送信]を行うことができません。)</p>
2ページ目以降を読み込み中に メモリーゲージ が表示されたとき	<p>2つの対処法があります。</p> <p>(1) ^{スタート} を押して読み込みが終了したページまでをいったん送信し、もう一度、続きの原稿をメモリー送信します。</p> <p>(2) ^{停止} を押してメモリー送信を中止し、[自動送信]もしくは[手動送信]で原稿を送信します。</p> <p>どちらの対処も行わず60秒経過したときは、読み込みが終了したページまでを自動的に送信します。</p>

原稿読み込み中に着信があったときは

設定した[着信ベル回数]を無視して、着信ベルが鳴り続けます。このときは、いったん ^{停止} を押して原稿の読み込みを中止して、電話を受けてください。(通話終了後、改めてメモリー送信をやり直してください。)

送信できなかったときは

送信できなかったときは、「送信レポート」がプリントされます。

同じ原稿を複数の宛先に送信する [順次同報送信]

[順次同報送信] を設定すると、指定した送信先 (最大 85 箇所) に、同じ原稿を指定した順で送信することができます。(ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳からの検索で送信先を指定し、順次、[メモリー送信] を行います。)
設定は、1 回のみ有効です。送信後は [順次同報送信] の設定は解除されます。

- 1 原稿をセットする。
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
- 2 着信記録
メモリー送信
メモリー送信のアイコンを押す。
使用可能なメモリー量が表示されます。
メモリー 100%
- 3 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳からの検索で、送信先を送信したい順に指定する。
送信先を間違えたときは を押し、送信先を最初から指定しなおしてください。
- 4 スタート
 を押す。
原稿の読み込みが始まります。
原稿の読み込みを終了すると送信を開始します。
- 5 送信終了後、「同報送信レポート」がプリントされる。
- 6 「同報送信レポート」を確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信する。

順次同報送信を中止するには

を押して、ディスプレイの表示に従ってください。(78 ページ「メモリー送信を中止するには」参照)

順次同報送信レポートのプリント例

同報送信レポート						
日時 : 98-01-15-15:25						
ページ 01						
ページ	時刻	発信先	ページ	ページ	状態	コメント
01-15	15:12	22 421	44	01	OK	ECM
01-15	15:13	22 421	30	01	OK	
01-15	15:15	22 421	54	00	15-	
01-15	15:17	22 421	43	01	OK	ECM
01-15	15:18	22 421	44	01	OK	ECM
01-15	15:20	22 421	43	01	OK	ECM
01-15	15:21	22 421	43	01	OK	ECM
01-15	15:23	22 421	43	01	OK	ECM
01-15	15:24	22 421	44	01	OK	ECM

SO : 22 421

海外へ送信する [海外送信モード]

海外へ送信するときは、[海外送信モード] を「ON」に設定することによって、通信エラーを少なくすることができます。(海外への送信では、回線の状況などによって正常に通信できないことがあります。)
設定は、1 回のみ有効です。送信後は [海外送信モード] の設定は解除されます。

- 1 原稿をセットする。
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
- 2 機能 を押す。
海外送信モードを設定するディスプレイが表示されます。
- 3 / で「ON」を選び、 を押す。
 : 海外に送信するとき。
 : 海外に送信しないとき。
 が表示されます。
- 4 を押す。
他の送信設定をするときは を押して、設定を続けます。
- 5 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。
ファクス送信を開始します。

受信中やメモリー送信中に次の送信の予約をする [送信予約]

ファクスの受信中や [メモリー送信] 中に、送信設定ができます。設定をしておくと、受信や [メモリー送信] が終了すると自動的に送信を行います。

1 ファクス受信 メモリー送信	1 原稿をセットする。 必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。	2 相手先の電話番号をダイヤルする。 電話帳、グループダイヤルは使用できません。	3 スタート  セット を押す。 受信、メモリー送信の終了後、自動的に送信を開始します。
------------------------------	--	---	--

送信予約を解除するには

原稿をはずし、 を押してください。

！注意

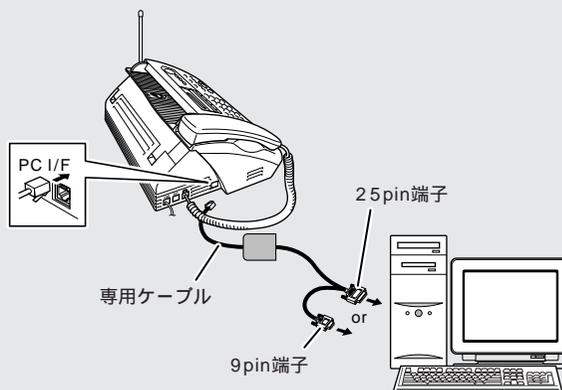
[タイマー送信]、[ポーリング送信]の待機中（割り込み中も含む）は [送信予約] はできません。
[送信予約] では、ページごとの画質の調整はできません。

パソコンからファクスを送信する [PC 接続]

別売りの MFL-100（ブラザーマルチファンクションリンク）をご購入されると、本機とパソコンを MFL-100 を使って Windows® アプリケーションから簡単にファクス送信することができます。ファクス送信作業はバックグラウンドで行われるため、ほかの作業を中断することはありません。詳しくは MFL-100 取扱説明書をご覧ください。

送信する前に MFL-100 の取扱説明書（第 1 章：ご使用のインストールとセットアップ）に従って専用ケーブルの接続、ソフトのインストール及び必要なセットアップを完了してください。

送信作業は MFL-100 の取扱説明書（第 3 章：PC からファクスを送信する）を参照してください。



送信の解除と割込をするには

送信設定を解除する

[タイマー送信](76 ページ) [メモリー送信](78 ページ) [ポーリング送信](77 ページ) の待機中に、設定を解除したいときは、次の手順で解除します。

待機中のディスプレイ

タイマー送信待機中	タイマー送信待機中
ポーリング送信待機中	ポーリング待機中
[メモリー送信] を使ったタイマー送信待機中 [メモリー送信] を使ったポーリング送信 / タイマーポーリング受信待機中	'99/10/25 15:30

送信設定を解除するには

- 機能 (4) を押す。
送信設定を解除するディスプレイが表示されます。
待機中の設定が 1 件のときは手順 4 へ。
待機中の設定がないときは手順 5 へ。
(設定がないと「設定なし」が表示されます。)
- ← / → で解除したい設定を選ぶ。
解除したい設定があるときは手順 3 へ。
解除したい設定がないときは手順 5 へ。
- セット を押す。
「タイマー送信」が表示されます。
- 1 を押す。
設定が解除され、手順 2 に戻ります。
- 停止 (5) を押す。
設定の解除を終了します。

送信待機中に割り込みする

[タイマー送信](76 ページ) [ポーリング送信](77 ページ) の待機中に、設定を解除せずにコピーやファクスの送信をしたいときは、次の手順でコピーやファクス送信を行います。

待機中のディスプレイ

タイマー送信待機中	タイマー送信待機中
ポーリング送信待機中	ポーリング待機中

待機中に割り込みするには

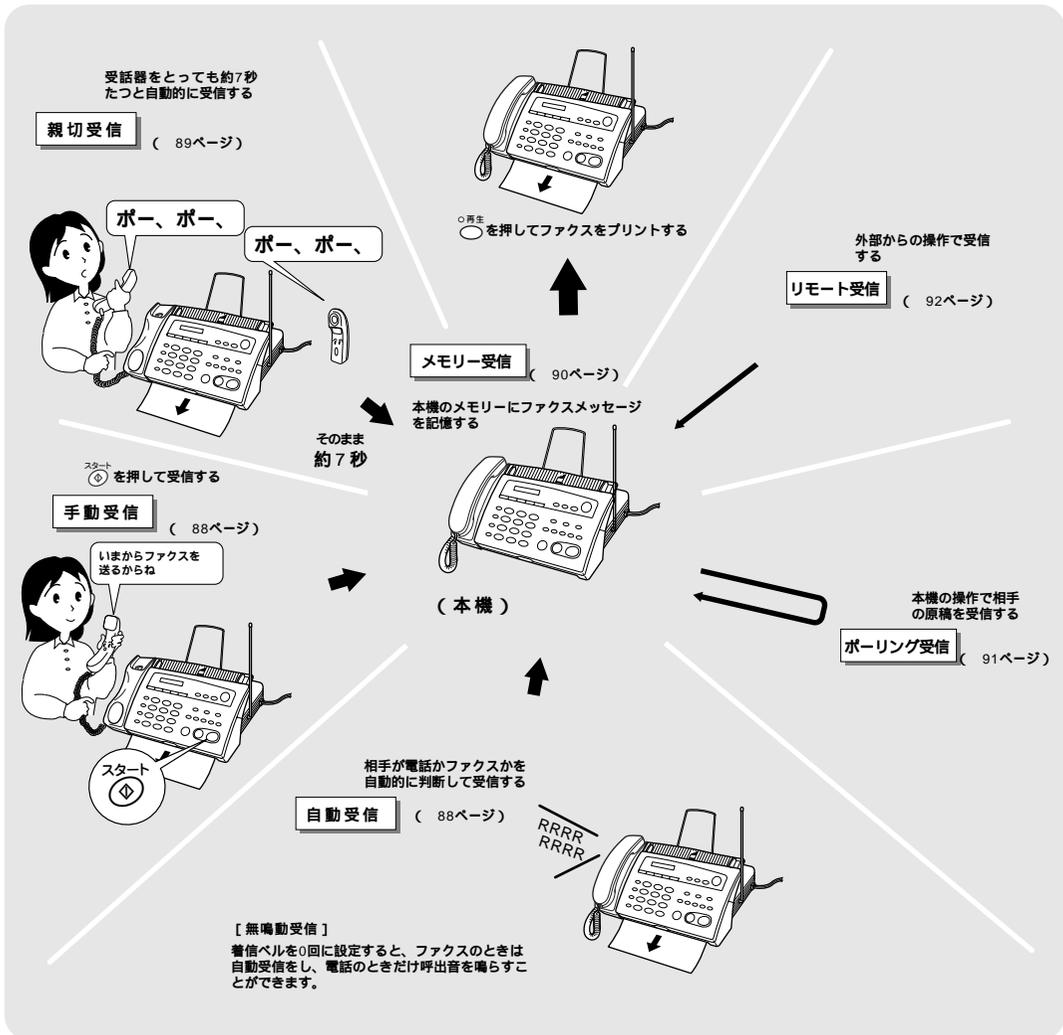
- 機能 (5) を押す。
送信待機中の割り込みをするディスプレイが表示されます。
- セットされている原稿をはずし、割り込みをしたい原稿をセットする。
- コピーの場合は コピー (Q) を押す。
ファクスの場合は相手先の電話番号をダイヤルし、スタート (D) を押す。
- コピー / ファクスの終了後、元の原稿をセットする。
- 機能 (5) を押す。
割り込みを終了します。

MEMO

割り込みでファクス送信するときは、自動再ダイヤルは働きません。

こんな受信ができます

本機では次のような受信をすることができます。

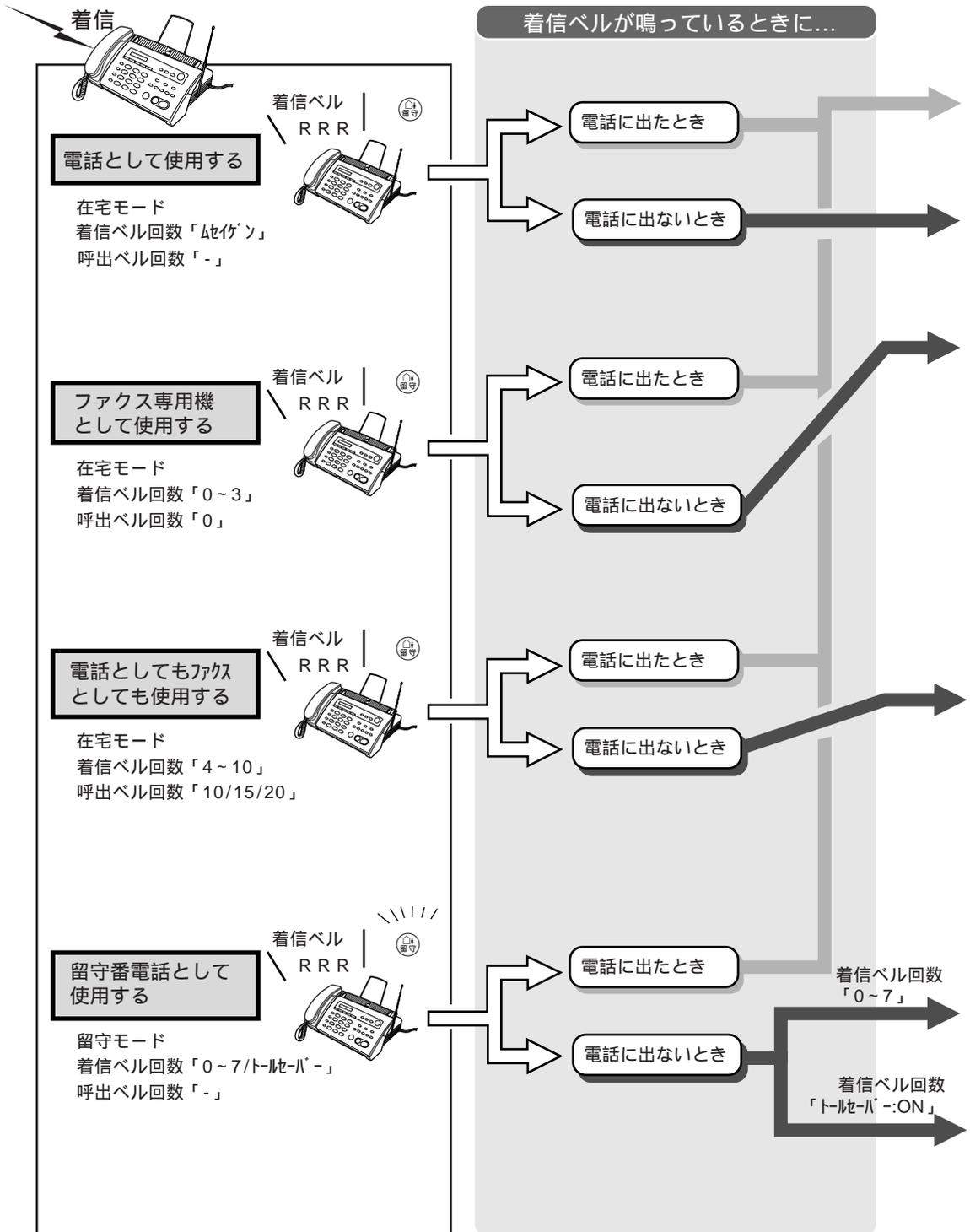


受信のしかた

ファクスや電話を受けるときは、本機では「在宅モード」・「留守モード」という 2 つの受信モードと、「着信ベル」・「呼出ベル」という 2 種類のベルを使い分けて受信することができます。

受信モードは、使い方に応じて次のように設定します。着信ベル回数や呼出ベル回数は受信モードに応じて自動的に設定されますが、指定の範囲内で変更することもできます。

本機の設定 使い方	受信モード	着信ベル回数	呼出ベル回数	参照
電話として使うことが多いとき	在宅モード	無制限 約 100 秒間鳴り終わると、電話が切れます。ファクスには切り換りません。		84 ~ 86 ページ
ファクス専用機として使うとき	在宅モード	00 ~ 10 回 ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定します。	00	
電話としてもファクスとしても使うとき	在宅モード	00 ~ 10 回 ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定します。	10/15/ 20	
外出するとき / 電話に出られないとき	留守モード	00 ~ 07 回 留守番電話に切り換わるまでの着信ベル回数を設定します。 トールセーバー 外出先から留守メッセージの有無を確認するためのモードです。		



相手がファクスのとき

「ポーポー」という音が聞こえます。
スタート
Ⓢ を押してファクスを受信します。

[手動受信]

受信できません。

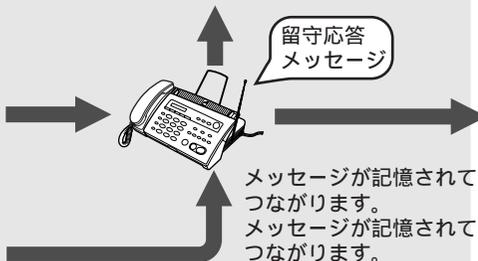
自動的にファクスを受信します。 [自動受信]

自動的にファクスを受信します。 [自動受信]
(参考)
着信ベルを0回に設定すると、ファクスのときは自動受信をし、電話のときだけ呼出音を鳴らす事ができます。

[無鳴動受信]



代行受信メモリーにファクスメッセージを記憶します。



メッセージが記憶されているときは、着信ベルが2回鳴った後、回線がつながります。
メッセージが記憶されていないときは、着信ベルが4回鳴った後、回線がつながります。
着信ベルが3回鳴った時点で、メッセージが記憶されていないことがわかります。

相手が電話のとき

そのまま通話します。
相手がファクスを送りたいときは
スタート
Ⓢ を押してファクスを受信します。

着信しません。

自動的に回線が切れます。

(呼出ベルが鳴っています。)

電話に出たとき

そのまま通話します。
相手がファクスを送りたいときは
スタート
Ⓢ を押してファクスを受信します。

電話に出ないとき

自動的に回線が切れます。

留守録メモリーに音声メッセージを録音します。

ファクスを受信する前に

着信ベル回数を設定する

「在宅モード」のときと「留守モード」のときの2種類の着信ベル回数を設定します。着信ベルが鳴り終わると、ファクスの自動受信や応答メッセージの再生を行います。

お買い上げ時の着信ベル回数は「在宅モード」時が8回、「留守モード」時が2回に設定されています。

在宅モード時の着信ベル回数を設定する（ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定する）

- 機能**
② ② を押す。
受信モードを設定するディスプレイが表示されます。
- 2**
← / → で「ザイクド」を選び、**セット** を押す。
着信ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。
- 3**
← / → で着信ベル回数を選び、**セット** を押す。
「ハイオン」：電話として使用するとき。
「0 ~ 3」：ファクス専用機として使用するとき。
「4 ~ 10」：電話としてもファクスとしても使用するとき。
- 4**
停止
Ⓢ を押す。
設定を終了します。

留守モード時の着信ベル回数を設定する（留守番電話に切り換わるまでの着信ベル回数を設定する）

- 機能**
② ② を押す。
受信モードを設定するディスプレイが表示されます。
- 2**
← / → で「ルモード」を選び、**セット** を押す。
着信ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。
- 3**
← / → で着信ベル回数の設定を選び、**セット** を押す。
「0 ~ 7」 : 留守番電話として使用するとき。
「トールバ:ON」 : 外部から留守メッセージの有無を確認したいとき。
- 4**
停止
Ⓢ を押す。
設定を終了します。

呼出ベル回数を設定する

本機では「在宅モード」で[着信ベル回数]が0 ~ 10回に設定されているときは、着信ベルの後に着信ベルとは違う鳴りかたで、「呼出ベル」が鳴ります。この「呼出ベル」の鳴る回数を設定します。

相手がファクスの場合は「呼出ベル」は鳴りません。着信ベルが鳴り終わった時点でファクス受信に切り換わります。お買い上げ時の呼出ベル回数は10回に設定されています。

在宅モード時の呼出ベル回数を設定する

- 機能**
② ③ を押す。
呼出ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。
- 2**
← / → で呼出ベル回数を選び、**セット** を押す。
呼出ベル回数は「0/10/15/20回」の中から選びます。
- 3**
停止
Ⓢ を押す。
設定を終了します。

！注意

本機は設定された[呼出ベル回数]だけ呼出ベルを鳴らした後、自動的に電話を切ります。
本機をファクス専用機としてご使用になるときは、[着信ベル回数][呼出ベル回数]とも0回に設定すると、ベルを全く鳴らさずにファクスを受信することができます。

在宅応答メッセージを録音する

「在宅モード」に設定しているときの在宅メッセージ（ザイタクアウトウ）を録音します。

1

   を押す。

応答メッセージを設定するディスプレイが表示されます。

2

 /  で「ザイタクアウトウ」を選び、 を押す。

3

録音

 を押し、受話器を取ってメッセージを録音する。

メッセージは最長 20 秒間録音できます。

録音されているメッセージを再生したいときは  を押します。

録音されているメッセージを消去したいときは   を押します。

4

停止

 を押すか、受話器を戻す。
設定を終了します。

MEMO

メッセージを録音するときは、受話器を 5 ~ 8 cm はなして録音してください。

お買い上げ時の「ザイタクアウトウメッセージ」は、「この電話は電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

ファクスを受信するには

手でファクスを受信する [手動受信]

着信ベルが鳴っているときに電話を受け、ファクスを受信するときは、次の操作でファクスを受信します。

- 1 着信ベルが鳴ったら電話を受ける。☎ 34 ページ
- 2 相手がファクスを送りたいとき、または「ポー、ポー」という音が聞こえたときは、^{スタート}  を押す。
原稿がセットしてあるときは原稿をはずしてください。
- 3 受話器を戻す。

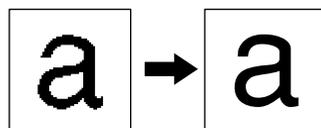


MEMO

相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル(7 ~ 10回)がなっている間に、電話を切ってしまうことがあります。そのときは、[着信ベル回数] を6回以下に設定してください。☎ 86 ページ
相手が手動送信のファクスのときは、受話器をとっても、「ポーポー」という音がしないことがあります。そのときは、相手がファクスを送るかどうかを口頭で確認し、^{スタート}  を押してください。

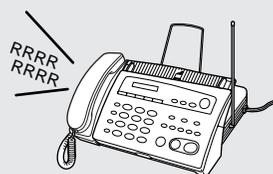
スムージング記録について

「標準」、「ファイン」モードで送信されてきた原稿の線やギザギザを補正し、滑らかな線や文字で見やすく受信する機能です。



相手が電話かファクスかを自動的に判断して受信する [自動受信]

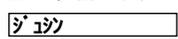
本機は、着信ベルが鳴り終わった後、自動的に相手が電話かファクスかを判断し、相手がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始します。(相手が電話のときは、着信ベルに続けて呼出ベルを鳴らします。) この機能は本機が自動的に行う機能です。



受話器で受けたファクスを自動的に受信する [親切受信]

相手から自動送信のファクスが送信されてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると、「ポー、ポー」という音が聞こえ、親機の^{スタート}  を押さないとファクスを受信することができません。このようなとき [親切受信] を設定しておく、自動受信を開始する前に受話器でファクスを受けたときでも、自動的に受信することができます。お買い上げ時は親切受信は「ON」に設定されています。

親切受信が設定されていると

親機または子機で電話に出て「ポー、ポー」という音が聞こえたとき、約 7 秒待つと自動的にファクスの受信を始めます。このとき親機のディスプレイには  と表示されます。ファクスの受信を始めたら、受話器を戻します。(子機の場合は充電器へ戻します。)

親切受信の設定をする

1

   を押す。
親切受信を設定するディスプレイが表示されます。

2

 /  で「ON」を選び、 を押す。

 : 親機、子機、並列接続された電話機で親切受信するとき。
 : 親切受信しないとき。

3

 を押す。
設定を終了します。

MEMO

回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、^{スタート}  を押して手動でファクスを受信してください。

通話中、または外部からの音が入ったとき、突然ファクスに切り変わってしまう場合は、[親切受信] の設定を「OFF」にしてください。

本体のメモリーにファクスメッセージを記憶する [メモリー受信]

本機には、ファクスメッセージを記憶しておくためのメモリーが備えられています。メモリーには約 20 枚分のファクスメッセージを記憶しておくことができます。メモリーにファクスメッセージが記憶されるのは次のような場合です。

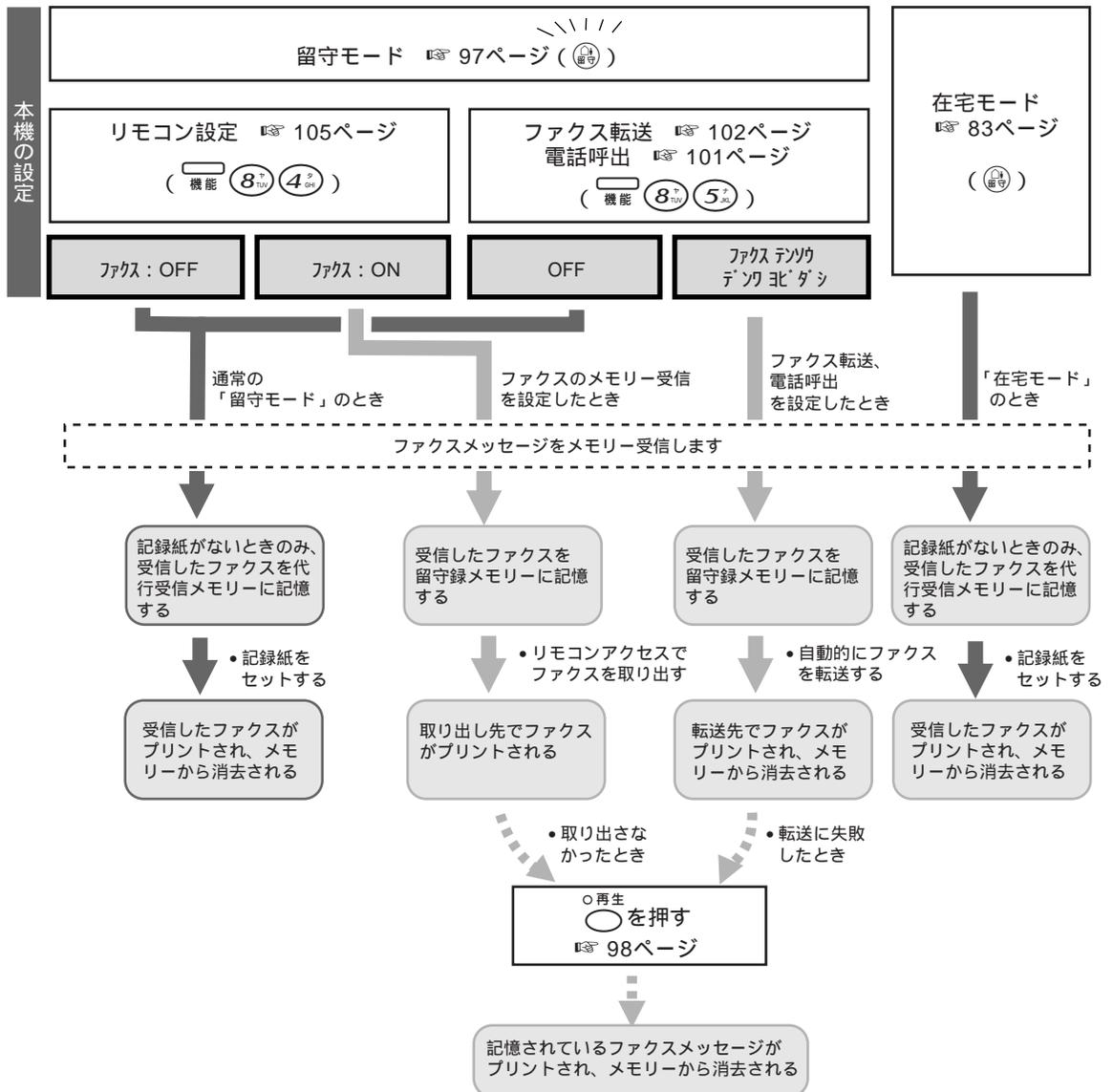
- 記録紙がセットされていない場合 / 記録紙がなくなった場合 (メモリー代行受信)
- 「留守モード」にセットされていて、ファクス転送 (☎ 101 ページ) に設定されている場合
- 「留守モード」にセットされていて、「ファクス: ON」(ファクスメッセージのメモリー受信を行う) に設定されている場合

ファクスメッセージが記憶されると

「代行受信メモリー」にファクスメッセージが記憶されると、ディスプレイに **☎ 83** と表示されます。

ファクスメッセージをプリントするには

記憶されたファクスメッセージは、本機の設定に応じて、次のような手順でプリントします。



その他の受信をするには

本機の操作で相手の原稿を受信する [ポーリング受信]

受信側のファクシミリで、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を送信させることができます。(「ポーリング通信」といいます。)
「ポーリング通信」において、本機が受信側のときの通信を「ポーリング受信」といいます。

設定は、1回のみ有効です。受信後は [ポーリング受信] の設定は解除されます。

ポーリング受信 / 機密ポーリング受信 / タイマーポーリング受信

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、パスワード(4桁)を入力しないと原稿を受け取ることができない機密ポーリング受信があります。また、受信する時刻を指定して自動的に原稿を受け取るタイマーポーリング受信があります。

ポーリング受信 / 機密ポーリング受信の設定をする

1

機能 (2) (6) を押す。

ポーリング受信を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → でポーリングモード (「ヒョウゴウ」または「キツ」) を選び、 を押す。

ヒョウゴウ : パスワードを使用しないときは手順 4 へ。
キツ : パスワードを使用するときは手順 3 へ。
タイマー : タイマーポーリング受信を設定するとき。

3

(0) ~ (9) でパスワードを入力し、 を押す。

パスワードには 4 桁の数字を設定します。

4

相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。

ポーリング受信を開始します。

タイマーポーリング受信の設定をする

1

機能 (2) (6) を押す。

ポーリング受信を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → で「タイマー」を選び、 を押す。

3

(0) ~ (9) でポーリング受信する時刻を入力し、 を押す。

受信時刻は 24 時間制で入力します。

4

相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。

タイマーポーリング受信待機中になり、指定した時刻になると自動的にポーリング受信を開始します。

○お願い

送信側のファクシミリによっては (ポーリング機能がないときなど)、この機能を利用できないことがあります。

外部からの操作でファクスを受信する [リモート受信]

送信側の操作でファクスを受信するには

本機の呼出ベルが鳴っているときに送信側のファクシミリから「リモート起動番号」を入力することで、本機のファクス受信を開始させることができます。[リモート受信]
(リモート受信の操作を行わないときは、本機に設定した回数の呼出ベルが鳴り終わると自動的に電話が切れます。)
お買い上げ時の「リモート起動番号」は「# 51」に設定されています。

1
本機の呼出ベルが鳴っている。
(応答メッセージ再生中、または音声メッセージで録音中)

送信側のファクシミリで **0** ~ **9**、**#**、***** で「リモート起動番号」を入力し、約 5 秒たったら受話器を戻す。
本機がファクス受信を始めます。

リモート受信を設定する (リモート起動番号を設定する / リモート停止番号を設定する)

リモート受信をするには、次の手順でリモート受信を「ON」に設定します。また、この手順で、リモート起動番号やリモート停止番号を設定することができます。

「リモート番号」は一度設定すると、変更するまで有効です。

1
機能 **2** **5** を押す。
リモート受信を設定するディスプレイが表示されます。

2
← / → で「ON」を選び、**セット** を押す。
リモート起動番号を設定するディスプレイが表示されます。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

3
0 ~ **9**、**#**、***** でリモート起動番号を入力し、**セット** を押す。
リモート停止番号を設定するディスプレイが表示されます。
* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

4
0 ~ **9**、**#**、***** でリモート停止番号を入力し、**セット** を押す。
が表示されます。

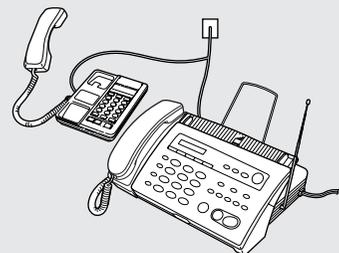
5
停止 **セット** を押す。
設定を終了します。

○お願い

[リモート受信] は電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
送信側のファクシミリがトーン (PB) 信号を送出できないときは、[リモート受信] は使用できません。
[リモート受信] を行うためにはあらかじめ、送信側に「リモート番号」を知らせておく必要があります。

MEMO

並列接続について
配線など、やむをえない事情により本機のほかに並列接続された電話機があるとき、「リモート停止番号」を入力することで、本機がいったん応答し、呼出ベルに切り換わった電話を、並列接続された電話機で受け直すことができます。[リモート停止]
お買い上げ時の「リモート停止番号」は「 * 51 」に設定されています。

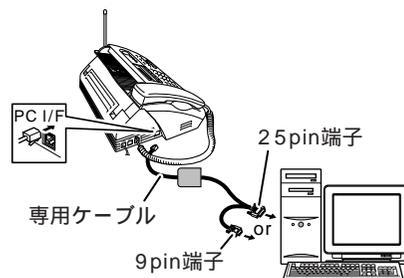


パソコンでファクスを受信する [PC 接続]

別売りの MFL-100 (ブラザーマルチファンクションリンク) をご購入されると、MFL-100 を使って本機とパソコンを接続し、パソコンでファクスを受信することができます。詳しくは MFL-100 の取扱説明書をごらんください。

受信の設定をする前に、MFL-100 の取扱説明書にしたがって専用ケーブルの接続、ソフトのインストール、ファクスなどの必要なセットアップを完了してください。

本機では、次の手順で設定を行います。



1

機能 **2** **7** を押す。

PC 接続を設定するディスプレイが表示されます。

2

← / → で接続設定を選び、**セット** を押す。

PC 接続優先	: PC 受信優先のとき。
PC 専用	: PC 受信専用のとき。
FAX 専用	: FAX 受信専用のとき。

3

停止 **◎** を押す。

設定を終了します。

MEMO

[着信ベル回数] に「ムセイゲン」を設定しないでください。

MFL-100 の取扱説明書の中では「機能ボタン」を押した後、7. 登録モードの中で PC 接続機能を設定するとありますが、これは他機種の設定ですので、上記に従って設定してください。

ファクス情報サービスを利用する

本機では、各種のファクス情報サービスを利用することができます。ファクス情報サービスの受信のしかたには「ガイダンス方式 (音声ガイダンスが聞こえる)」のものと「ポーリング方式 (「ピー」という音が聞こえる)」のものがありますので、各種サービスに合わせて操作を行ってください。(以下の手順は一般的な操作例です。)

1

受話器をとる。(または スピーカーホン を押す。)

2

情報サービスセンターに電話をかける。

☎ 音声ガイダンスが聞こえるときは手順 3 へ。
「ピー」という音が聞こえるときは手順 4 へ。

3

ガイダンスに合わせて、**0** ~ **9** を押す。

ダイヤル回線をお使いのときは、**X** を押してから **0** ~ **9** を押します。

4

スタート **◇** を押す。

自動的に受信を開始します。
受話器を上げているときは受話器を戻します。

MEMO

よく利用する情報サービスがあるときには、情報番号をワンタッチボタンに登録しておくとう便利です。(手順 3 で、あらかじめ登録しておいたワンタッチボタンを押すと、簡単に情報サービスを利用することができます。)

ダイヤル回線をお使いの場合で、ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を設定するときは、登録する番号の最初に **X** (トーン) を入力してください。

こんなことができます

ボイスメモ機能

自宅や職場などで本機をいっしょに使っている人に伝言(ボイスメモ)をのこすことができます。



電話呼出機能

本機がメッセージを留守録メモリーに記憶すると、ポケットベルや携帯電話を呼び出して知らせることができます。



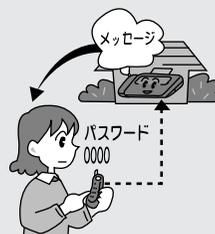
ファクス転送機能

本機が受信したファクスを外出先のファクシミリに転送することができます。



リモコンアクセス機能

外出先から本機を操作したり、受信したメッセージを取り出すことができます。



メッセージの種類と意味

音声メッセージ	留守中に電話をかけてきた人が本機に録音するメッセージのことです。
留守応答メッセージ	留守中に電話をかけてきた人に応答するメッセージのことです。メッセージはあらかじめ登録されていますが、変更することができ、2種類のメッセージを録音しておくことができます。
在宅応答メッセージ	着信ベルから呼出ベルに切り換わったとき、電話をかけてきた人に応答するメッセージのことです。メッセージはあらかじめ登録されていますが、変更することができます。
ボイスメモ	自宅や職場などで本機をいっしょに使っている人に残すメッセージです。

メッセージを記憶するメモリーについて

本機は、音声メッセージやファクスを記憶するために2種類のメモリーを使っています。これらのメモリーに記憶されたメッセージやファクスは必要に応じて、再生/プリントします。☞ 97 ページ

留守録メモリー	「留守モード」のとき、受信した音声メッセージ、および電話呼出(☞ 100 ページ)、ファクス転送(☞ 101 ページ)、リモコンアクセスによるファクス取り出し(☞ 104 ページ)を設定しているときのファクスメッセージが記憶されます。
代行受信メモリー	記録紙がセットされていないときに受信したファクスメッセージが記憶されます。[メモリー代行受信] 記憶されたファクスメッセージはプリントすると、自動的に消去されます。

留守番機能を使用する前に

留守番機能を使用するときは、あらかじめ以下の設定をしておきます。

留守応答メッセージを録音する

「留守モード」に設定しているときの留守応答メッセージ（ルスカウ1、ルスカウ2）を録音します。

- 1 機能 (8) (1) を押す。
応答メッセージを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 左 / 右 で録音したい留守応答メッセージを選び、セット を押す。
2種類の留守応答メッセージを録音することができます。
ルスカウ1
ルスカウ2
- 3 録音
録音 を押し、受話器を取ってメッセージを録音する。
メッセージは最長 20 秒間録音できます。
録音されているメッセージを再生したいときは 再生 を押します。
録音されているメッセージを消去したいときは 消去 (1) を押します。
- 4 停止
停止 を押すか、受話器を戻す。
設定を終了します。

MEMO

メッセージを録音するときは、受話器を 5 ~ 8 cm はなして録音してください。
お買い上げ時の「ルスアウトウメッセージ」は、「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話してください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。

音声メッセージの録音時間を設定する

「留守モード」時に録音される音声メッセージの最長録音時間を設定します。ここで設定した最長録音時間は、通話の録音や伝言などのボイスメモのときも適用されます。

お買い上げ時は、「60 秒」に設定されています。

- 1 機能 (8) (2) を押す。
録音時間を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 左 / 右 で最長録音時間を選び、セット を押す。
30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒から選択します。
- 3 停止
停止 を押す。
設定を終了します。

留守録モニターを設定する

録音中の「音声メッセージ」は、本機のスピーカーホンで聞く（モニターする）ことができます。この「モニター音」の「ON」 / 「OFF」を設定します。（この設定は通話中のスピーカー音量には影響しません。）

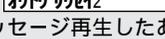
お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

- 1 機能 (8) (3) を押す。
モニター音を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 左 / 右 でモニター音の設定（「ON」または「OFF」）を選び、セット を押す。
ルスカウモニター:ON : 録音中の音声をスピーカーホンで聞くとき。
ルスカウモニター:OFF : 録音中の音声を聞かないとき。
- 3 停止
停止 を押す。
設定を終了します。

留守番機能を使用するには

留守モードにセットする

外出するとき、またはどうしても電話に出られないときなど、本機を「留守モード」に設定します。「留守モード」に設定すると、電話やファクスの着信に対して本機が自動的に対応を行います。

親機 の 操 作	1	<p>を押す。</p> <p>留守応答メッセージが再生され、「留守モード」にセットされます。</p> <p> 留守応答メッセージが録音されているときは手順2へ。</p>	2
	<p>(メッセージ再生中に)  または  でメッセージを選ぶ。</p> <p> : あらかじめ録音されている留守応答メッセージのとき。</p> <p> : 自分で録音した留守応答メッセージ1のとき。</p> <p> : 自分で録音した留守応答メッセージ2のとき。</p> <p>メッセージ再生したあと、そのメッセージで「留守モード」にセットされます。</p> <p>メッセージ再生中に  を押すとそのメッセージで「留守モード」にセットされます。</p> <p>メッセージ再生中に  を押すと再生を中止し、前回選択したメッセージで「留守モード」にセットされます。</p>		

留守モードを解除するには

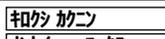
外出から帰ってきたときなど、「留守モード」を解除するには  を押します。

留守モードを解除すると、「在宅応答メッセージ」が再生されます。

新規の音声メッセージ(未再生の音声メッセージ)が録音されていると、留守モードを解除したとき、未再生の音声メッセージを再生します。

着信メッセージがあるときは

音声メッセージやボイスメモ、ファクスが「留守録メモリ」・「代行受信メモリ」に記憶されているときは、着信表示ランプ、ディスプレイを見て確認することができます。

着信表示ランプ	再生ランプ	●再生	<p>点滅：新規の音声メッセージか、ファクスメッセージがあります。</p> <p>点灯：音声メッセージがあります。</p> <p>消灯：音声メッセージはありません。</p>
ディスプレイ			<p> : 「代行受信メモリ」にファクスメッセージがあります。</p> <p> : 「留守録メモリ」にメッセージがあります。</p> <p>「代行受信メモリ」と「留守録メモリ」の両方にメッセージが記憶されているときは、「留守録メモリ」への着信を示すメッセージが優先して表示され、「留守録メモリ」に記憶されたメッセージをプリントすると、「代行受信メモリ」への着信を示すメッセージが表示されます。</p>

留守中にメモリがいっぱいになったときは

「留守録メモリ」がいっぱいになると、自動的に「留守モード」から「在宅モード」に切り換わります。

メッセージを確認するには

メッセージ内容を再生・プリントする

留守中に録音された音声メッセージやボイスメモを録音された順に再生し、記憶されたファクスをプリントします。(新規の音声メッセージ(未再生の音声メッセージ)については、留守モードを解除したときにも再生されません。)

1

○再生

○を押す。

音声メッセージ、ボイスメモの順に再生されます。

再生中、ディスプレイには次のように表示されます。

1秒 : 再生中のメッセージ / 総件数

2秒 : 相手の電話番号(ナンバーディスプレイサービス利用時のみ)

: 録音日時

再生終了

ファクスメッセージがないときは再生前の状態に戻ります。

☎ ファクスメッセージがあるときは手順2へ。

→ が表示されます。

2

1?を押す。

プリントを開始します。

再生しているメッセージをもう一度再生するときは

メッセージの再生中に  を押します。

再生しているメッセージをとばして次のメッセージを再生するときは

メッセージの再生中に  を押します。

メッセージの再生を中断するときは

メッセージの再生中に  を押します。

再生しているメッセージを消去するときは

メッセージの再生中に  を押し、 が表示されたら  を押します。再生中のメッセージが消去され、次のメッセージが再生されます。(「ピー」という音が鳴った後に  を押し、再生した次のメッセージを消去します。)

すべてのメッセージを消去するときは

1

消去

○を押す。

2

 /  で消去したい内容を選び、 を押す。

: 音声メッセージを消去するとき。
 : ファクスメッセージを消去するとき。
 : 両方消去するとき。

3

 を押す。

消去を完了します。

子機から留守番機能进行操作するには

子機で留守モードに設定する

留守モードに設定するには

子機
の
操
作

- 1 充電器から子機をはずし、**外線** を押す。
(**外線** を消灯させる。)
充電器から外しているときはそのままです。

- 2 **設定・留守** **0** を 1 秒以上押す。
留守セッテ が表示され、「留守モード」が設定されます。

留守モードを解除するには

子機
の
操
作

- 1 充電器から子機をはずし、**外線** を押す。
(**外線** を消灯させる。)
充電器から外しているときはそのままです。

- 2 **留守解除** **#** を 1 秒以上押す。
留守がッヨ が表示され、「留守モード」が解除されます。

子機で音声メッセージを確認する

子機では、留守中に録音された音声メッセージやボイスメモを確認することができます。

- 1 充電器から子機をはずし、**外線** を押す。(**外線** を消灯させる。)
充電器から外しているときはそのままです。

- 2 **再生** **2** (再生) を 1 秒以上押す。
留守セッテ が表示され、音声メッセージが再生されます。すべてのメッセージを再生すると、自動的に終了します。
再生中には下記の操作ができます。
 - 再生中のメッセージをもう一度はじめてから再生する。 : **1** を押す。
 - 1 つ前のメッセージを再生する
: 再生前の「ピー」という音が鳴っている間に **1** を押す。
 - 次のメッセージを再生する : **3** を押す。
 - 再生を中止する : **5** を押す。
 - 再生中のメッセージを消去する : **6** を押す。

MEMO

子機のスピーカーホンでメッセージを再生したいときは、充電器に置いたまま、**再生** **2** を 1 秒以上押します。音声メッセージが録音されていないときは、拒否音が鳴ります。

外出中の便利な使い方

通話や伝言を録音する [ボイスメモ]

通話を録音する

通話中の内容を録音することができます。録音時間は、[最長録音時間] (☞ 95 ページ) 以内です。

親機 の 操作	1 録音 通話中に  を押す。 録音を始めます。 スピーカーホンで通話しているときは、通話を録音できません。	2 停止 録音を終わるときは  を押す。 録音を終了します。録音内容は「留守録メモリー」に記憶されます。 最長録音時間を超えたときは、自動的に録音を終了します。
---------------	--	--

伝言を録音する

外出するときなど、本機をいっしょに使っている人に伝言を録音しておくことができます。

親機 の 操作	1 録音  を押し、受話器をとる。 録音を始めます。	2 録音を終わるときは、受話器を戻す。 録音を終了します。録音内容は「留守録メモリー」に記憶されます。 最長録音時間を超えたときは、自動的に録音を終了します。
---------------	---	---

外出中にメッセージの着信を知らせる [電話呼出機能]

「留守モード」中に、音声メッセージやファクスメッセージが本機に記憶されたとき、それを外出先の電話に知らせることができます。呼出先の電話番号にポケットベルを設定するときは、メッセージを表示させることができます。〔電話呼出機能〕は〔ファクス転送機能〕と同時に使用することはできません。電話呼出機能は NTT のボイスワープとは異なります。

お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

留守モード中にメッセージが本機に記憶されると...

「留守モード」中に音声メッセージやファクスメッセージが本機に記憶されると、本機は自動的に「電話呼出番号」に電話をかけます。この電話に出ると「ポッポッ」という音が聞こえ、本機にメッセージが記憶されたことがわかります。この電話を受けたときは、「リモコンアクセス」によって、本機を操作することができます。(101 ページ) 呼出先がポケットベルで、メッセージを登録しているときはポケットベルにメッセージが表示されます。

電話呼出機能を設定する

- 1 機能 8 5 を押す。
転送を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 左右矢印で「デコ北ダシ」を選び、
セットを押す。
呼出先を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 0 ~ 9 で呼出先の電話番号を入力する。
呼出先が電話のときは手順 6 へ。
呼出先がポケットベルのときは手順 4 へ。
- 4 再ダイヤル/ポーズ を 4 回押す。
メッセージ番号を入力するディスプレイが表示されます。
ダイヤル回線をお使いのかたは、最後に X を押します。
- 5 # を 2 回押す。"/> # を 2 回押す。
ポケットベルに表示するメッセージを入力し、
入力したメッセージ番号が表示されます。
- 6 停止 セット を押す。
設定を終了します。

MEMO

呼出先の電話番号は、外出先から変更できません。
手順 4、5 では合計 30 桁まで入力することができます。
メッセージの登録方法は、ポケットベルの会社によって異なりますので、ポケットベルのお求め先にご相談ください。

お願い

NTT の電話転送サービス「ボイスワープ」をご契約のお客様へ
自動転送機能でかかってきた電話を転送するとき、転送先に、ファクスを受信できない端末を指定したときは、ファクスが受信できなくなりますので、ご注意ください。

外出先にファクスを転送する [ファクス転送機能]

「留守モード」中に、ファクスメッセージを受信したとき、それを外出先のファクシミリなどに転送することができます。([ファクス転送機能] は [電話呼出機能] と同時に使用することはできません。)
お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

ファクス転送機能を設定する

1 機能 (8) (5) を押す。 転送を設定するディスプレイが表示されます。	2 ← / → で「ファクス」を選び、 セット を押す。 転送先を入力するディスプレイが表示されます。	3 0 ~ 9、 *、# で転送先の番号を入力する。	4 停止 セット (9) を押す。 設定を終了します。
--	---	---	---

MEMO

転送先の電話番号は、外出先から変更することができます。
手順 3 では合計 20 桁まで入力することができます。

ファクス転送を解除するには

「ファクス転送機能を設定する」の手順 2 で、「OFF」を選び、停止
セット (9) を押します。

外出先から本機を操作する [リモコンアクセス機能]

本機は、トーン (PB) 信号を使って外出先から操作することができます。これを「リモコンアクセス」といいます。リモコンアクセス時は、「リモコンアクセスコマンド」と呼ばれる番号で本機の操作を行います。操作できる内容については、「リモコンアクセスコマンド一覧」を参照してください。☎ 103 ページ

MEMO

外出先からファクスメッセージを取り出したいときは、「ファクス:ON」(ファクスメッセージをメモリー受信する) に設定する必要があります。(☎ 104 ページ)

リモコンアクセスによって本機を操作するには

次のような手順で「リモコンアクセス」を行い、本機を操作します。(操作はすべてトーン(PB)信号で行います。)

1

外出先から本機に電話をかける。
本機が応答し、約 4 秒間無音状態になります。

「無音状態」

応答メッセージが流れる前に約 4 秒間無音状態になります。「在宅モード」で着信ベル回数を「1回」に設定しているときは着信ベルが鳴り終わったあと(約 100 秒後) 約 30 秒間無音状態になります。

2

無音状態中に「リモコンアクセスコード」を入力する。
「ポー」という少し長い音が聞こえ、応答音が聞こえます。(応答音によって本機の状態を示します。)

無音：メッセージは記憶されていません。

「ポー」：ファクスメッセージがあります。

「ポーポー」：音声メッセージがあります。

「ポーポーポー」：ファクスメッセージと音声メッセージがあります。

「ピピピッ」という音が聞こえたり、応答音が聞こえないときはもう一度、「リモコンアクセスコード」を入力してください。

「リモコンアクセスコード」

本機をリモコンアクセスによって操作できる状態にするための番号です。

☎ 104 ページ

3

「ピピッ...ピピッ...」という音が聞こえたら、「リモコンアクセスコマンド」を入力する。

「ピピピッ」という音が聞こえたときはもう一度、「リモコンアクセスコマンド」を入力してください。

続けて次の操作をするときは、「ピピッ」という音が聞こえている間に次の「リモコンアクセスコマンド」を入力します。

4

リモコンアクセスを終了するときは、  を押す。

リモコンアクセスを終了します。

「ピピッ」という音が聞こえている間にコマンドを入力せず、30秒以上経過すると、自動的にリモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンド一覧

リモコンアクセスでは次の操作をすることができます。

操作内容		コマンド	
音声メッセージ	留守録メモリーで受信した音声メッセージを再生します。 <ul style="list-style-type: none"> メッセージを最初から再生するには (1) を押します。 (メッセージとメッセージの間で (1) を押すと前のメッセージを再生します。) 次のメッセージを再生するには (2) を押します。(再生中のメッセージをとばします。) 再生を中止するには (9) を押します。 	91	
	ボイスメモを録音します。 <ul style="list-style-type: none"> 録音を中止するには (9) を押します。 	92	
	留守録メモリーで受信した音声メッセージをすべて消去します。 このコードは一度にすべてのメッセージを消去します。1件ずつの消去はできません。 「ピピピッ」という音が聞こえたら、一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去する音声メッセージがないことを表します。	93	
応答メッセージ	留守応答メッセージ 1 を	再生し、留守応答メッセージとして設定します。 • 中止するには (9) を押します。 録音します。 • 中止するには (9) を押します。	9410
	留守応答メッセージ 2 を	再生し、留守応答メッセージとして設定します。 • 中止するには (9) を押します。 録音します。 • 中止するには (9) を押します。	9411
	在宅応答メッセージを	再生し、在宅応答メッセージとして設定します。 • 中止するには (9) を押します。	9412
		録音します。 • 中止するには (9) を押します。	9422
設定	[電話呼出機能] [ファクス転送機能] の設定を OFF にします。	951	
	[ファクス転送機能] を設定します。(番号未登録時は設定できません。)	952	
	[電話呼出機能] を設定します。(番号未登録時は設定できません。)	953	
	ファクス転送番号の登録や変更をします。 (9) (5) (4) (コマンド) を押した後、(0) ~ (9) で転送番号を押し、(#) を 2 回押します。 転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定が ON になります。	954	
メモリー操作	メモリー使用状況リストを取り出します。	961	
	メモリーが記憶したファクスメッセージを取り出します。(「操作例」参照)	962	
	メモリーが記憶したファクスメッセージを消去します。	963	
	ファクスメッセージを記憶しているかを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。 	971	
	音声メッセージを記憶しているかを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。 	972	
モード変更	受信モードを「留守モード」に変更します。	981	
	受信モードを「在宅モード」に変更します。	982	
リモコンアクセスを終了します。		90	

リモコンアクセスによる操作例：外出先からファクスメッセージを取り出す

外出先から、本機に記憶されたファクスメッセージを取り出すには、次のような操作を行います。
 (操作は、プッシュ(PB)回線に接続されているか、トーン(PB)信号が送出できるファクシミリから行います。)
 また、「リモコンアクセスコード」の設定で「ファクス：ON」に設定しておく必要があります。

- 1 外出先から本機に電話をかける。本機の着信音が鳴ります。
- 2 着信音が鳴り終わったら **1** **5** **9** **X** (リモートアクセスコード) を押す。
 ファクスメッセージがあるときは「ポー、ピピッ...ピピッ...」という音が聞こえます。
- 3 **9** **6** **2** (リモコンアクセスコマンド) を押す。
 コマンドが受け付けられると「ピー」という音が鳴ります。
- 4 続けて今使用しているファクシミリのファクス番号を **0** ~ **9** で入力し、**#** を2回押す。
 コマンドが受け付けられると「ピー」という音が1回鳴り、電話が切れます。
- 5 受話器を戻す。
 本機から「ファクスメッセージ」が転送されます。

リモコンアクセスコードを設定する

「リモコンアクセスコード」と、ファクスメッセージをメモリー受信するかどうかを設定します。「リモコンアクセスコード」は **0** ~ **9**、**X**、**#** を使った4桁の番号で構成し、4桁目には、必ず **X** を入力します。お買い上げ時は、リモコンアクセスコードは「159 *」、ファクスメッセージのメモリー受信は「OFF」に設定されています。

ファクスメッセージのメモリー受信を「ON」に設定すると、ファクスメッセージを受信したとき、プリントするとともにメモリーに記憶します。

！注意

「リモコンアクセスコード」は「リモート番号」(P.92 ページ) と違う番号を設定してください。
 ファクスのメモリー受信が「OFF」のときは、リモコンアクセスによるファクスの転送はできません。

- 1 **機能** **8** **4** を押す。
 リモコン設定するディスプレイが表示されます。
- 2 **0** ~ **9**、**X**、**#** でリモートアクセスコードを入力し、**セット** を押す。
 メモリー受信を設定するディスプレイが表示されます。
- 3 **←** / **→** でメモリー受信の設定を選び、**セット** を押す。

ファクス:ON	: ファクスメッセージをメモリー受信するとき。
ファクス:OFF	: ファクスメッセージをメモリー受信しないとき。
- 4 **停止** **◎** を押す。
 設定を終了します。

プリントするには

ファクス送信レポートをプリントする [送信レポート]

ファクス送信後に送信レポートをプリントすることができます。
お買い上げ時は、プリントしない(「OFF」)に設定されています。

- 機能 **7** **7** **1** を押す。
送信レポートを設定するディスプレイが表示されます。
- ←** / **→** で「ON」を選び、**セット** を押す。
ウケツクマツク が表示されます。
- 停止** **Ⓢ** を押す。
設定を終了します。

送信レポートをプリントしないときは

手順2で「OFF」を選択します。

通信管理レポートをプリントする [通信管理レポート]

最新の送信・受信結果(合計30通通信分)をプリントすることができます。この通信管理レポートはお好みの間隔で自動的に出力することができます。また、必要なときにはすぐプリントすることもできます。
お買い上げ時は、プリントしない(「OFF」)に設定されています。

- 機能 **7** **2** を押す。
通信管理レポートを設定するディスプレイが表示されます。
- ←** / **→** で「シユツヨク カカカ」を選び、**セット** を押す。
すぐにプリントするときは、「プリント」を選び、**スタート** **Ⓢ** を押します。
- ←** / **→** で出力間隔を選び、**セット** を押す。
出力間隔は次の中から設定します。
プリントしない / 6時間ごと / 12時間ごと / 24時間ごと / 2日ごと / 4日ごと / 7日ごと
☑ 「7日ごと」を選択したときは手順4へ。
それ以外を選択したときは手順5へ。
- ←** / **→** で曜日を選び、**セット** を押す。
- 0** ~ **9** で開始時間を入力し、**セット** を押す。
ウケツクマツク が表示されます。
- 停止** **Ⓢ** を押す。
設定を終了します。

通信管理レポートをプリントしないときは

手順3で **レポートシユツヨク オフ** を選び、**停止** **Ⓢ** を押します。

ダイヤル登録した電話番号をプリントする [ダイヤルリスト]

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された内容をプリントすることができます。

- 機能 **7** **3** を押す。
ダイヤルリストをプリントするディスプレイが表示されます。
- スタート** **Ⓢ** を押す。
プリントを始めます。
- プリント終了後、**停止** **Ⓢ** を押す。

ダイヤルリストを 50 音順にプリントする [電話帳リスト]

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された内容を 50 音順にプリントすることができます。

- 1    を押す。
電話帳リストをプリントするディスプレイが表示されます。
- 2  を押す。
プリントを始めます。
- 3  を押す。
プリント終了後、 を押す。

MEMO

相手先名称の登録されていない電話番号は、「アイテサキメイショウ」が空欄になり、リストの最後に印字されます。

設定状況をプリントする [設定内容リスト]

各種機能に登録・設定された内容をプリントすることができます。

- 1    を押す。
設定内容リストをプリントするディスプレイが表示されます。
- 2  を押す。
プリントを始めます。
- 3  を押す。
プリント終了後、 を押す。

メモリー使用状況をプリントする [メモリー使用状況リスト]

留守録メモリーにメモリーされた「音声メッセージ」、「ボイスメモ」、「ファクスメッセージ」の総数や、タイマー送信やポーリング送信で使用中のメモリー量、使用可能なメモリーの残量をプリントすることができます。

- 1    を押す。
メモリー使用状況をプリントするディスプレイが表示されます。
- 2  を押す。
プリントを始めます。
- 3  を押す。
プリント終了後、 を押す。

機能の案内をプリントする [機能案内リスト]

本機の機能の使いかたや文字入力表、-MAIL の文字コード表・定型文一覧をプリントすることができます。

- 1  を押す。
「機能案内リスト」がプリントされます。

お手入れのしかた

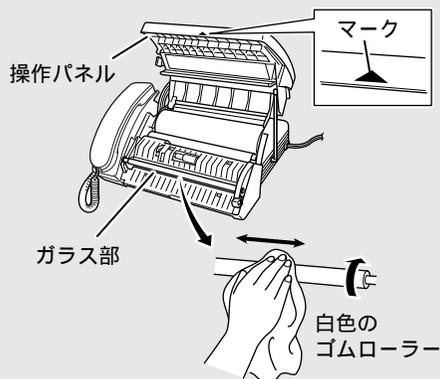
本体の清掃をする

本体は乾いた布で軽く拭きます。本体を拭くときにベンジン・シンナーなどの有機溶剤、水、アルコールは絶対に使用しないでください。また、布にアルコールを浸して拭くのもおやめください。操作パネルにひびがはいる恐れがあります。

原稿読取部の清掃をする

読取部が汚れていると、その汚れがファクス送信時やコピー時の画質に反映されます。きれいな画質を保つために、こまめに読取部の清掃を行ってください。

- 1 操作パネルを開く。
操作パネルが固定するまで開きます。
- 2 白色のゴムローラーとガラス部を、アルコールなどを浸した柔らかい布で拭く。
無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどをご利用いただけます。
- 3 操作パネルを閉じる。



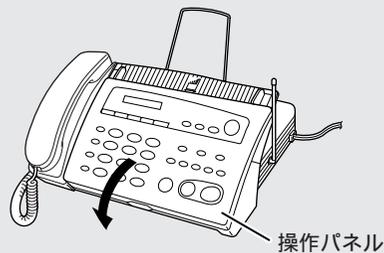
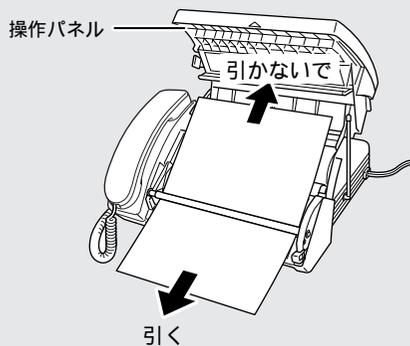
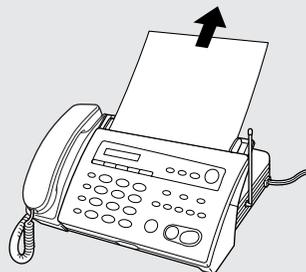
紙が詰まったら

原稿や記録紙が詰まったときはブザーが鳴り、ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

- **ゲンコウ カン** : 原稿が詰まったとき
- **キョクシ カン** : 記録紙が詰まったとき
- **カッター ヴァリ** : カッターに記録紙が詰まったとき

原稿が詰まったときは

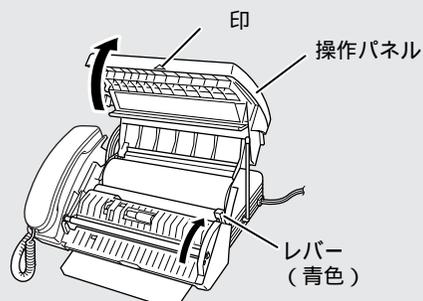
- 1 繰り返し込まれていない原稿を取る。
- 2 操作パネルを開く。
- 3 つまった原稿を手前に引きながら取り除く。
- 4 操作パネルを閉じる。



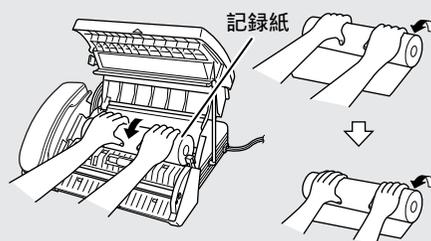
記録紙がつまったときは

次の手順でつまった記録紙を取り除いてください。作業を行う前に、必ず電源コードのプラグを抜いてください。

- 1 電源コードのプラグを抜く。
- 2 操作パネルを開き、青色のレバーを押し上げる。
操作パネル前側中央部の 印のところに指をかけ、「カチッ」と音がするところまで持ち上げます。



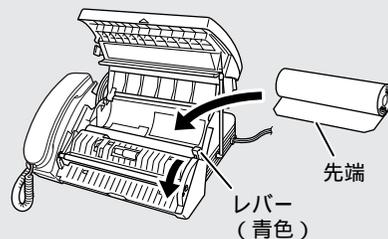
- 3 記録紙を手前に巻き取りながら引き抜く。
記録紙が破れて本機の中に残らないように、ゆっくり巻取って取り除いてください。



- 4 記録紙のしわになった部分をはさみで切り、先端をまっすぐにして記録紙をセットする。

- 5 青色のレバーを戻し、操作パネルを閉じる。
操作パネル前側中央部の 印のところに指をかけ、しっかり閉じます。

- 6 電源コードのプラグを差し込む。



MEMO

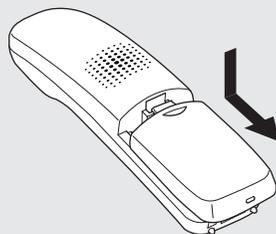
カッター 罫り が表示されたときは
カッターが邪魔をして記録紙をセットすることができません。一度操作パネルを閉じ、電源コードを抜き差ししてから記録紙をセットしてください。

子機のバッテリーを交換するには

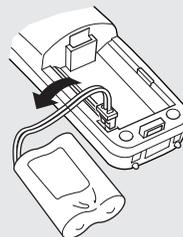
子機のバッテリーは消耗品ですので、充電しても使える時間が短くなったら交換してください。使用のしかたにもよりますが、約1年くらいが交換時期の目安です。

交換バッテリー（型名：BCL-BT）は本機および子機をお買い上げの販売店で買い求めください。

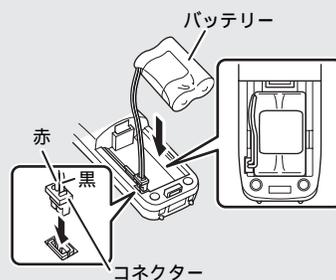
- 1** バッテリーカバーを開ける。
バッテリーカバーを手のひらで押しながら、矢印の方向へスライドさせます。



- 2** バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く。

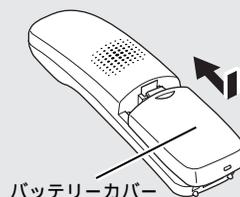


- 3** 新しいバッテリーのコネクターを差し込む。
赤いコードを上側にして差し込みます。



- 4** バッテリーを子機に収める。

- 5** バッテリーカバーを閉める。

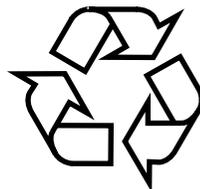


●お願い

バッテリーを交換したら15時間以上充電してください。

バッテリーのリサイクルにご協力ください。

バッテリーにはニカド電池を使用しています。使用済みのニカド電池は、ニカド電池のリサイクル協力店にお持ちください。



エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

親機

ディスプレイ表示	原因	処置
カクシエラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
カクオープン	操作パネルが完全に閉まっていない。	操作パネルを完全に閉めてください。
アイザキカクン	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。
	機密ポーリング受信時の入力したパスワードがちがう。	相手先にパスワードを確認し、再度、原稿をセットしてください。
ゲンカカクン	下記の原因で原稿がつまっている。 <ul style="list-style-type: none"> 原稿が正しく挿入されていない 原稿が正しく送信されていない 原稿サイズが長い 原稿受けが正しくセットされていない。 	操作パネルを開いて原稿を取り除きます。操作パネルを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度送信し直してください。 ☞ 108 ページ
ソウチカクンXX	ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。	「フリーダイヤル 0120 - 161170」へ連絡してください。
ハクチュウ/オトカク	相手が出ない。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
	通信中（話中）	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
カクカクン	記録紙がなくなった。	記録紙を補給してください。
	記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を正しくセットし直してください。 ☞ 8 ページ
	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 ☞ 109 ページ
カクカッター	記録紙がカッターにつまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 ☞ 109 ページ
ヨミガエリ	読取部が汚れている。	読取部を清掃してください。 ☞ 107 ページ
カクエラー	連続使用により記録部分が熱くなってる。	電源プラグを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
ハクゴウカクン	ダイヤルインサービスの登録番号が間違っている。	番号を NTT に確認して、もう一度登録し直してください。 ☞ 28 ページ
	ダイヤルインサービスに加入していない、またはサービスが開始されていないのにダイヤルインモードの設定が ON になっています。	いったんダイヤルインモードの設定を OFF にしてください。サービスが開始されたら、本機のダイヤルインモードの設定を ON にしてください。 ☞ 28 ページ
メモリーゲンガイ	空きメモリーが不足している。	78 ページを参照してください。また、94 ページの手順に従って、メモリーに記憶されているメッセージを消去してください。

子機

ディスプレイ表示	原因	処置
ゲンチノリカ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、20 秒以内に内線(保通)を押して充電器に置き、親機の受話器を取って通話を続けてください。
ソウチゲンガイ	通話中のコードレス子機の使用圏内（見通し距離で親機より約 100m 以内）を越えた。	15 秒以内に使用圏内に戻ってください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「フリーダイヤル 0120 - 161170」へご連絡ください。

親機 / 子機

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ☎ 11 ページ
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量的設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ☎ 23 ページ
	電話のベルの音が小さい	ベル音量的設定が小さくないですか。	ベル音量を大きくしてください。 ☎ 23 ページ
	電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量的設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ☎ 23 ページ
	スピーカーホン通話がうまくできない	まわりの音がうるさくないですか。	 を押して受話器で話してください。 (子機の場合は  を押して子機を持って話してください。)
	ハンズフリー着信ができない (返事をしてもつながらない)	返事が短くないですか。	長く返事をしてください。 ☎ 38 ページ
		返事が小さくないですか。	大きな声で返事をしてください。 感度設定を「+」の方に設定してください。 ☎ 38 ページ
		返事の声が高すぎませんか。	少し低い声で返事をするか、返事のしかたを変えてください。 (例：おーい) ☎ 39 ページ
	電話がかかってきても応答しない	着信ベル回数、呼出ベル回数が正しく設定されていますか。	受信モードに合わせて着信ベル回数、呼出ベル回数を設定します。 ☎ 86 ページ
		本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
受話器からダイヤルトーンが聞こえない		 を押してください。	
キャッチホンディスプレイ	キャッチホンが入ったとき、雑音が入りキャッチホンを受けられない	電話機コードが正しく接続されていますか。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ☎ 11 ページ
		キャッチホンディスプレイの設定が「オ」に設定されていませんか。	キャッチホンディスプレイの設定を「リ」にします。 ☎ 28 ページ

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	子機	動作しない 呼出ベルがならない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。 コネクタを正しく接続してください。 ☞ 15 ページ
		バッテリーの残量がなくなっていますか。 バッテリーの充電をしてください。 ☞ 16 ページ	
		回線種別が正しく設定されていますか。 回線種別を正しく設定してください。 ☞ 11 ページ	
		呼出ベル音量が「OFF」になっていませんか。 呼出ベル音量を「OFF」以外に設定してください。 ☞ 24 ページ	
		親機から離れすぎていませんか。 親機から 100m 以内のところまで近づいてください。	
		近くに雑音が発生する家電製品がありませんか。 家電製品などから離してください。	
		親機で機能の設定・登録をしていませんか。 設定が終わるのを待ってください。	
		親機でコピーをしていませんか。 コピーが終わるのを待ってください。	
		親機のアンテナと子機用 AC アダプターのコードが近くにありませんか。 親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。 (アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)	
	ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「レンシュウ チュウ」が表示されている	バッテリーコネクタを差し直してください。 ☞ 15 ページ	
	連続再ダイヤルができない	まわりがうるさすぎませんか。 もう一度連続再ダイヤルをし直してください。 ☞ 36 ページ 普通の再ダイヤルでかけ直してください。 ☞ 35 ページ	
	雑音が入りやすい	親機のアンテナをのびし、向きを前後 / 右側に変えてみてください。 ☞ 16 ページ 親機の置き場所や向きを変えてみてください。 親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。 (アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)	
	充電してもバッテリー警告音(ビッピビッ...)がなり、ディスプレイに「テンチ ノコリナシ」と表示される	バッテリーが消耗しています。 充電してください。 ☞ 110 ページ	
	充電器に置いてても充電ランプが点灯しない	充電器の子機用 AC アダプターは確実に差し込まれていますか。 充電端子が汚れていませんか。 充電端子をきれいに拭いてください。	
	子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	
I S D N 回線	電話がかかけられない	回線種別が「PB」に設定されていませんか。 回線種別を「PB」に設定してください。 ☞ 11 ページ 本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。 「使用する」に設定してください。	
	電話を受けてもベルがならない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。 自己アドレス(契約回線番号およびダイヤルイン追加番号)は正しく入力されているか確認してください。	
	本機が接続されているアナログポートに1~2回おきにしかが着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1~2回おきにしかが着信できません。	

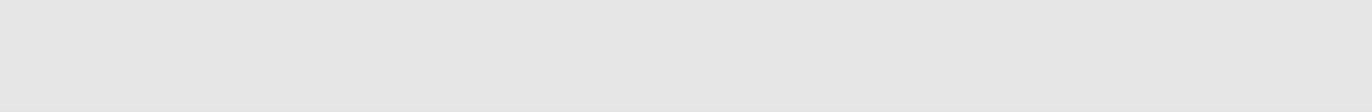
故障かな?と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた	
電話	ISDN回線	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない	<p>本機を接続しているポートを確認します。</p> <p>契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブアドレスなし着信：「着信する」 ・HLC設定：「HLC設定しない」 ・識別着信：「識別着信しない」 <p>ダイヤルイン追加番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己アドレス(ダイヤルイン追加番号)を登録する ・サブアドレスなし着信：「着信する」 ・HLC設定：「HLC設定しない」 ・識別着信：「識別着信しない」 <p>ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係 (113) へご連絡ください。</p>	
		契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン追加番号のアナログポートに接続した機器の呼出ベルもなる	ダイヤルイン追加番号アナログポートの設定を確認します。	<p>グローバル着信「ばしない」に設定してください。</p> <p>自己アドレスにダイヤルイン追加番号を登録してください。</p>
		特定の相手とファクス通信できない	「フリーダイヤル0120-161170」へご連絡ください。	
ファクス/コピー	ファクス送受信ができない(電話も使えない)	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係 (113) へご連絡ください。回線に異常がなければ、「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。		
	スタートボタンを押しても送信/受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。	原稿をはずして受信します。☞ 88 ページ	
		原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。	原稿を正しくセットしてください。	
		スタート  を押す前に、受話器を戻していませんか。	スタート  を押してから受話器を戻します。☞ 88 ページ	
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。☞ 11 ページ	
		並列接続された別の電話機を受話器を上げていませんか。	並列接続された別の電話機が通話中のときは、ファクスは使用できません。通話が終わってから、送受信を行います。	
	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読取部の清掃をしてください。☞ 107 ページ	
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。	
画質モードは適切ですか。		画質を調整します。☞ 65 ページ		
キャッチホンが途中で入っていませんか。		キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。☞ 45 ページ		

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	リモート受信できない	リモート起動の設定は「ON」になって いますか。	リモート起動を「ON」に設定 します。 ☞ 92 ページ
		リモート起動番号を正しくダイヤル しましたか。	リモート起動番号を正しくダイヤル します。 ☞ 92 ページ
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	操作パネルを確実に閉めます。
		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。 ☞ 8 ページ
		メモリーがいっぱいになって いませんか。 (メモリー使用状況リスト☞106 ページ)	本機のメモリーを消去してから リモート受信を行います。 ☞ 90 ページ
	受信/コピーしても、記録紙が 出てこない	記録紙は正しくセットされて いますか。	記録紙を正しくセットします。 ☞ 8 ページ
		記録紙がなくなっていますか。	
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	
		記録紙レバーを手前に倒して いますか。	
	記録紙がつまっていますか。	つまった記録紙を取り除きます。 ☞ 109 ページ	
	受信しても、記録紙が白紙の まま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに 送信していないかを確認してください。	
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認 してください。 ☞ 66 ページ
きれいに受信/コピーできない	電話回線の接続が悪いため起 こります。	相手にもう一度、送信し直して もらってください。	
	きれいにコピーできますか。	読取部を清掃してください。 ☞ 107 ページ	
	相手側の原稿に異常がありませんか (うすい、かすれなど)。	相手に確認し、もう一度送信し 直してもらってください。	
B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。		
構内交換機に内線接続したとき に、ファクス受信できない	内線および外線から、ファクス 受信するときのベルの鳴りかたを 確認し、「フリーダイヤル 0120-161170」 にご連絡ください。		
原稿	原稿が繰り込まれて いかない	原稿の先が軽くあたるまで差 込んでいますか。	原稿を正しくセットします。 ☞ 64 ページ
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたり していませんか。	使用できる原稿を確認して ください。 ☞ 120 ページ
		原稿が折れ曲がったり、カール していたり、しわになって いませんか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
	原稿挿入口に破れた原稿などが つまっていますか。	つまった原稿を取り除 きます。 ☞ 108 ページ	
原稿が斜めになってしまう	原稿ガイドを送信原稿に合 わせていますか。	原稿を正しくセットします。 ☞ 64 ページ	
	原稿挿入口に破れた原稿などが つまっていますか。	つまった原稿を取り除 きます。 ☞ 108 ページ	

故障かな?と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
その他	ディスプレイに「 エラー 」の表示が出る	長時間コピーや受信をしていませんか。	長時間コピーや受信をすると、加熱保護機能がはたらいで、停止することがあります。このときには電源プラグを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグを確実に差し込みます。(雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります。)



機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようになります。

親機

ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、 / 、、 ~  を押し、登録や設定を行います。(操作を途中で終了するときは、 を押します。)

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (初期設定)	参照 p
初期登録			 回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	PB 10PPS 20PPS ジドゥセテイ	11 ページ
			 時計セット	現在の日付と時刻を登録します。	99 年 01 月 01 日 00 時 00 分	12 ページ
			 発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前やファクス番号、電話番号を登録します。	-	13 ページ
			 キータッチ音量	フロントパネルのキーにタッチしたときのタッチ音の音量を設定します。	OFF ショウ ダイ	23 ページ
受信設定			 着信音選択	着信ベル音を設定します。	ブツ パターン1 パターン2 パターン3	23 ページ
			 着信ベル回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに着信ベルを鳴らす回数を設定します。	在宅 モード時 : 8 回 留守 モード時 : 2 回	86 ページ
			 呼出ベル回数	着信ベルが鳴り終わった後に鳴らす、呼出ベルの回数を設定します。	0 回 10 回 15 回 20 回	86 ページ
			 親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	ON OFF	89 ページ
			 リモート番号	外部のファクシミリから、本機のファクス受信をスタートさせるための番号を設定します。	ON OFF	92 ページ
			 ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	ヒョウゴ ユ キミツ タイマ-	91 ページ
			 PC 接続	パソコン(PC)でファクスを受信するための設定をします。(別売の「MFL-100」を接続したときのみ)	PCジ ユシヨク PCジ ユシヨク FAXジ ユシヨク	93 ページ

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (初期設定)	参照 p	
送信設定	機能	3 ^フ 送信	1 ^フ	送付書	ファクスを送信するとき、「送付書」を付加する / しないを設定します。	コンカイミ:ON コンカイミ:OFF ソウフショ:ON ソウフショ:OFF プリントサンプル	74 ページ
			2 ^フ 送信	送付書コメント	「送付書」に記載するコメントを作成します。(2種類のオリジナルコメントを登録できます。)	-	74 ページ
			3 ^フ 送信	原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	ツク コ ウク	14 ページ
			4 ^フ 送信	画質モード	原稿の文字の大きさに合わせた調整をします。	ヒョウガ'ン ファイン S.ファイン シャツ	71 ページ
			5 ^フ 送信	海外送信モード	海外にファクスを送信するときに設定します。	ON OFF	79 ページ
			6 ^フ 送信	電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	ON OFF プリントサンプル	73 ページ
			7 ^フ 送信	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	-	76 ページ
			8 ^フ 送信	ポーリング送信	ポーリング送信を行うときの通常送信 / 機密送信を設定します。	ヒョウガ'ン キツ	77 ページ
解除	機能	4 ^フ 送信	設定解除	タイマー送信とポーリング送信の設定を解除します。	-	81 ページ	
割込	機能	5 ^フ 送信	割込み	送信待機中に、待機している設定を解除せずに、ファクスやコピーができるように設定します。	-	81 ページ	
ダイヤル登録	機能	6 ^フ 送信	1 ^フ	ワンタッチダイヤル	ワンタッチボタンに電話番号や相手先の名前を登録します。	-	19 ページ
			2 ^フ 送信	短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに電話番号や相手先の名前を登録します。	-	20 ページ
			3 ^フ 送信	グループダイヤル	ワンタッチボタンに、複数の宛先を「グループ」として登録します。(登録はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した宛先から選択します。)	-	21 ページ
リストプリント	機能	7 ^フ 送信	1 ^フ	送信レポート	ファクス送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	ON OFF	105 ページ
			2 ^フ 送信	通信管理レポート	最新の通信結果をプリントします。(送信、受信合わせて30件です。)	-	105 ページ
			3 ^フ 送信	ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容をプリントします。	-	105 ページ
			4 ^フ 送信	電話帳リスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容を50音順にプリントします。	-	106 ページ

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (初期設定)	参照 p	
リスト プリント		7 	5 	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。	-	106 ページ
			6 	メモリー使用状況	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況をプリントします。	-	106 ページ
留守録 メモリー 設定		8 	1 	応答メッセージ	留守応答メッセージ(ルスアウトウ1、ルスアウトウ2)、在宅応答メッセージ(ザイタクアウトウ)の録音/再生/消去をします。	-	95 ページ
			2 	録音時間	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 60 120 180	95 ページ
			3 	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる/聞こえないを設定します。	ON OFF	95 ページ
			4 	リモコン設定	外出先から本機を操作するための、「リモコンアクセスコードを設定します。	159 * ファクス: OFF ファクス: ON	104 ページ
			5 	転送	メッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」をするための設定をします。	ファクスツカ デソウビダシ OFF	101 ページ
各種 サービス 設定		0 	1 	アルファ設定	-ALPHA5 を使用するための設定をします。	アルファセッテイ アルファメルシヨカ XQディシヨカヨ	54 ページ
			2 	ナンバーディスプレイ	NTT のナンバーディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	アリ ナシ	27 ページ
			3 	キャッチホンディスプレイ	NTT のキャッチホンディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	アリ ナシ	28 ページ
			4 	ダイヤルイン	NTT のダイヤルインサービスを使用する/しないを設定します。	OFF ON	28 ページ

子機

ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、ジョグスイッチを操作し、登録や設定を行います。(操作を途中で終了するときには、 を押します。)

ボタン操作	設定項目	機能説明	初期設定	参照 p	
		電話帳登録	子機の「電話帳」に相手の名前と電話番号を登録します。	-	22 ページ
		電話帳変更	「電話帳」に登録した内容を変更・消去します。	-	22 ページ
		着信音選択	着信音のパターンを選択します。	フツウ	24 ページ
		発信記録消去	発信記録の内容をすべて消去します。	-	36 ページ
		着信記録消去	着信記録の内容をすべて消去します。	-	22 ページ
		メロディ読み込み	「えらんでメロディ」によって親機に登録したメロディを子機に登録します。	-	61 ページ

主な仕様

親機

形式	送受信兼用卓上型 G3 機
圧縮方式	MH (モディファイドハフマン)
電送時間 *1	約 9 秒
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 BPS (自動フォールバック方式)
原稿サイズ幅	最大 : 216mm、最小 : 148mm
有効読取幅	208mm
有効記録幅	208mm
記録紙サイズ	A4 判 : 216mm × 30m (ロール紙) まで対応
記録方式	感熱記録方式
ハーフトーン	64 階調
走査線密度	主走査 : 8 ドット / mm 副走査 : 3.85 本 / mm (標準) 7.7 本 / mm (ファイン / 写真) 15.4 本 / mm (S. ファイン / 写真)
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網 (16Hz のみ対応)
使用環境	温度 : 5 ~ 35 、湿度 : 45 ~ 80%
電源	AC100V ± 10V 50 / 60Hz
消費電力 *2	待機時 : 4W 以下 ピーク時 : 98W 以下 コピー時 : 19W 以下 ファクス送信時 : 10W 以下 ファクス受信時 : 17W 以下
外形寸法	298 (横幅) × 240 (奥行き) × 135 (高さ) mm (突起部を除く)
質量	約 2.9kg (本体)

*1 : A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 × 3.85 本 / mm) で高速モード (14400bps) で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 : コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会 No.4 チャートを使用。(常温、常湿にて測定)

* 外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

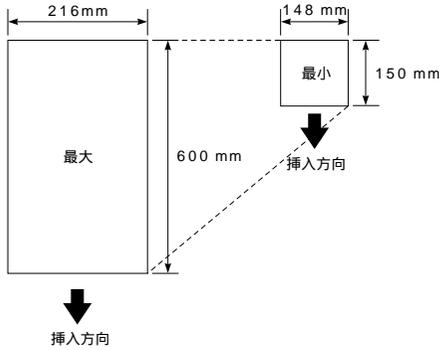
子機

	コードレス電話機	充電器
使用可能距離	見通し距離約 100m	
充電完了時間	約 15 時間	
使用可能時間 (充電完了後)	待機状態 : 約 200 時間 連続通話 : 約 8 時間	
使用環境	温度 : 5 ~ 35 、湿度 : 45 ~ 80%	
電源	DC2.4V (ニカド電池使用)	AC100 ± 10V 50 / 60Hz
消費電力	-	2W 以下 (充電時)
外形寸法	49(横幅) × 48.3(奥行き) × 192(高さ)mm	80(横幅) × 100(奥行き) × 91.3(高さ)mm
質量	約 182g (ニカド電池含む)	約 122g

原稿について

原稿サイズ

セットできる原稿のサイズを以下に記します。これ以外のサイズの原稿をご使用になる場合、複写機で拡大・縮小コピーするか、小さい原稿は市販の“キャリアシート”に入れてセットしてください。

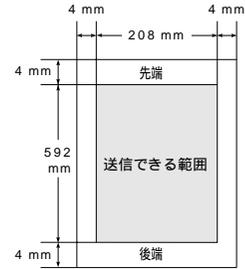


最大幅: 216 mm長さ : 600 mm*1
 最小幅: 148 mm長さ : 150 mm
 厚さ : 0.06 mm ~ 0.1 mm
 重量 : 64 g/m² ~ 90 g/m²
 (55 ~ 77 kg 紙)

*1:長さが 400 mm 以上の原稿は
 手で支えてください。

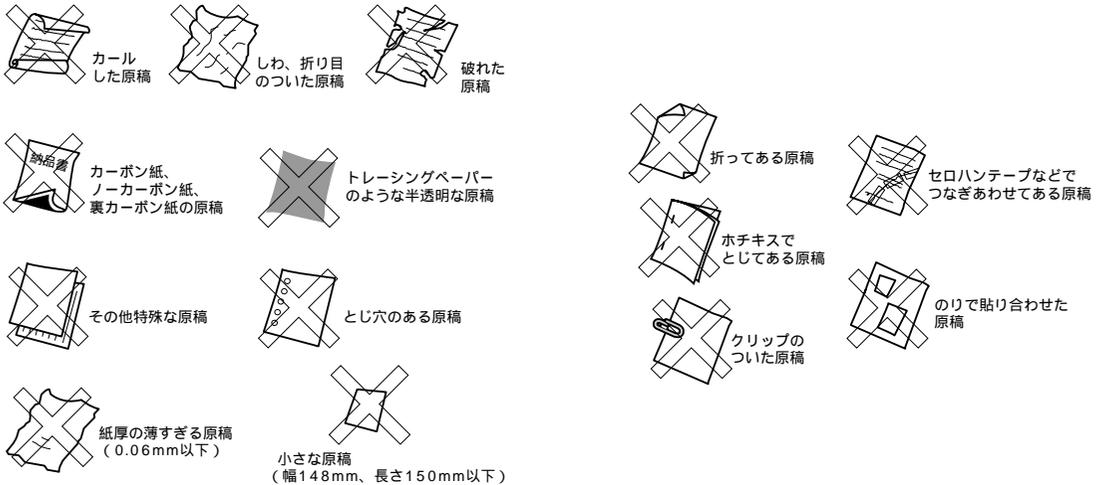
原稿の読み取り範囲

(原稿サイズ 有効読取幅)



原稿についてのご注意

以下のような原稿は、複写機で拡大・縮小コピーするか、市販の“キャリアシート”をお使いください。



○お願い

原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
 キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り換えください。
 インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取りはずしてください。
 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
 原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

索引

A ~ Z・

BOX について	56
DDI 市外電話自動選択機能	52
ECM 通信について	72
ISDN を使用する場合は	14
MFL-10	93
PC/IF 接続端子	3
PC 受信	93
PC 接続 (ファクス受信)	93
PC 接続 (ファクス送信)	80
Talkin TM ダイヤル	52
-5 表示	4
-ALPHA5	
-ALPHA5 機能の設定をする	26
-ALPHA5 機能の利用を中止するには	55
-ALPHA5 機能を利用する	52
-ALPHA5 ご利用申込書	27
-ALPHA5 ボタン	5
-DIAL 機能を利用するには	56
-FAX サービスを利用するには	62
-MAIL 機能を利用するには	56
-NEWS 機能を利用するには	60
スタート	26

あ

アンテナ	3
エラーメッセージが表示されたら	111
お手入れのしかた	107
オプションサービスを利用される方は	26
オプションサービスを利用するには	44
親機専用番号	50
音声メッセージ	94
音声メッセージの録音時間を設定する	95
オンライン通信	27
音量ボタン	4
音量を設定する	23
音量を設定する (子機)	24
音量 / 原稿濃度ボタン	4

か

海外送信モード	79
海外へファクスを送る (-FAX)	62
外出先から本機を操作する (リモコンアクセス機能)	101
外出先にファクスを転送する (ファクス転送機能)	101
外出中の便利な使い方	99
解除	
子機優先呼出の設定を解除するには	37
送信設定を解除する	81
ハンズフリー着信の設定を解除するには	39
ファクス転送を解除するには	101
回線種別	11
回線接続端子	3
ガイドランス方式	93
各部の名称とはたらき	3
画質	
画質ボタン	4
画質を調整する (コピー)	65
画質を調整する (ファクス)	71

紙がつまったら	108
キータッチ音を設定する (親機)	23
機能	
DDI 市外電話自動選択機能	52
-ALPHA5 機能	52
-DIAL 機能	52
-MAIL 機能	52
-NEWS 機能	52
機能案内ボタン	4
機能案内リスト	106
機能一覧	116
機能ボタン	4
子機優先呼出	37
着信記録機能	46
着信ベル音指定機能	46
伝言メッセージ機能	73
電話番号表示機能	46
電話呼出機能	100
名前表示機能	46
ファクス転送機能	101
ボイスメモ機能	99
迷惑電話防止機能	46
リモコンアクセス機能	101
料金表示機能	52
機密ポーリング受信	91
機密ポーリング送信	77
キャッチホンを利用する	44
記録紙がつまったときは	109
記録紙排出口	3
グループダイヤルに登録する	21
原稿	
原稿受け	3
原稿ガイド	3
原稿がつまったときは	108
原稿サイズ	120
原稿挿入口	3
原稿に合わせて画質を調整する (コピー)	65
原稿に合わせて画質を調整する (ファクス)	71
原稿についてのご注意	120
原稿濃度ボタン	4
原稿濃度を変更する (コピー)	65
原稿濃度を変更する (ファクス)	71
原稿の濃度を設定する	14
原稿の読み取り範囲	120
原稿排出口	3
原稿読取部の清掃をする	107
原稿をセットする (コピー)	64
原稿をセットする (ファクス)	70
公共施設自動登録	52
子機	
子機充電器	6
子機専用番号	50
子機で音声メッセージを確認する	98
子機で電話を受けるには	31
子機で電話をかけるには	31
子機で「留守モード」に設定する	98
子機の音質を調整する	16
子機の準備をする	15
子機のバッテリーを交換するには	110
子機をとって受ける	37
子機を持たずに受ける	37
子機を優先して電話を受ける	37

コピー		着信記録を消去する(親機)	48
コピーボタン	5	電話帳を消去する	22
コピーをするには	66	発信記録を1件ずつ消去するには	36
コピーをする前に	64	発信記録をすべて消去するには	36
コピーを中止するには	66	発信元登録を消去する	13
こんなコピーができます	63	メロディを消去するには(子機)	61
シングルコピー	66	メロディをすべて消去するには(親機)	60
マルチコピー	67	ワンタッチダイヤルを消去する	19
		消耗品などのご注文について	133
		ジョグスイッチでかける	35
		シングルコピー	66
		親切受信	89
		スタートボタン	5
		スタック	67
		スピーカー	
		スピーカー	6
		スピーカー音量を設定する(親機)	23
		スピーカー音量を設定する(子機)	24
		スピーカーホンでかける(親機)	33
		スピーカーホンでかける(子機)	36
		スピーカーホンで通話する(親機)	34
		スピーカーホンで通話する(子機)	37
		スピーカーホンボタン	4
		スミージング記録について	88
		接続	
		受話器コード	9
		電話機コード	9
		並列接続について	92
		設定	
		音量を設定する	23
		キータッチ音を設定する(親機)	23
		原稿の濃度を設定する	14
		子機で「留守モード」に設定する	98
		受話音量を設定する(親機)	23
		受話音量を設定する(子機)	24
		スピーカー音量を設定する(親機)	23
		スピーカー音量を設定する(子機)	24
		設定状況をプリントする(設定内容リスト)	106
		ダイヤルインサービスの設定をする	28
		着信ベル回数を設定する	86
		電話呼出機能を設定する	100
		ハンズフリー着信の設定をする	38
		ファクス転送機能を設定する	101
		ベル音量を設定する(親機)	23
		ベル音量を設定する(子機)	24
		保留音を変更する	25
		呼出ベル回数を設定する	86
		リモコンアクセスコードを設定する	104
		留守録モニターを設定する	95
		セットボタン	4
		送信	
		PC接続(ファクス送信)	80
		海外送信モード	79
		こんな送信ができます	68
		自動送信	72
		手動送信	72
		順次同報送信	79
		送信の解除と割込をするには	81
		送信予約	80
		送信予約を解除するには	80
		送信レポート	105
		送付書送信	74
再生ボタン	5		
再ダイヤルでかける(親機)	33		
再ダイヤルでかける(子機)	35		
再ダイヤルボタン	4		
在宅応答メッセージ	94		
在宅応答メッセージを録音する	87		
在宅モード	83		
最長録音時間	95		
時刻を合わせる	12		
自宅の電話番号と郵便番号を登録する	54		
自動			
自動再ダイヤル	72		
自動受信	88		
自動送信	72		
自動送信を中止するには	72		
充電器を接続する	15		
充電端子	6		
充電ランプ	6		
受信			
こんな受信ができます	82		
自動受信	88		
受信のしかた	83		
受信モード	83		
手動受信	88		
親切受信	89		
ポーリング受信	91		
メモリー受信	90		
メモリー代行受信	90		
リモート受信	92		
手動受信	88		
手動送信	72		
主番号	50		
受話音量を設定する(親機)	23		
受話音量を設定する(子機)	24		
受話器			
受話器	3		
受話器コード	3		
受話器コードを差し込む	9		
受話器接続端子	3		
受話器をとって受ける	34		
受話器を持たずに受ける	34		
順次同報送信	79		
順次同報送信を中止するには	79		
準備のながれ	7		
仕様	119		
消去			
グループダイヤルを消去する	21		
再生しているメッセージを消去するときは	97		
消去ボタン	5		
すべてのメッセージを消去するときは	97		
短縮ダイヤルを消去する	20		

タイマー送信	76
電話予約	73
ボーリング送信	77
メモリー送信	78
送付書コメント	74
送付書送信	74
ソート	67
外付接続端子	3
その他のディスプレイ表示について	47

た

代行受信メモリー	94
タイマー送信	76
タイマーボーリング受信	91
ダイヤル	
ダイヤルインサービスを利用する	50
ダイヤル回線	11
ダイヤルする	69
ダイヤル登録をする	17
ダイヤルボタン	5
ダイヤルボタンでかける(親機)	32
ダイヤルボタンでかける(子機)	35
ダイヤルリスト	105
端子	
PC/IF 接続端子(ハンドスキャナー接続端子)	3
回線接続端子	3
受話器接続端子	3
外付接続端子	3
短縮ダイヤルでかける	32
短縮ダイヤルに登録する	20
短縮ボタン	4
着信	
着信記録機能	46
着信記録ボタン	5
着信記録を利用する(親機)	48
着信記録を利用する(子機)	49
着信ベル音指定機能	46
着信ベル回数を設定する	86
着信メッセージがあるときは	96
中止	
コピーを中止するには	66
自動送信を中止するには	72
手動送信を中止するには	72
順次同報送信を中止するには	79
メモリー送信を中止するには	78
メッセージの再生を中断するときは	97
通信管理レポート	105
通話圏外警告音	31
通話を録音する	99
定型文一覧	57
停止ボタン	4
ディスプレイについて(親機)	5
ディスプレイについて(子機)	6
ディスプレイの特徴	5
ディスプレイ表示	47
電源コード	3
伝言メッセージ	73
伝言メッセージのサンプルをプリントするには	73
伝言を録音する	99
電話	
電話回線	9

電話機コードを差し込む	9
電話機コンセント	9
電話専用番号	50
電話帳から探してかける(親機)	33
電話帳から探してかける(子機)	35
電話帳に登録する	22
電話帳ボタン	5
電話帳リスト	106
電話番号表示機能	46
電話呼出機能	100
電話予約	73
電話を受けるには(親機)	34
電話を受けるには(子機)	37
電話をかけるには(親機)	32
電話をかけるには(子機)	35
電話を取り次ぐ	42

登録

グループダイヤルに登録する	21
公共施設自動登録	52
自宅の電話番号と郵便番号を登録する	54
ダイヤル登録をする	17
短縮ダイヤルに登録する	20
電話帳に登録する	22
発信元登録	13
メロディを登録するには(親機)	60
メロディを登録するには(子機)	61
ワンタッチダイヤルに登録する	19
トーン信号によるサービスを利用する	51
トーンボタン	5
時計セット	12

な

内線通話をする	41
内線通話をするには	40
内線で呼びかける	41
名前表示機能	46
ナンバーディスプレイサービスを利用する	46

は

パソコンからファクスを送信する	80
パソコンでファクスを受信する	93
発信記録からかける	36
発信記録を1件ずつ消去するには	36
発信記録をすべて消去するには	36
発信元登録	13
バッテリー	
バッテリーカバー	6
バッテリーを交換するには	110
バッテリーを充電する	16
バッテリーを収納する	15
ハンズフリー着信の設定をする	38
ハンズフリーで電話を受けるには	38
日付と時刻を合わせる	12
ファクス	
ファクス情報サービスを利用する	93
ファクス専用番号	50
ファクス転送機能	101
ファクス転送機能を設定する	101
ファクス転送を解除するには	101

ファクスメッセージが記憶されると	90
ファクスを受信するには	88
ファクスを受信する前に	86
ファクスを送信するには	72
ファクスを送信する前に	70
複数部のコピーをする(マルチコピー)	67
副番号	50
付属品	2
プッシュ回線	11
プリント	
機能案内リスト	106
順次同報送信レポートのプリント例	79
設定内容リスト	106
送信レポート	105
タイマー送信レポートのプリント例	76
ダイヤルリスト	105
通信管理レポートをプリントする	105
定型文一覧をプリントする	58
伝言メッセージのサンプルをプリントするには	73
電話帳リスト	106
ファクスメッセージをプリントするには	90
プリントするには	105
メッセージ内容を再生・プリントする	97
メモリー使用状況リスト	106
文字コード表をプリントする	58
並列接続について	92
ベル音量を設定する(親機)	23
ベル音量を設定する(子機)	24
変更	
グループダイヤルを変更する	21
短縮ダイヤルを変更する	20
電話帳を変更する	22
発信元登録を変更する	13
ワンタッチダイヤルを変更する	19
ボイスメモ	94, 99
ポーズボタン	4
ポーリング	
機密ポーリング受信	91
機密ポーリング送信	77
タイマーポーリング受信	91
ポーリング受信	91
ポーリング送信	77
ポーリング方式	93
ポーリングレポート	77
保留	30
保留ボタン	4
本体の清掃をする	107

ま

無音状態	102
無鳴動受信	82
迷惑電話防止機能	46
メッセージ	
メッセージ内容を再生・プリントする	97
メッセージの再生を中断するときは	97
メッセージの種類と意味	94
メッセージの着信を知らせる(電話呼出機能)	100
メモリー	
メモリーがいっぱいになったときは	96
メモリー受信	90
メモリー使用状況リスト	106

メモリー送信	78
メモリー送信ボタン	5
メモリー代行受信	90
メモリーについて	94
メロディを登録するには(親機)	60
メロディを登録するには(子機)	61
文字	
文字コード表	57
文字入力のしかた	17
文字入力表	17
文字の入力例	18
戻しボタン	5
モニター音	95

や

矢印ボタン	4
用紙受けトレイ	10
呼出ベル回数を設定する	86

ら

リモート起動番号	92
リモート受信	92
リモート停止番号	92
リモコンアクセス	
リモコンアクセス機能	101
リモコンアクセスコード	102
リモコンアクセスコードを設定する	104
リモコンアクセスコマンド一覧	103
リモコンアクセスによって本機を操作するには	102
料金表示機能	52
留守応答メッセージ	94
留守応答メッセージを録音する	95
留守番機能を使用する前に	95
留守ボタン	5
留守モード	83
留守モードに設定する	96
留守モードにセットする	96
留守モードを解除するには	96
留守録メモリー	94
留守録モニターを設定する	95
連続再ダイヤルでかける	36
録音	
音声メッセージの録音時間を設定する	95
在宅応答メッセージを録音する	87
通話や伝言を録音する	99
録音時間	95
録音ボタン	5

わ

割込(送信待機中に割り込みする)	81
ワンタッチダイヤル	5
ワンタッチダイヤルでかける	32
ワンタッチダイヤルに登録する	19
ワンタッチボタン	5

消耗品などのご注文について

- ・消耗品につきましては、お買い上げの販売店にてお買い求めいただくか、インターネット、フリーダイヤル、下記オーダーシートによるFAXなどの方法でご注文いただきますようお願いいたします。
- ・ご注文いただきました商品は、受付終了後（振り込みの場合は入金確認後）通常3日程度（土・日・祝日、長期休暇を除く）で宅配便にて発送させていただきます。
- ・送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。5,000円未満の場合は1,000円の送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- ・銀行/郵便振込時の振り込み手数料はお客様負担となります。
- ・カードでのお支払いの場合は、カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせていただきます。又、弊社からの領収書の発行は致しかねますのでご了承ください。
- ・配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

ご注文先

ブラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクト club
 インターネット： <http://www.brother.co.jp/direct/>
 住所： 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町15-1
 TEL： 052-824-3410
 FAX： 052-825-0311
 フリーダイヤル： 0120-118825（土・日・祝日、長期休暇を除く9時～17時）
 振込先 口座名義： ブラザー販売株式会社
 銀行： さくら銀行 上前津支店 普通 6428357
 郵便： 振り込み番号 00860-1-27600

消耗品オーダーシート

コピーしてお使いください。

キリトリ線

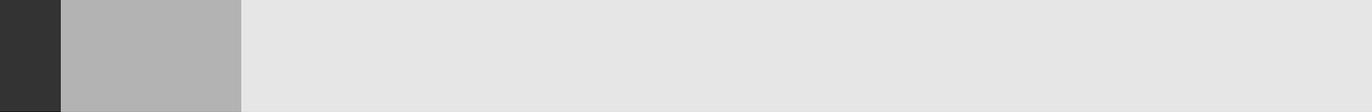
ブラザー販売（株）
 情報機器事業部 ダイレクトClub 行
 FAX: 052-825-0311
 お客様ご住所 〒

お名前	TEL	FAX
お支払い方法	銀行振込・郵便振込・代引き・カード	
カード種類	VISA JCB UC DINERS CF Master JACCS	
カードNo.	有効期限	年 月
カード名義人名		

品名	部品コード	単価（税別）	ご注文数	金額
サーマックスペーパー（A4 30mロール） 2巻入り×3箱	UF2521-001	6,000円		
増設子機 BCL-300	LE0680-009	*		
子機用バッテリー BCL-BT	UF8731-001	1,600円		
ハンズキャナー BHS-10	UU0386-001	20,000円		
ハンズキャナー用バッテリー BHS-BT10	UU0385-001	1,800円		
ハンズキャナー用ACアダプター BHS-AC10	UU0374-001	2,500円		
用紙受けトレイ CT-70	UF8732-001	4,500円		
マルチファンクションリンク MFL-100（PC接続キット）	UF8520-001	9,800円		

*: ダイレクトClubへお問い合わせください。

小計	
配送料（どちらかにを付けてください。）	
小計が5000円以上のとき	0円
小計が5000円未満のとき	1000円
合計（小計+配送料）	
消費税（合計×0.05）	
総合計	



消耗品オーダーシート

コピーしてお使いください。

----- キリトリ線 -----

ブラザー販売(株)
 情報機器事業部 ダイレクトClub 行
 FAX: 052-825-0311
 お客様ご住所 〒

お名前	TEL	FAX
-----	-----	-----

お支払い方法 銀行振込・郵便振込・代引き・カード
 カード種類 VISA JCB UC DINERS CF Master JACCS

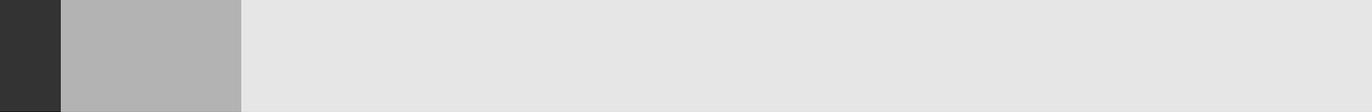
カードNo. _____ 有効期限 年 月 _____

カード名義人名 _____

品 名	部品コード	単価(税別)	ご注文数	金 額
サーマックスペーパー(A4 30mロール) 2巻入り×3箱	UF2521-001	6,000円		
増設子機 BCL-300	LE0680-009	*		
子機用バッテリー BCL-BT	UF8731-001	1,600円		
ハンドスキャナー BHS-10	UU0386-001	20,000円		
ハンドスキャナー用バッテリー BHS-BT10	UU0385-001	1,800円		
ハンドスキャナー用ACアダプター BHS-AC10	UU0374-001	2,500円		
用紙受けトレイ CT-70	UF8732-001	4,500円		
マルチファンクションリンク MFL-100(PC接続キット)	UF8520-001	9,800円		

*: ダイレクトClubへお問い合わせください。

小 計	
配送料(どちらかに を付けてください。)	
小計が5000円以上るとき	0円
小計が5000円未満のとき	1000円
合計(小計+配送料)	
消費税(合計×0.05)	
総 合 計	



リモコン アクセス

リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入して下さい。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、メッセージを受信していることを示します。
ポー：ファクスメッセージを受信しています。
ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。
ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。
「ポー」という音が聞こえなければ、メッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ビピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、[3](#)、[4](#)を参照して下さい。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ビッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

リモコン アクセス

リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入して下さい。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、メッセージを受信していることを示します。
ポー：ファクスメッセージを受信しています。
ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。
ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。
「ポー」という音が聞こえなければ、メッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ビピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、[3](#)、[4](#)を参照して下さい。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ビッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

リモコン アクセス

リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入して下さい。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、メッセージを受信していることを示します。
ポー：ファクスメッセージを受信しています。
ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。
ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。
「ポー」という音が聞こえなければ、メッセージを受信していないことを示します。
4. 次に、短い「ビピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。
5. 90を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、[3](#)、[4](#)を参照して下さい。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ビッ」という音が3回聞こえますので、もう1度やり直してください。

キリトリ線

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (4)
戻し (再生中から戻し)		911 (91 + 1)
送り (再生中から送り)		912 (91 + 2)
ボイスメモを録音		92 (1、 4)
音声メッセージを消去 (2)		93
用件応答 (留守番)メッセージ1	再生	9410 (4)
	録音	9420 (1、 4)
用件応答 (留守番)メッセージ2	再生	9411 (4)
	録音	9421 (1、 4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (4)
	録音	9422 (1、 4)
電話呼び出し、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (5)
	電話呼び出し	953 (5)
ファクス転送番号の登録・変更		954

操作内容		ボタン操作
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了		90

- 1: リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。
- 2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- 3: 「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- 4: 中止するときは[9]を入力してください。
- 5: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

キリトリ線

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (4)
戻し (再生中から戻し)		911 (91 + 1)
送り (再生中から送り)		912 (91 + 2)
ボイスメモを録音		92 (1、 4)
音声メッセージを消去 (2)		93
用件応答 (留守番)メッセージ1	再生	9410 (4)
	録音	9420 (1、 4)
用件応答 (留守番)メッセージ2	再生	9411 (4)
	録音	9421 (1、 4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (4)
	録音	9422 (1、 4)
電話呼び出し、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (5)
	電話呼び出し	953 (5)
ファクス転送番号の登録・変更		954

操作内容		ボタン操作
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了		90

- 1: リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。
- 2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- 3: 「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- 4: 中止するときは[9]を入力してください。
- 5: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

キリトリ線

リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (4)
戻し (再生中から戻し)		911 (91 + 1)
送り (再生中から送り)		912 (91 + 2)
ボイスメモを録音		92 (1、 4)
音声メッセージを消去 (2)		93
用件応答 (留守番)メッセージ1	再生	9410 (4)
	録音	9420 (1、 4)
用件応答 (留守番)メッセージ2	再生	9411 (4)
	録音	9421 (1、 4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (4)
	録音	9422 (1、 4)
電話呼び出し、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (5)
	電話呼び出し	953 (5)
ファクス転送番号の登録・変更		954

操作内容		ボタン操作
ファクスの 取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況の チェック (3)	ファクス	971
受信モードの 変更	音声メッセージ	972
	留守	981
	在宅	982
終了		90

- 1: リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。
- 2: 「ビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
- 3: 「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。「ビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
- 4: 中止するときは[9]を入力してください。
- 5: 呼び出し番号・転送番号が登録されていないときは、呼び出し・転送機能をONにすることはできません。

お客様相談窓口 ☎ 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9：00～午後7：00

営業日 月曜日～土曜日

(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。)

brother

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
ブラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。

海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. **Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。